Panasonic

取扱説明書

SDステレオシステム

品番 SC-SX800

SC-SX400

18ページ

CD→HDDへ、最大8倍速

高速録音で快適・便利！

32ページ

HDDに録り貯めた曲の中から

かんたん選曲

46ページ

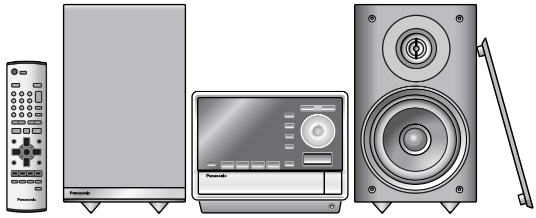
大容量HDD→SDへ、最大12倍速

高速転送

50ページ

さらに

持ち出して、聞ける



イラストはSC-SX800です。



保証書別添付

上手に使って上手に節電

8ページ

電源を切っても表示部が光る!?

「デモ機能」を解除してください。

このたびは、SDステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（83～85ページ）はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT8306-2S

HDD内蔵＋SDだから…



大容量HDDに
録り貯めて

速い
音楽CDからHDDに
最大8倍速でパッと録る※1

大容量
CDコレクションもすっきり
SC-SX800なら**最大4万曲**※2
SC-SX400なら**最大2万曲**※2

簡単
CDタイトルの入力はめんどう…
**Gracenoteデータベースで
タイトル自動入力**
データベースの一部を内蔵しているので、
インターネットにつながなくてもCDタイトルを
取得できます。※3

広がる
広がる録り方
あれもこれも、録音できる!
●WMA/MP3ディスクを※1
●ラジオ放送を※1
●外部機器の音を※1

まだある便利な使い方いろいろ

いい音で楽しみたい
LPCMモードなら、CDの高音質をそのまま録音
録音できる曲数は少なくなります。
くわしくは ☞ 19ページ

カナ入力だけでは…
漢字タイトルも使えます

※1：WMA/MP3ディスク、ラジオ、外部機器からは高速録音できません。
※2：最大登録可能数。（曲の長さによって異なります）
※3：新発売のCDは内蔵データベースにタイトルが登録されていないことがあります。

家で聞く



聞きかたは、ご自由に

トップメニューで かんたん選曲

HDDに録り貯めた曲の中から
聞きたい曲をかんたんに選曲できます。

・アーティスト名
・最近録音した曲
・お気に入りの曲
・気分にあわせて
・よく聴く曲
・アルバム名 など



くわしくは ☞ 32ページ

SDに持ち出して 外で聞く



HDDからSDに

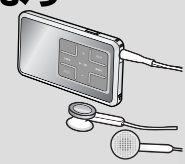
好きな曲だけ高速転送

⬇

SD対応のD-snapなどの

SDオーディオプレーヤーなどで再生できます

●SDオーディオプレーヤー
●SDマルチカメラ
●携帯電話など


SV-SD750V（別売）

くわしくは ☞ 50ページ

曲探しに迷ったら

印象選曲にまかせてみては？

印象選曲機能（ミュージックソムリエ）が曲の印象を自動的に判断。気分にあった曲を、録り貯めた曲の中から探してくれます。

●今日はなんだか騒ぎたい気分
●お疲れモードだから癒し系で

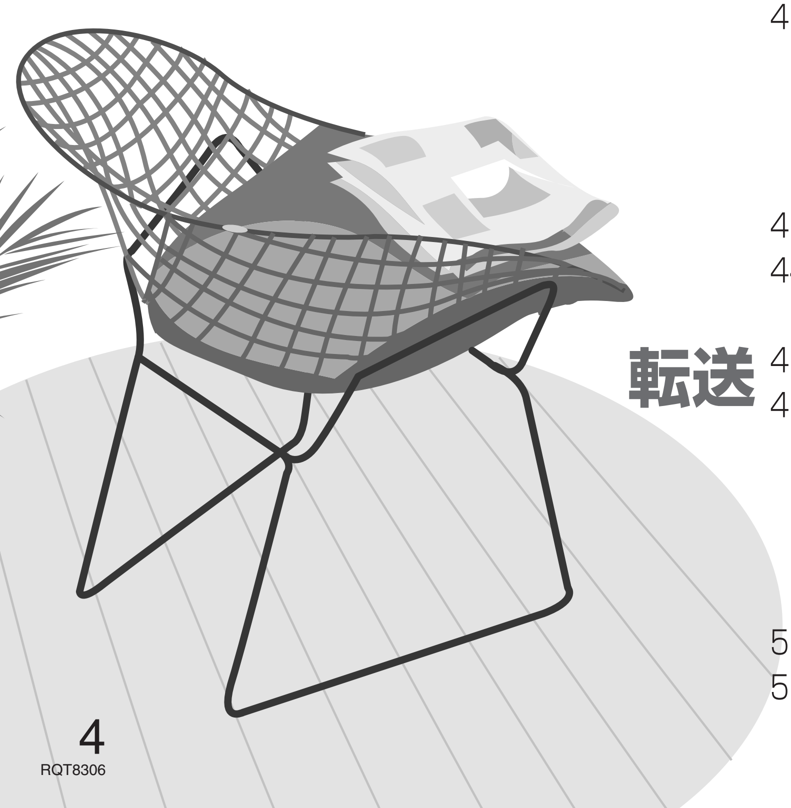
くわしくは ☞ 32ページ

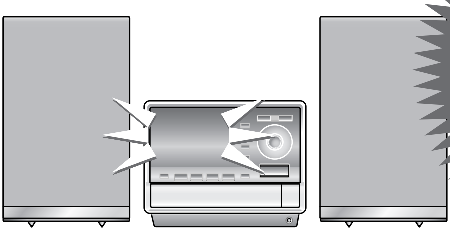
お気に入りのラジオ番組は

留守録タイマーで録り忘れを防ぐ

くわしくは ☞ 70ページ

もくじ





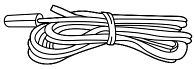
8 ページ

電源を切っても表示部が光る!?

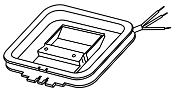
「デモ機能」を解除してください。

付属品/設置/リモコンの準備

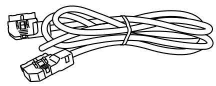
付属品を確認してください



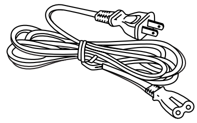
□FM 簡易型アンテナ（1 本）★【RSA0007-L】



□AM ループアンテナ（1 本）★【N1DAAAA00002】

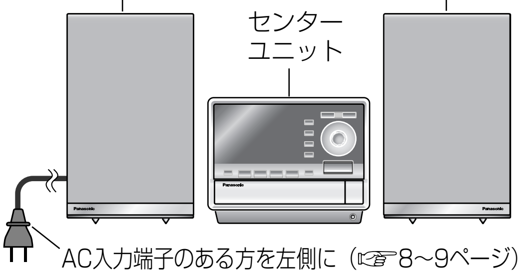


□システムケーブル（1 本）★【K1HA25CA0003】



□電源コード（1 本）★【RJA0012-K】

本機はこのように置きます



AC入力端子のある方を左側に（☞8～9ページ）

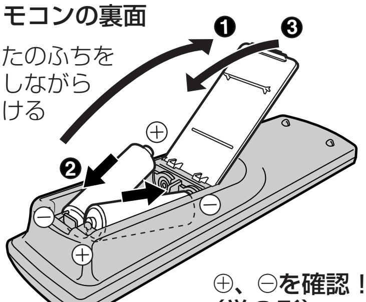
SD ステレオシステム	SC-SX800	SC-SX400
センターユニット	SA-SX800	SA-SX400
左スピーカー	SB-FA800	SB-FA400
右スピーカー	SB-SX800	SB-SX400

- スピーカーの左右を逆に置くと、左右の音が正しく聞こえません。
- センターユニットとスピーカーは、1 cm 以上離す。

リモコンはこのように使います

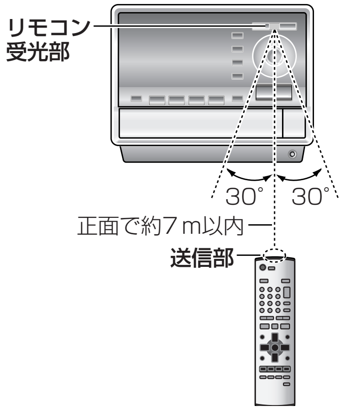
■乾電池（付属）の入れかた

リモコンの裏面



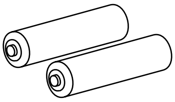
⊕、⊖を確認！
（単３形）

■リモコンの使いかた





□リモコン（1 コ）★
【EUR7721KZ0】



□リモコン用乾電池☆
（単３形：２本）

お知らせ

●付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
●電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
●カッコ【　　】内は、買い替え時の品番です。
(2005 年９月現在のものです)

付属品は、販売店でお買い求めいただけます。
★印は松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。
(☆印は「パナセンス」では取り扱っていません)

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

■スピーカーについて

スピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁設計です。（☞ 右下「防磁設計について」）

付属のスピーカー以外はご使用になれません

● 他のスピーカーでは、センターユニットに電源が供給されません。

お願い

●大きな音量で連続使用しないでください。
スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
●通常の使用時でも、以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。(音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります)
・音がひずんだとき
・音質を調整するとき

■よりよい音響効果を得るために

音はスピーカーの置きかたによって変化します。例えば、床の上や部屋の隅に置くと低音が増します。下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

● しっかりした、平らで安定した場所に設置する。
● 左右のスピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする。また、周りの反射をできるだけ少なくする。
例）左右は壁から離す。堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。
● 左右のスピーカーの間隔を広げる。
● 後ろの壁から５ cm 以上離して設置する。
● 鑑賞時の耳の位置と同じくらいの高さにスピーカーを設置する。

■使用上のお願い

●受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
●受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
●受光部と送信部のほこりに注意。

■本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

■他の機器のリモコンで本機が誤動作するとき

リモコンモードを変更してください。
(☞ 78 ページ)

防磁設計について

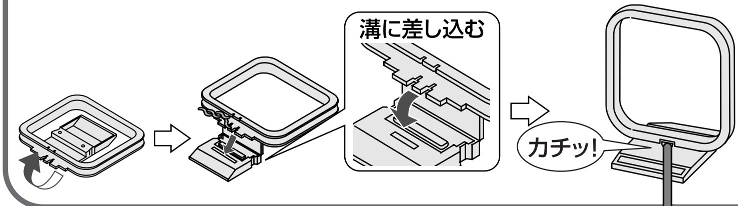
● 本システムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム（防磁設計 JEITA※）ですが、設置のしかたによっては色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30 分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合は、スピーカーをさらに離してご使用ください。
● 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本システムのスピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。

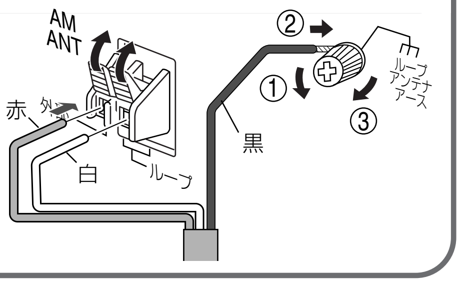
※「防磁設計（JEITA)」とは、(社) 電子情報技術産業協会の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

スピーカーやアンテナを接続する

1 AMループアンテナ

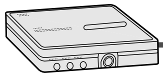
つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 42ページ）、雑音の少ない位置に置きます。



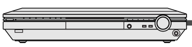


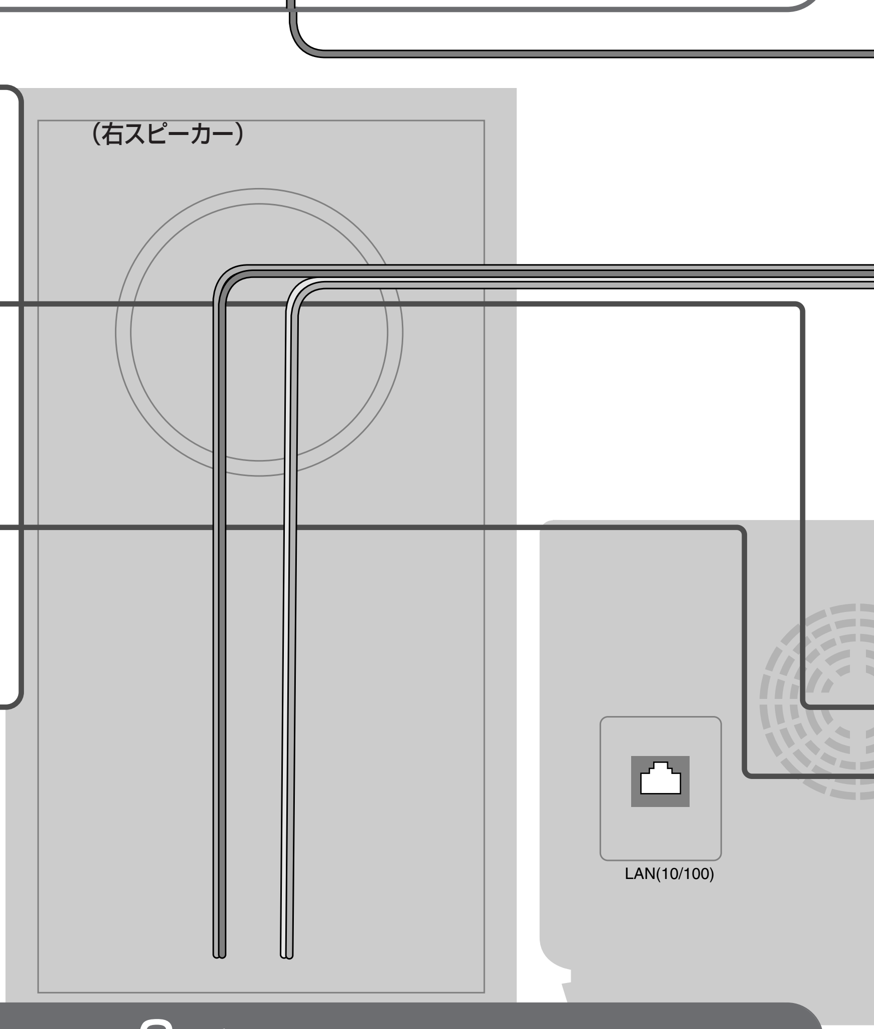
こんな機器もつなげます
（☞ 28、75ページ）

外部機器（MD、テープなど）からHDDに録音



本機の音を外部機器で再生（AVアンプなど）





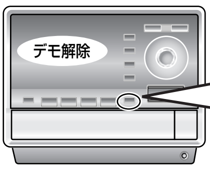
電源を切っても表示部が光る!?

6 デモ機能

電源「切」の状態で表示部が点灯（デモ機能）するときは、デモ機能を解除してください。

お知らせ

● 本機の時計を合わせる（☞ 66ページ）とデモ機能は自動的に「切」になります。





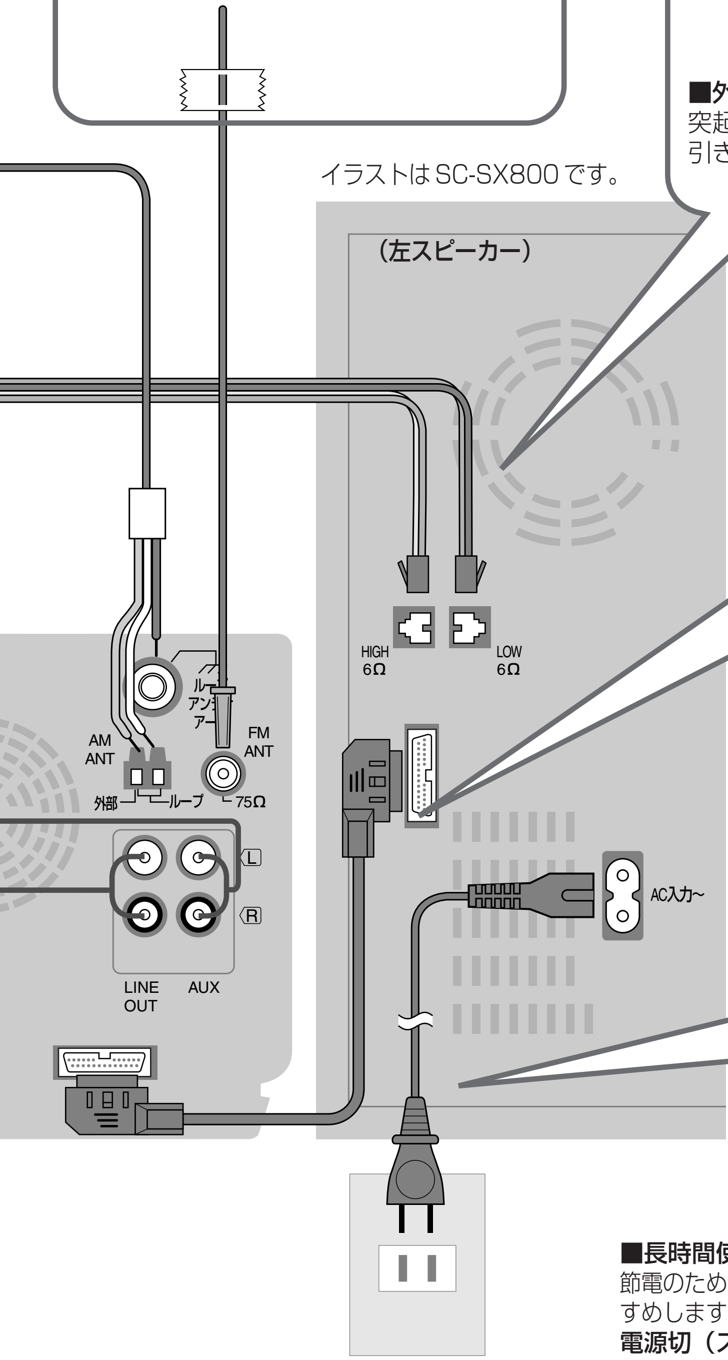
デモ機能動作中に
“デモ解除”と表示するまで押したままにする

上記操作をするたびに
デモ解除 ⟷ デモ開始

2 FM 簡易型アンテナ

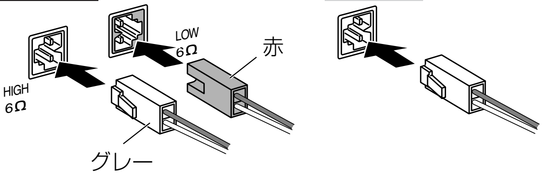
つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 42 ページ）、雑音の少ない位置で、壁や柱にテープで止めます。

イラストはSC-SX800です。



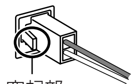
家庭用電源コンセント
（AC100 V 50/60 Hz）

3 スピーカーコード



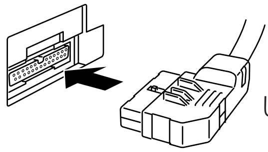
カチッと音がするまで差し込む。

■外すとき
突起部を押しながら引き抜く。



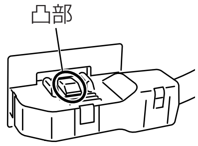
4 システムケーブル

システムケーブルを接続しないと、センターユニットに電源が供給されません。



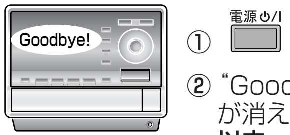
しっかり差し込む。

■外すとき
中央の凸部を押しながらまっすぐに引き抜く。



5 電源コード

電源コードは、左スピーカーにつなぎます。
電源コードは最後に接続します。
●電源コードを抜くときは…



① 電源 ⏻/I 押す。
② "Goodbye!" 表示が消えてあと、2 分以内、またはエンコード処理（☞ 18 ページ）が終わってから抜く。

■長時間使用しないとき
節電のため、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

電源切（スタンバイ）時の消費電力

省電力モード時	**：約 0.1 W**
通常モード時	**：約 13 W**
エンコード処理時	**：約 19 W**

ネットワークに接続する

ネットワークに接続することで、以下の機能が使えるようになります。（☞✎ ヒント 1）
- インターネットを通じて最新の Gracenote® データベースにアクセスし、CD のタイトル情報を取得する。（☞ 右ページ「Gracenote® データベースについて」）
- HDD のデータをパソコンにバックアップする。（☞ 79 ページ）

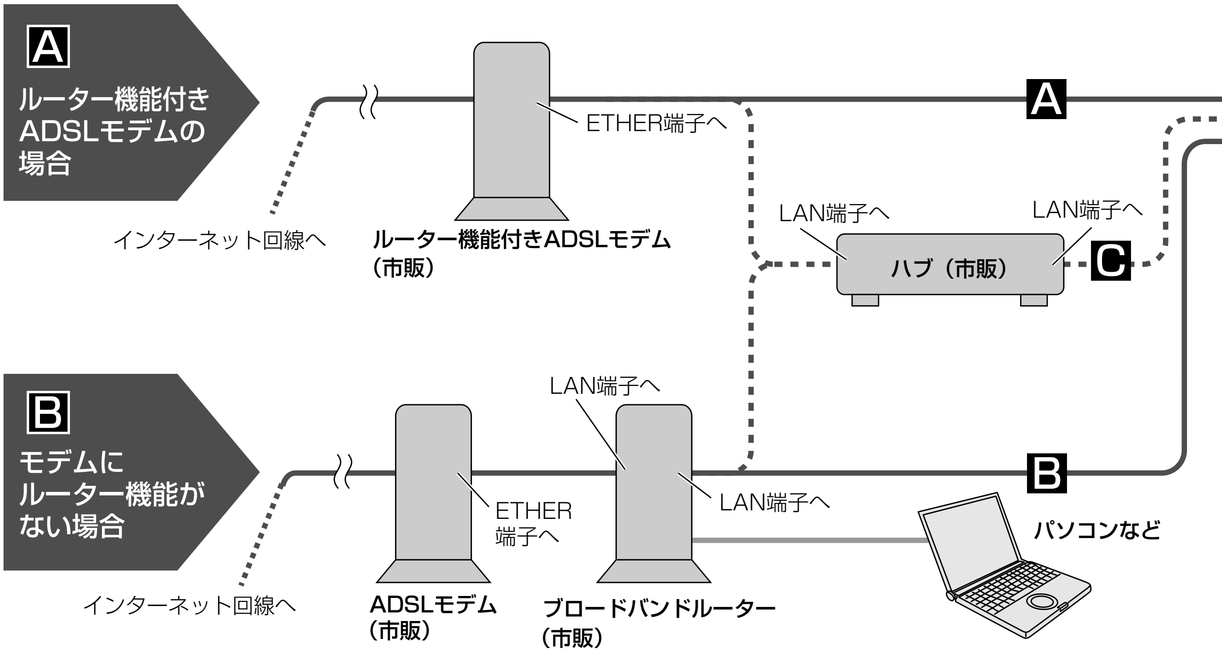
（上記以外のネットワークサービスには対応していません。）

必要な環境と機器を確認します（接続の一例です）
- **インターネットに常時接続できる環境（ADSL など）**
- **ルーター機能付き ADSL モデム（☞ 接続 A）**
- **モデムにルーター機能がないときは、ブロードバンドルーター（☞ 接続 B）**
- **ルーターの LAN 端子に空きがないときは、ハブ（☞ 接続 C）**

動作確認済みの環境や機器、その他の接続方法（ケーブルネットワークなど）については、下記ホームページにて順次ご案内します。
http://panasonic.jp/support/audio/mini/

このように接続します

モデムやルーター、ハブの端子名は、機器により異なることがあります。接続する機器の取扱説明書をご覧ください。



機器の設定などを確認します

■ルーターの設定
- **ルーターの DHCP サーバー機能は「有効」（IP アドレスを自動的に割り当てる設定）をおすすめします。通常は「有効」に設定されていますので、変更する必要はありません。**
- ルーターなどのセキュリティー設定によっては、本機からインターネットに接続できないことがあります。
- ルーターの取扱説明書もご覧ください。

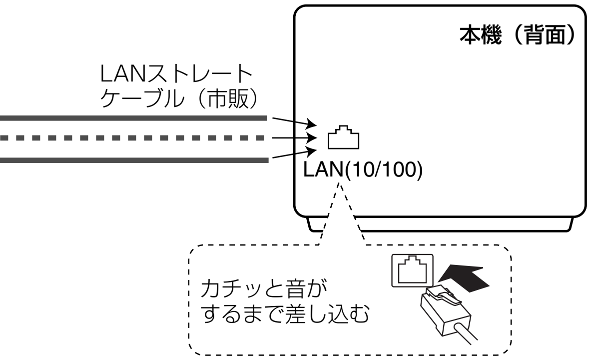
■本機の設定
- **ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」に設定している場合、本機はお買い上げ時の設定のままでお使いいただけます。**
- ルーターの設定によっては、本機側の設定を変更する必要があります。（☞ 77 ページ）（固定 IP アドレスを割り当ててネットワークに接続する場合など）

ヒント１・
ネットワーク接続の環境がないとき

インターネットにつながなくても、内蔵のGracenoteデータベースでCDタイトルを取得できます。
（☞ 右記「Gracenote®データベースについて」）

■インターネットへの接続について

- ADSLモデムやブロードバンドルーター、スプリッター、電話回線との接続などは、回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。



お願い

LAN端子には、LANケーブル以外のケーブル（電話のモジュラーケーブルなど）を誤挿入しないでください。故障の原因となります。

■免責事項について

- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- ルーターのセキュリティー設定をするには、高度なネットワーク知識が必要です。
  セキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。セキュリティー設定によって発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、各機器の設定・使用方法などに関するお問い合わせには、当社ではお答えできません。

Gracenote®データベースについて

Gracenote®データベースとはCDのタイトル情報を検索するためのデータベースです。

インターネットを通じてGracenoteサーバーにアクセスし、CDのタイトルやアーティスト情報などを自動的に取得することができます。

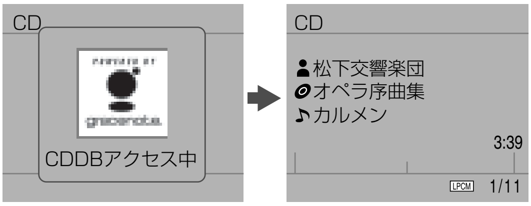
インターネット接続環境がない場合

本機にはGracenoteデータベースの一部が内蔵*されているため、インターネットに接続しなくてもタイトル情報が取得できます。
ただし、新発売のCDなどは内蔵のGracenoteデータベースにタイトルが登録されていないことがあります。

* 本機には、2005年9月時点のGracenoteデータベースから抜粋した、約30万タイトルの情報が登録されています。

■ Gracenoteデータベースの使いかた

CDを入れたときや、CDの録音や再生を始めたときなどに、**自動的にタイトルを検索しますので、特別な操作は必要ありません。**



検索中　　**検索後**

- 本機の画面上では、Gracenoteデータベースを“CDDB”（CDデータベース）と省略表記しています。



本機で使えるCDとSD

● 本書では、CD（音楽CD）、CD-R、CD-RWを総称してCDまたはディスクと表記しています。

名　称	本書でのマーク	できること	説　明
CD（市販の音楽CD）	使える機能に各マークがついています。 CD-DA	再生 HDD に録音	● 音楽CDが再生できます。 ● コピーコントロール付きCDなど、CD規格外ディスクの再生は保証しておりません。 ● DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）の再生は保証しておりません。
CD-R/CD-RW（パソコンなどで作ったディスク）	CD-DA WMA/MP3	再生 HDD に録音	● CD-DA、WMA、MP3のいずれかのフォーマットで記録し、記録終了時にセッションクローズまたはファイナライズ※したCD-RとCD-RWが再生できます。 ※再生対応機器で再生できるように処理すること。
SD/miniSD	SD	再生 HDD から転送	● SDメモリーカード、miniSD™カード（専用アダプターが必要です）が使えます。 ●「SDオーディオフォーマット」に対応した音楽データ（AAC/WMA/MP3）が再生できます。（WMA/MP3はSD-Jukeboxで作成したもののみ ☞ 50ページ） ● 本機のHDDに録音された音楽を、「SDオーディオフォーマット」対応のAACデータとして、SDに転送（記録）できます。

■使用可能なSDメモリーカードについて

● 本機では以下の容量（8 MB～2 GBまで）のSDメモリーカードが使用できます。

8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GBまで

最新情報はhttp://panasonic.jp/support/audio/でご確認ください。

● SDメモリーカードを他機やパソコンで初期化すると、本機での記録に時間がかかるようになったり、本機で使えないことがあります。このようなときは本機で初期化してください。（☞ 51ページ）
● 本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカードに対応しています。
● **「SDについて」（☞ 86ページ）もご覧ください。**

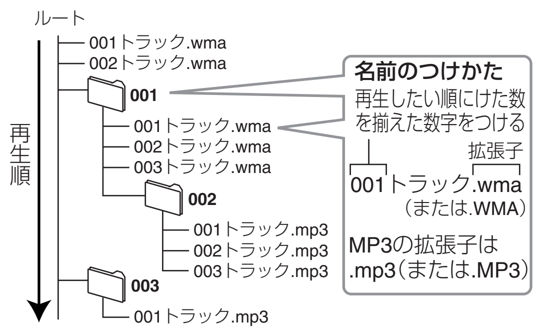
■本機で再生できるWMA/MP3（CD-R/CD-RW）を作るには

使用できるフォーマット：ISO9660 level 1及びlevel 2（拡張フォーマットを除く）、Joliet

● WMA/MP3ファイルの作成ソフトの説明書もご覧ください。記録状態により、再生できない場合があります。
● MP3のID3タグ（バージョン1と2）に対応しています。（曲名、アーティスト名、アルバム名）
● 可変ビットレートに対応しています。
● 最大フォルダ数399、トラック数999まで再生を保証しています。階層の深いフォルダが複数ある場合は、すべてのフォルダやファイルを認識できないことがあります。
● **「CDについて」（☞ 87ページ）もご覧ください。**

再生する順番を指定するには

以下のように名前を付けます。（ただし順番通りに再生できないことがあります）



HDD（ハードディスク）の取り扱い

HDD は記録密度が高く、長時間録音ができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ繊細な部品です。
ご使用の際は、以下の点に十分ご注意ください。

■HDD は振動や衝撃、ほこりに弱い精密機械です
設置環境や取り扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録音や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などが起こると、録音・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

■HDD に異常を感じた場合は、すぐに修理をご依頼ください
HDD 内に不具合箇所があると、録音時や再生時に継続した異音がしたり、音が途切れたりすることがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD 全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかに修理をご依頼ください。
HDD が故障した場合は、録音内容（データ）の修復はできません。

■HDD は定期的にバックアップを
ハードディスクが故障した場合に備えて、定期的にパソコンにバックアップをとっておくことをおすすめします。（☞ 79ページ）

重要なお願い

■設置時
- **後面の冷却用ファンや通風口をふさがない**
- **水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する**
- **ビデオデッキなどの熱源となるものの上に置かない**
- **温度変化が起こりやすい場所に設置しない**
- **「つゆつき」が発生しにくい場所に設置する**
  つゆつきとは…温度差が激しいため、冷たいコップの表面に水滴が付いたりする現象。本機の故障の原因となります。

「つゆつき」が発生しやすい状況
- 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
- 部屋の湿度が高いとき（湯気が立ち込めるなど）
- 梅雨の時期

上記の場合は、部屋の温度になじむまで、**電源を切ったまま**にしておいてください。（約２～３時間）

■タバコの煙などは故障の原因になります
タバコの煙、くん煙殺虫剤（煙をたくタイプの殺虫剤）などが機器内部に入ると故障の原因になります。

■動作中
- 振動や衝撃を与えない。（HDD が破損することがあります。）
- 電源プラグを抜いたり、設置した場所の電源ブレーカーを切ったりしない。

通電中、HDD は高速回転しています。回転による音や振動は故障ではありません。

■移動させるとき
① CD、SD などをすべて取り出す。
② 電源を切る。
③ “Goodbye!”表示が消えたあと 2 分以内、またはエンコード処理（☞ 18ページ）が終わってから電源プラグをコンセントから抜く。
④ 完全に回転が止まってから（2 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす。（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています。）

本機は電源を切ったあと（スタンバイ状態）、HDD に AAC へ変換されていない録音データがある場合、2 分経過すると録音データのエンコード処理を始めます。（電源ランプがオレンジ色に点滅）
エンコード処理中は：
- **電源コードやシステムケーブルを抜かないでください。**
- **電源スイッチのある延長コードをお使いの場合は、延長コードの電源スイッチは切らないでください。**

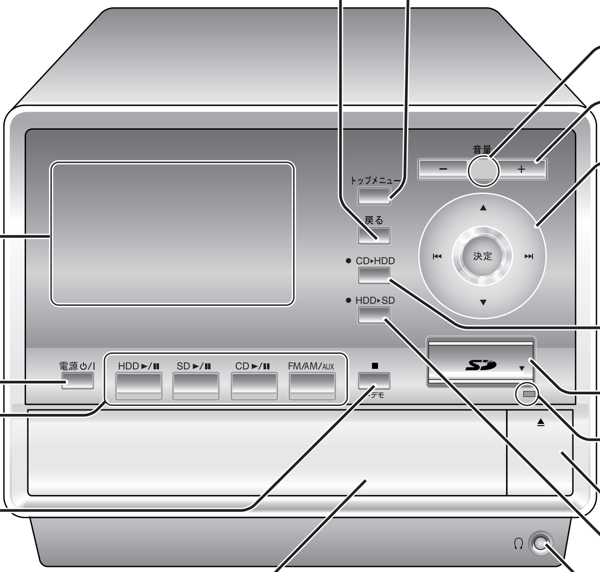
■録音内容の補償に関する免責事項について
何らかの不具合により、正常に録音・編集ができなかった場合の内容の補償、録音・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD 以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

㉒などの数字は参照ページです。

本　体

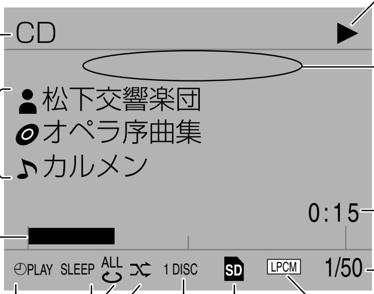
☆の付いているボタンは、リモコンの同名のボタンと同じ働きをします。



イラストは SC-SX800 です。

表示部

例）CD の再生中（1 曲表示画面）



リモコン

電源の入/切

CD を再生/一時停止 ㊳

数字、文字を入力 ㊴ ㊺ (54)

曲を飛び越す、放送局を切り換える ㉛ ㊷

停止

HDD を再生/一時停止 ㉚

トップメニューを表示 ㉜

項目を選び、決定 ⑲ ㉜

サブメニューを表示 ㉒

プレイリストをすぐに再生 ㉜
- HDD 専用のボタンです。HDD 以外のセレクターから直接 HDD のプレイリストを再生できます。

HDD に録音 ⑳

再生モードの切り換え ㊵ ㊷



タイマーの設定 (67)

ラジオ/外部機器を聞く ㉘ ㊷

音量を調節 ㉚

音を消す (74)

入力文字の種類を切り換える (54)

早送り、早戻し ㉛

SD を再生/一時停止 ㉞

曲をマイベストに登録 (52)

前の画面に戻る ㉒/
曲リストを表示 ㉛

音質/音場効果を使う (72)

SD に転送 ㊻

設定を変える ⑲ (66) (76)

■スクリーンセーバー（焼き付け防止用の表示）について

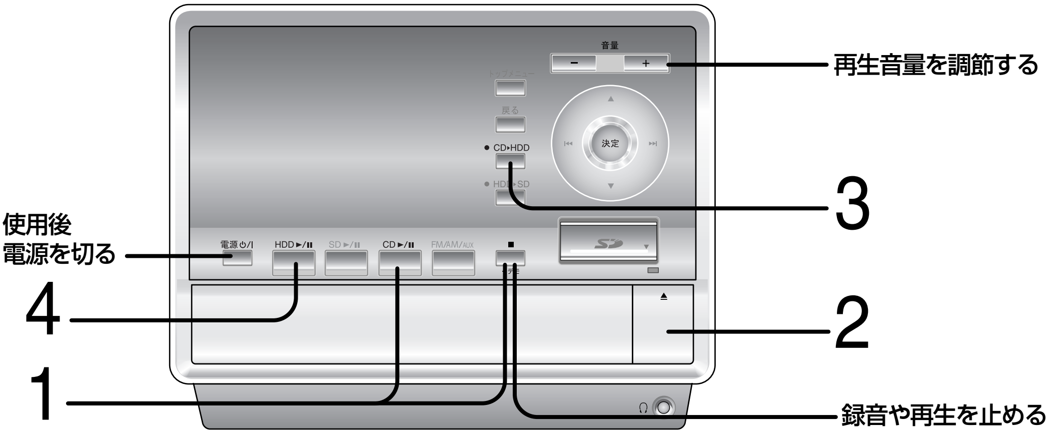
HDD/SD/CD の停止中やラジオ受信中に、ボタン操作のない状態が約 10 分以上続くと、表示がスクリーンセーバーに切り換わります。この状態で何かボタンを押すとスクリーンセーバーは解除されます。

本書の説明について

- リモコンでの操作を中心に説明します。
- 表示部の画面は説明のための例です。また、画面の一部を省略している場合があります。
- 本書内のイラストは、SC-SX800 のものです。

まず、使ってみよう

録る・聞く CDをHDDに録音しよう



1

CD ►/II

電源を入れる

●はじめに電源を入れたときは表示部に「お願い」文が表示されます。［決定］を押して次へ進めてください。
●電源切時（スタンバイ状態）の消費電力を少なくする「省電力モード」に切り換えるには76ページを参照ください。

■ -デモ

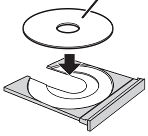
再生が始まったら
押して止める

2

CDを入れる

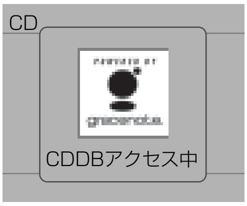
ラベル面を上に

①トレイを開け、
CDを入れる

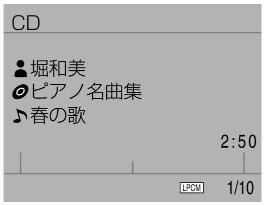


②トレイを閉じる
自動的にCDタイトルを検索します。

タイトル検索中



CDタイトル表示



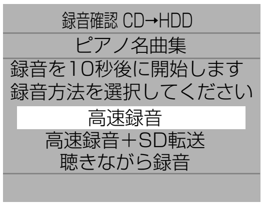
3

●CD▸HDD

録音を始める

約10秒後に高速録音開始。
高速録音中は音が聞こえません。

● “●録音中”と“●REC○○%”の表示が消えたら録音終了です。





録音状況表示

4

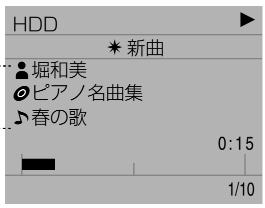
HDD ►/II

録音が終わったら、
HDDを再生する

お買い上げ後はじめて再生するときは、最後に録ったアルバムの再生になります。

●HDDの曲を探すには ☞ 32ページ

👤：アーティスト名
💿：アルバム名
♪：曲名

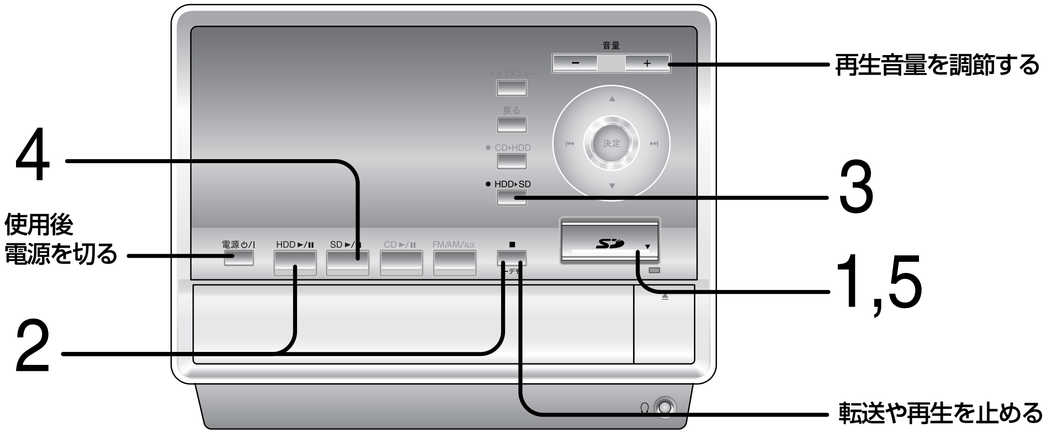


もっとくわしく

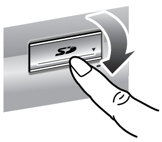
CDタイトル検索 ☞11ページ	**録音について** ☞20ページ	**再生について** ☞30ページ

準備
- 音楽CD（CD-DA）をご用意ください。
- SDメモリーカードをご用意ください。（☞ 12ページ）

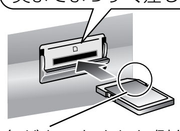
転送・聞く HDDの曲をSDに転送しよう



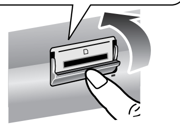
1 SDを入れる


凸部を押して
①ふたを開ける ➡

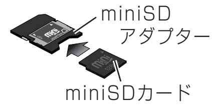
奥までまっすぐ差し込む


角がカットされた側を右奥に
②SDを入れる ➡

ふたが開いていると、
SDを操作できません。


上端部を押して
③ふたを閉じる

miniSDカードの場合



2

HDD ►/II → ■ -デモ

HDDの曲を再生したあと停止し、
転送する曲を確認する

- プレイリストや曲を指定して転送するには（☞ 48ページ）

HDDの停止中の画面

HDD
✴ 新曲 — 転送するプレイリスト
堀和美
ピアノ名曲集
春の歌 2:50
SD 1/10 — 転送する曲数

3

HDD▸SD

転送を始める
転送中は音が聞こえません。

- “●転送中”と“●REC○○%”の表示が消えたら転送終了です。

転送確認 HDD→SD
✴ 新曲
転送を10秒後に開始します ➡ 約10秒後に転送開始

4

SD ►/II

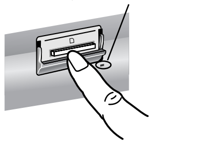
転送が終わったら、
SDを再生する

- 全曲をはじめから再生します。
- SDの曲を探すには ☞ 36ページ

5

SDを止めてから、**SDを取り出す**
ふたを開け、カードの中央部を指で押す
指ではさめるくらいカードが出てきます。
- SDアクセスランプの点滅中は取り出さないでください。（カードが使えなくなることがあります。）

SDアクセスランプ



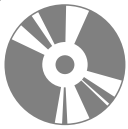
もっとくわしく

転送について
☞ 46ページ

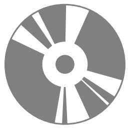
SDを他の機器で楽しむには
☞ 50ページ

録音の前に

こんな録音・転送ができます



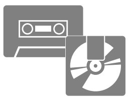
CD-DA（音楽 CD）から
（デジタル録音）
● 高速録音できます。
（☞ 20 ページ）



WMA/MP3 から
（アナログ録音）
（☞ 22 ページ）



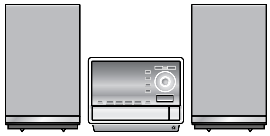
ラジオから
（アナログ録音）
（☞ 26 ページ）



外部機器（AUX）
から
（アナログ録音）
（☞ 28 ページ）

録音 ▶

本機の HDD へ



転送 ▶

SD へ（高速転送）



（デジタル転送）
● 好みの曲やプレイリストを選んで転送できます。
（☞ 46 ページ）

録音先・転送先 ／ 録音元・転送元	HDD に録音	SD に転送	高速録音/転送
HDD	—	○	○（最大 12 倍速※転送）
SD	×	—	—
音楽 CD	○	× SD へ直接録音することはできません。	○（最大 8 倍速録音）
WMA/MP3	○		×
ラジオ	○		×
外部機器（AUX）	○		×

※ 録音データの、AAC への変換が終了している場合の速度です。（下記「本機の録音のしくみ」を参照ください。）
実際の転送速度は、転送する曲の長さや録音モードによっても変化します。

本機の録音のしくみ

本機では録音モードに関わらず、まず LPCM で録音してから AAC に変換（エンコード処理）します。LPCM モードで録音したときは、LPCM と SD 転送用の AAC（XP）の両方のデータを保持します。

■ AAC への変換は下記のときに行います。

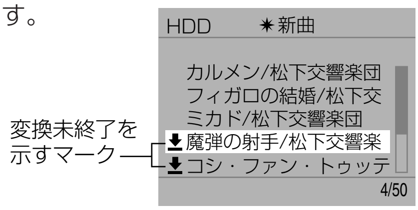
● 電源切（スタンバイ）時
電源を切ったあと 2 分経過するとエンコード処理を始めます（電源ランプが点滅）。
通常は電源コードを接続しておいてください。

● SD への転送時
AAC への変換が終了する前に SD に転送した場合、先に AAC への変換を行ってから SD に転送するので、転送時間が通常よりも長くかかります。このときは転送中に“AAC 変換中”と表示されます。

■ AAC への変換にかかる時間
録音元の約 3 分の 2 の時間がかかります。例えば 60 分の音楽 CD を録音した場合、AAC への変換には約 40 分かかります。

● 変換が終了していなくても再生できます。ただし、録音直後と、AAC への変換後に再生したときの音質が異なります。

変換が終了しているかどうかは、曲リスト画面（HDD の再生/停止中に[**戻る**]を押したときの画面）で確認できます。



お知らせ

● 高速録音・転送中は音声が聞こえません。
● 本体の電源ランプがオレンジ色で点滅しているときは、エンコード処理中です。エンコード処理中は、システムケーブルや電源コードを抜かないでください。

録音モード（録音時の音質とデータ容量）を設定する

HDD に録音するときの音質を設定します。高音質にするほど録音できる曲数は少なくなります。

録音モード

＊上段： SC-SX800（80 GB）、下段： SC-SX400（40 GB）

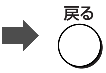
音質重視 ↕ 曲数重視

録音モード	データ形式 ビットレート	録音可能時間＊	説　明	SD 転送時の データ形式
LPCM	LPCM	約 109 時間 約 53 時間	音声信号を圧縮せずにそのままデジタル化して録音します。（☞ ヒント 1、2） お買い上げ時、音楽 CD の録音モードは LPCM に設定されています。	AAC(XP) データで転送されます。
AAC(XP)	AAC 128 kbps	約 1,320 時間 約 640 時間	AAC は、音楽データを小さく圧縮するための圧縮方式の一つです。ビットレートの違いにより、音質と録音できる曲数が変わります。 お買い上げ時、FM/AM/AUX, MP3/WMA の録音モードは AAC（XP）に設定されています。	HDD 録音時の録音モードと同じ形式で転送されます。
AAC(SP)	AAC 96 kbps	約 1,760 時間 約 850 時間		
AAC(LP)	AAC 64 kbps	約 2,640 時間 約 1,280 時間		

準　備　電源を入れる。



■一つ前の画面に戻る

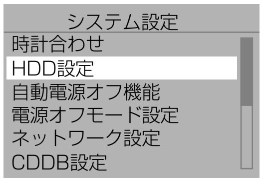


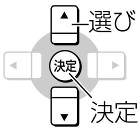
ヒント 1 ・LPCM モードについて
LPCM は元の音質を向上させるものではありません。

ヒント 2 ・LPCM の SD 転送
LPCM で録音した曲を SD に転送する場合、自動的に AAC（XP）データが生成され、SD には AAC（XP）のデータが転送されます。

1

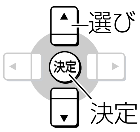

押す
設定メニュー画面になります。



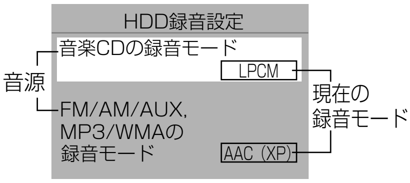
2


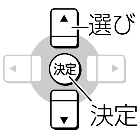
① “HDD 設定” を選び、決定
② “HDD 録音設定” を選び、決定



3


音源を選び、決定
音源別に、それぞれ録音モードを設定できます。



4


録音モードを選び、決定

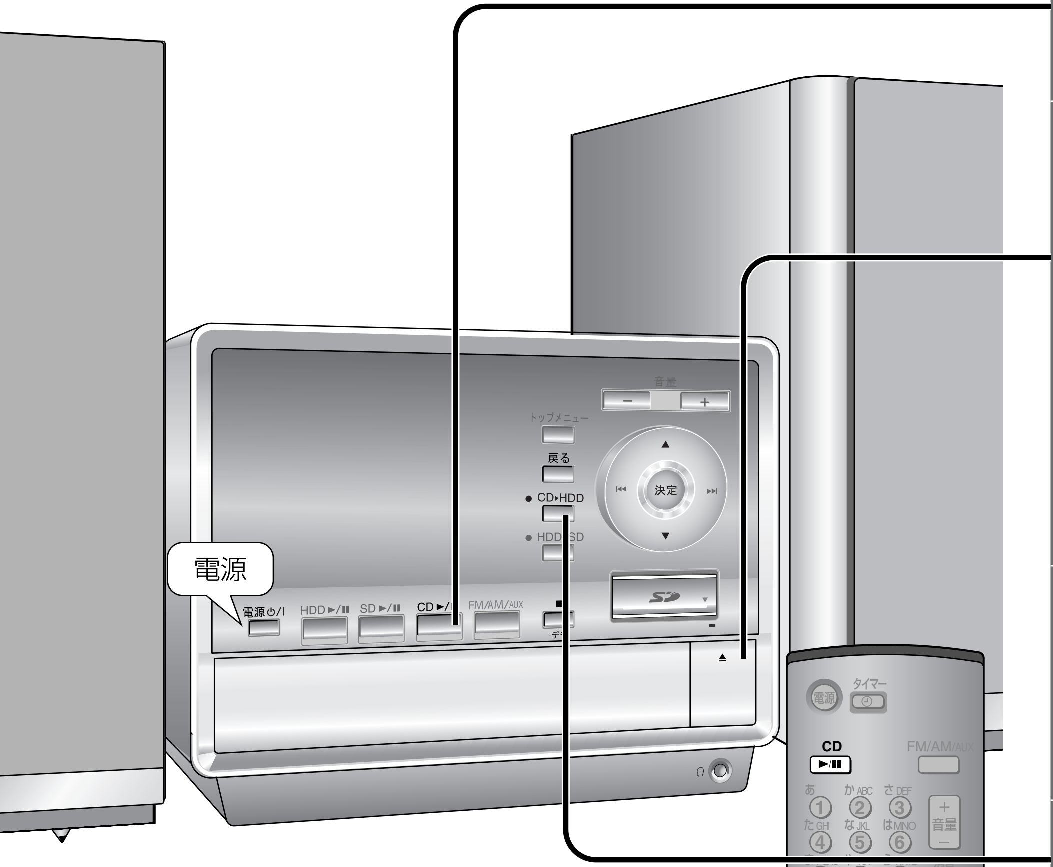


5


数回押す
元の画面に戻ります。
● [■（停止）]を押しても元の画面に戻ります。

音楽 CD を録る CD-DA

音楽 CD（CD-DA）の全曲を、HDD に高速で録音します。





1
電源を入れる

2
CD を入れる

3
録音モード
を設定する

4
高速で録音
する

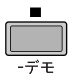
■録音した曲を聞くには
トップメニューから、アーティスト名やアルバム名などで探すことができます。（☞ 32 ページ）

お知らせ
- CD 再生中からの録音はできません。
- 録音中は一時停止できません。
- ランダムプレイでの録音はできません。
- コピーコントロール付き CD など、CD 規格外ディスクの再生および録音は保証しておりません。

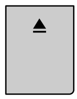
ヒント 1・
検索の結果、複数のタイトルが見つかったら
[▲、▼]でタイトルを選び、[**決定**]を押す。

ヒント 2・リモコンボタンで録音を始めたとき
録音確認画面が少し異なります。
CD 内の曲を選んで録音したり、録音後に続けて SD に転送したり、録音中の音を聞きながら通常速度で録音することができます。（☞ 24 ページ）

ヒント 3・“再生モードがランダム（リピート）になっています。”と表示されたら
ランダム、リピートの設定を解除してください。
（☞ 40 ページ）

■途中で止める
➡  押す

- 録音途中の（録音が完了していない）曲は、HDD に保存されません。

■録音後、CD を取り出す
➡  押す

CD ▶/Ⅱ

押す（電源が入る）

- 省電力モード（☞ 76ページ）に設定にしている場合は、電源が入ってから操作できるまで時間がかかります。

ディスクがありません

■ 再生が始まったら ➡

■ 押して止める
-デモ

▲

① 押してトレイを開き、CDを入れる

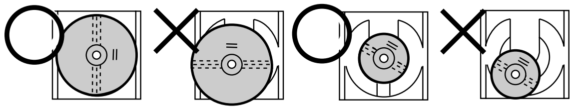
② もう一度押して閉じる

（トレイを手で押して閉めない）

Gracenoteデータベース（☞ 11ページ）で、CDタイトルを検索します。（☞✐ ヒント1）

- 最新のCDタイトルを取得するには、ネットワークの接続（☞ 10ページ）が必要です。

- ラベル面を上に、図のように正しく置く。



タイトル検索中

CD
CDDBアクセス中

検索後

CD
松下交響楽団 ―― アーティスト名
オペラ序曲集 ―― アルバム名
カルメン ―― 曲名（最初の曲）
3:39
LPCM 1/11 ―― 曲数
録音モード（☞19ページ）

音楽CDの場合は、

「音楽CDの録音モード」を設定する（☞ 19ページ）

本体で　　リモコンで

● CD▸HDD　または　HDD録音 ●　**押す**

約10秒後に録音が始まり、CD内の全曲を高速録音します。（☞✐ ヒント3）
高速録音中は、音が聞こえません。
CDと同じタイトルが付きます。

- "●録音中"と"● REC ○○%"の表示が消えたら録音終了です。

本体ボタンで録音を始めたとき（リモコンボタンで始めたときは ☞✐ ヒント2）

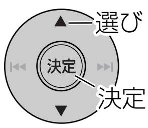
録音確認 CD→HDD
オペラ序曲集
録音を10秒後に開始します
録音方法を選択してください
高速録音
高速録音+SD転送
聴きながら録音

➡

CD ●録音中 CD→HDD
松下交響楽団
オペラ序曲集
カルメン
LPCM ●REC 23% 1/11
録音状況表示

■続けてSDに転送する/CDを聞きながら通常速度で録音する ➡

本体の[● CD ▶ HDD]を押したあと、10秒以内に"高速録音＋SD転送"または"聴きながら録音"を選び決定。



- [決定]を押さなくても、約10秒後に、選んだ設定で録音が始まります。

録音確認 CD→HDD
オペラ序曲集
録音を10秒後に開始します
録音方法を選択してください
高速録音
高速録音+SD転送
聴きながら録音

■録音前にCD内の曲目を確認する ➡

戻る　手順2で押す。

- 曲リストを表示。

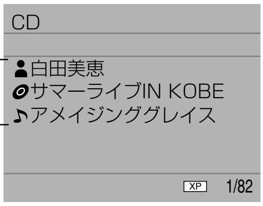
確認後は、[■（停止）]を押すか、約10秒待って元の画面に戻してください。

CD
カルメン
フィガロの結婚
ミカド
魔弾の射手
コシ・ファン・トゥッテ

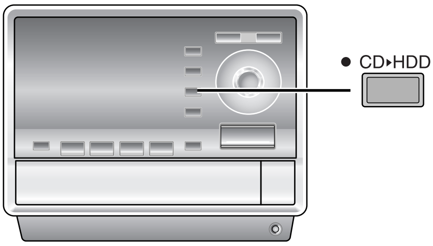
WMA/MP3 ディスクを録る WMA/MP3

準　備

① 「FM/AM/AUX, MP3/WMA の録音モード」を設定する。（☞ 19ページ）
② 録音したいWMA/MP3ディスクを入れる。（☞ 20ページ）
③ [CD ▶/❚❚]を押してセレクターをCDにし、[■（停止）]を押す。



パソコンなどで付けたタイトルを表示（☞✎ ヒント1）





■録音を止める ➡ [■]

● 録音途中の（録音が完了していない）曲は、HDDに保存されません。

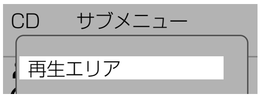
■一つ前の画面に戻る ➡ 戻る ◯

ディスク内の全曲を録る

ディスクモード

ディスク内の全曲を録音します。

1 サブメニュー ◯ 停止中に押して



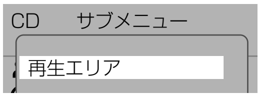
決定 押す

アルバムを指定して録る

アルバムモード

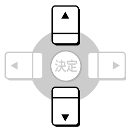
アルバム（フォルダ）単位で録音します。

1 サブメニュー ◯ 停止中に押して



決定 押す

4 10秒以内



ディスクの途中から録る

選んだ曲から最後まで録音します。

1 トップメニュー ◯ 停止中に押す

アルバムリスト画面になります。

4 10秒以内

曲リスト表示中に

リモコンで

HDD録音 ● 押す

お知らせ

● 録音中は一時停止できません。
● ディスク再生中からの録音はできません。

● WMA/MP3ディスクからはアナログ録音となり、高速録音はできません。

2 ▲▼選び 決定

“ディスク”を選び、決定（ディスクモード）

再生エリア
ディスク
アルバム

CD
白田美恵
サマーライブIN KOBE
アメイジンググレイス
1 DISC XP 1/82

ディスクモード表示

3 **リモコンで** HDD録音 **押す** または **本体で** ● CD▸HDD **押す**

約10秒後に録音が始まり、ディスク内の全曲を録音します。（☞✎ ヒント2、3）

---

2 ▲▼選び 決定

“アルバム”を選び、決定（アルバムモード）

再生エリア
ディスク
アルバム

CD
白田美恵
サマーライブIN KOBE
アメイジンググレイス
1 ALBUM XP 1/15

アルバムモード表示

3 トップメニュー **押す**
アルバムリストを表示します。

録音したいアルバムを選ぶ

CD
2005 Disc1
ROOT
Better Than Nothing
BGM集
サマーライブIN KOBE

録音したいアルバム

5 **10秒以内** **リモコンで** HDD録音 **押す** または **本体で** ● CD▸HDD **押す**

約10秒後に録音が始まり、選んだアルバム内の全曲を録音します。（☞✎ ヒント2、3）

---

2 **10秒以内** **アルバムを選び、決定**

▲▼選び 決定

CD
2005 Disc1
ROOT
Better Than Nothing
BGM集
サマーライブIN KOBE
シングル集1

3 **10秒以内** **録音を始める曲を選ぶ**

曲リスト画面

CD
Better Than Nothing
After The Ball Is Over
Goody Goody
Pegan Love Song
Mockingbird Hill

または

本体で ● CD▸HDD **押す**

約10秒後に録音が始まります。（☞✎ ヒント2、3）
● **ディスクモードのとき**：選んだ曲からディスクの最後まで録音。
● **アルバムモードのとき**：選んだ曲からアルバムの最後まで録音。

✎ ヒント1・曲やアルバムのタイトルについて

WMA/MP3ディスクの作成時にタグを使用しているときは、アーティスト名、アルバム名、曲名が表示されます。
タグ情報がない場合は、各トラックのファイル名が曲名として表示されます。（アルバム名やアーティスト名は“不明な○○○”のように表示されます）

✎ ヒント2・曲をさらに絞り込んで録音するには

録音ボタンを押してから10秒以内に[**サブメニュー**]を押すと、1曲ごとに録音するかどうかの設定ができます。（☞ 24ページ「曲を選んで録る」）

✎ ヒント3・“再生モードがランダム（リピート）になっています。”と表示されたら

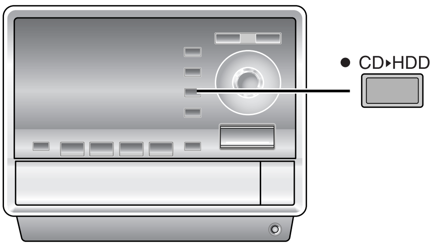
ランダム、リピートの設定を解除してください。（☞ 40ページ）

CD のいろいろな録音 CD-DA WMA/MP3

準 備

① 録音モードを設定する。（☞ 19 ページ）
② 録音したい CD を入れる。（☞ 20 ページ）
③ [CD ▶/❚❚]を押してセレクターを CD にし、[■（停止）]を押す。





■録音を止める➡ [■]

● 録音途中の（録音が完了していない）曲は、HDD に保存されません。

■一つ前の画面に戻る➡ 戻る

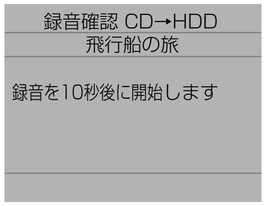
曲を選んで録る

好きな曲だけを選んで録音します。

CD-DA WMA/MP3

リモコンのみ

1 HDD録音 [●] **停止中に押す**



（☞✐ ヒント 1）

高速録音後、続けて SD に転送する

CD-DA

録音方法を選ぶ

5 ▲▼ 選び 決定 決定

CD を聞きながら同時に録る

CD を聞きながら通常速度で録音します。

CD-DA

CD の途中から録る

選んだ曲から最終曲まで録音します。

CD-DA

リモコンのみ

1 戻る **停止中に押す**

高速録音中に他の曲を聞く

CD-DA（音楽 CD）の高速録音をしている間、HDD の再生を楽しむことができます。
（☞✐ ヒント3）

CD-DA

1 高速録音中に
HDD [▶/❚❚] 押して
HDD を再生する
（くわしくは ☞ 30 ページ）

● “高速録音＋ SD 転送”での録音および転送中は、HDD を再生できません。

✐ ヒント 1・“再生モードがランダム（リピート）になっています。”と表示されたら

ランダム、リピートの設定を解除してください。
（☞ 40 ページ）

2 10秒以内 サブメニュー 押す

録音する曲を選ぶ（リモコンで録音を始めたときのみ）

3 録音する曲を指定する

[▲、▼]で曲を選び、[◀、▶]で録音するかしないかを選ぶ

録音選曲 CD→HDD
飛行船の旅
☑ぼくのおばあちゃん
☐クッキーのうた
☑クリスマスルンバ
☐かいちゃん遊ぼ
☐あさりはまぐりむきみ

☑：録音する
☐：録音しない

WMA/MP3 の場合、最大999曲まで表示

4 決定 押す

録音確認画面になり、約10秒後に録音が始まります。

● CD-DA の場合
録音方法を選ぶときは、10秒以内に手順**5**の操作に進んでください。

（CD-DAのみ）

■高速で録音するとき
→“高速録音”を選び、決定。

■録音後、続けてSDに転送するとき
→“高速録音+SD転送”を選び、決定。
- あらかじめ記録可能なSDを入れておきます。（☞ 46ページ）
- エンコード処理（☞ 18ページ）を行ってからSDへ転送するため、通常よりも長く時間がかかります。

■CDを再生しながら録音するとき
→“聴きながら録音”を選び、決定。

録音確認 CD→HDD
飛行船の旅
録音を10秒後に開始します
録音方法を選択してください
高速録音
高速録音+SD転送
聴きながら録音

[**決定**]を押さない場合、約10秒後に、選んだ設定で録音が始まります。

● “●録音中”と“● REC ○○%”の表示が消えたら録音終了です。

2 10秒以内 曲を選ぶ

CD
カルメン
フィガロの結婚
ミカド
魔弾の射手
コシ・ファン・トゥッテ

この曲から録音

3 10秒以内 HDD録音 押す

約10秒後に録音が始まり、選んだ曲から最後の曲まで録音します。
（☞✐ ヒント1、2）

● “●録音中”と“● REC ○○%”の表示が消えたら録音終了です。

セレクター表示
HDD ▶
✴新曲
松下交響楽団
オペラ序曲集
カルメン
0:15
●REC 15%
1/50

再生中の曲情報
再生経過時間
録音状況
再生状況

● “● REC ○○%”の表示が消えたら録音終了です。

■録音中の操作

通常のHDD再生時と同じように、スキップ、サーチなどの操作ができます。（☞ 31ページ）

● HDDの再生を止める
セレクター表示がHDDのときに ➡ [■]
（もう一度押すと、録音を停止）

● [CD ▶/❚❚]を押すとセレクター表示がCDになり、録音中の状況を表示する画面になります。この画面で[■（停止）]を押すと、録音が停止します。

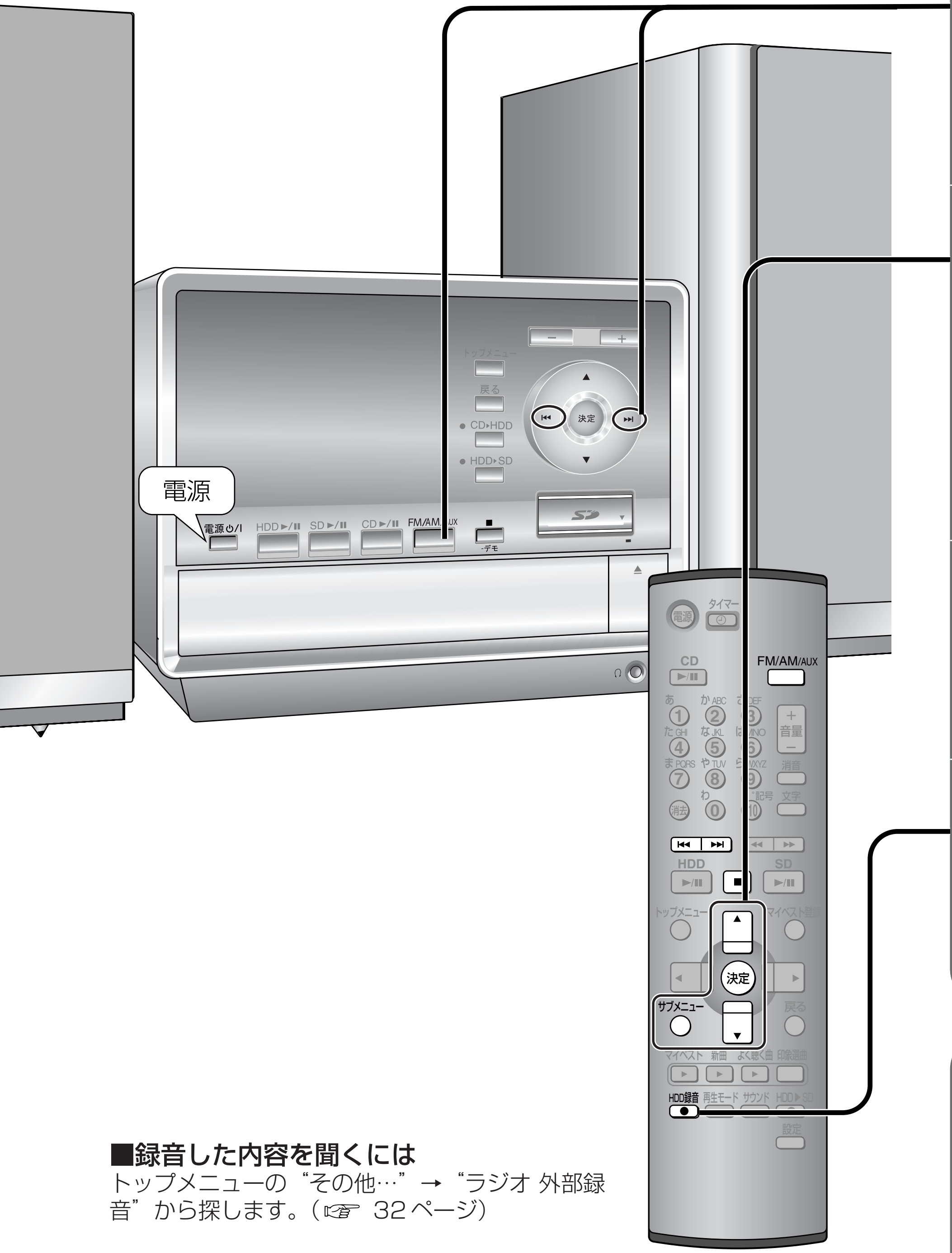
✐ ヒント2・曲をさらに絞り込んで録音するには
録音ボタンを押して10秒以内に[**サブメニュー**]を押すと、さらに曲を絞り込んだり、録音方法を選ぶことができます。

✐ ヒント3・先にHDDの再生をしているとき
HDDの再生中に、本体の[**● CD ▶ HDD**]を押しても録音が始まります。（HDDの再生を続けながら、CD全曲を高速録音します）

録音
CDのいろいろな録音

ラジオ放送を録る

ラジオ放送を HDD に録音します。



■録音した内容を聞くには
トップメニューの“その他…”→“ラジオ 外部録音”から探します。（☞ 32 ページ）

お知らせ
● 本体の[● CD ▶ HDD]では、ラジオ放送の録音はできません。リモコンの[● HDD 録音]を使ってください。

1
ラジオ放送を受信する

2
曲の分けかたを設定する

3
録音モードを設定する

4
録音を始める

■録音を止める

■一時停止する
リモコンのみ

■手動で曲を分割する

準備
● AMループアンテナ、FM簡易型アンテナを接続する。(☞ 8ページ)

① FM/AM/AUX **押して**(電源が入る)
"FM"または"AM"を選ぶ
押すたびに
FM→AM→AUX

● 省電力モード(☞ 76ページ)に設定にしている場合は、電源が入ってから操作できるまで時間がかかります。

② **押して**
録音したい放送局を受信する
押す
(くわしくは、☞ 42ページ)

FM
STEREO
MANUAL 80.2 MHz

① リモコンのみ
サブメニュー **押す**

② **"録音時のトラック分割"を選び**
決定
選び
決定

FM サブメニュー
音声モード
プリセット登録
録音時のトラック分割

③ **曲の分けかたを選び、決定**
選び
決定

録音時のトラック分割
オート(5分)
オート(10分)
マニュアル

オート(5分):
5分おきに1曲として分割。
オート(10分):
10分おきに1曲として分割。
マニュアル:
自動では分割しない。(☞ヒント1)

「FM/AM/AUX, MP3/WMAの録音モード」を設定する
(☞ 19ページ)

リモコンのみ

HDD録音 **押す**

録音が始まります。
自動的にタイトルが付きます。(☞ ヒント2)

FM ●録音中 FM→HDD
STEREO
MANUAL 80.2 MHz
XP ●REC 00:01 ─録音経過時間
└録音モード(☞19ページ)

➡ ■ -デモ 押す

➡ HDD録音 押す
再開するには再度押す。
(曲が分割されます)

➡ 決定 録音中に、好みの位置で押す
● 曲を分割するときは、約2秒以上の間隔をあけてください。(2秒以下では分割できません)

ヒント1・マニュアルで長時間録音したとき
60分以上連続して録音すると、自動的に曲が分割されます。

ヒント2・
ラジオから録音したときのタイトルについて
録音を始めてから停止するまでの一続きが、プレイリスト(録音データ)として扱われます。

タイトルの付きかた(例)
FM_00001(プレイリスト名)
曲1 ─ アーティスト名 : FM録音データ
曲2　 アルバム名 : FM録音データ_00001
曲3　 曲名 : FM_00001_0001
⋮

録音後に、分かりやすいタイトルに変更することもできます。(☞ 60ページ)

録音
ラジオ放送を録る

外部機器（MD など）の音を録る

MD やテープなどの音を本機の HDD に録音できます。

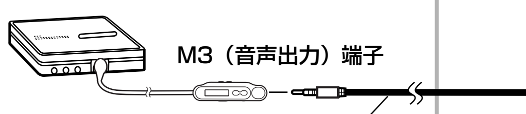


外部機器を接続する

- ●ポータブル MD
- ●カセットデッキ
- ●テレビ
- ●有線
- ● BS/CS チューナーなど

電源を切った状態で接続します。

ポータブルMDプレーヤーなど
（M3端子のある機器）

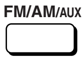


オーディオコード
（☞ 75 ページ「別売品のご紹介」）

外部機器から HDD に録る

（☞✎ ヒント 1）

1

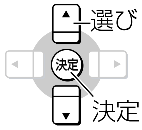


押して
“AUX”を選ぶ

押すたびに
FM→AM→**AUX**

- 聞くだけのときは、このあと外部機器を再生します。
- ポータブル MD の場合、ポータブル MD 側で音量調節を行ってください。

4



曲の分けかたを選び、決定

録音時のトラック分割

- オート（5分）
- オート（10分）
- オート（シンクロ）
- マニュアル

■録音した内容を聞くには

トップメニューの“その他…”→“ラジオ 外部録音”から探します。（☞ 32 ページ）

■入力レベルを調整する

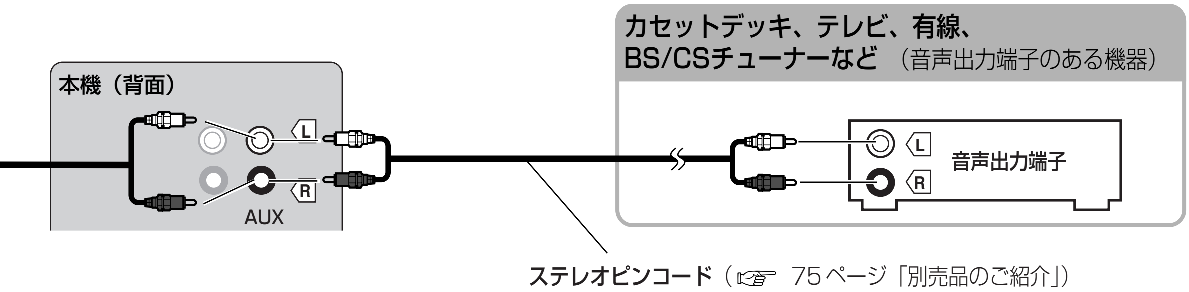
音量に不足を感じる場合は、入力レベルを調整してから録音してください。

AUX 選択中に
① [**サブメニュー**]を押す。
② [▲、▼]で“入力レベル”を選び、決定する。
③ [▲、▼]で“レベル（高）”を選び、決定する。
お買い上げ時の設定は“レベル（標準）”です。

お知らせ

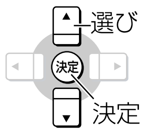
- 音源や録音方法によっては録音時間に誤差が生じることがあります。
- MD などで付けたタイトルは、本機にコピーされません。
- 本体の[● CD ▶ HDD]では、外部機器の録音はできません。リモコンの[● HDD 録音]を使ってください。

● 接続した機器の説明書もご覧ください。



● 接続した機器の入力レベルが低い場合は、調整してください。（☞ 下記「入力レベルを調整する」）

2 サブメニュー **押す**

3 

“録音時のトラック分割”を選び、決定

AUX　サブメニュー
入力レベル
録音時のトラック分割

オート（5分）：
5分おきに1曲として分割。
オート（10分）：
10分おきに1曲として分割。
オート（シンクロ）：（☞ ヒント2）
曲間の無音部を検出して、自動的に曲を分割します。接続した機器で再生すると自動的に録音を開始します。無音部が約3秒以上続くと一時停止し、音の再開で録音も再開します。
マニュアル：自動では分割しない。
（☞ ヒント3）

5 HDD録音 ● **押す**

● **オート（5分/10分）、マニュアルでは**
録音が始まります。
● **シンクロでは**
録音待機状態になります。

6 **外部機器で再生を始める**

● シンクロでは、音の出始めから録音が始まります。

■録音を止める
[■（停止）]を押す。

■一時停止する
[● HDD録音] を押す。
再開するには再度押す。(曲が分割されます)

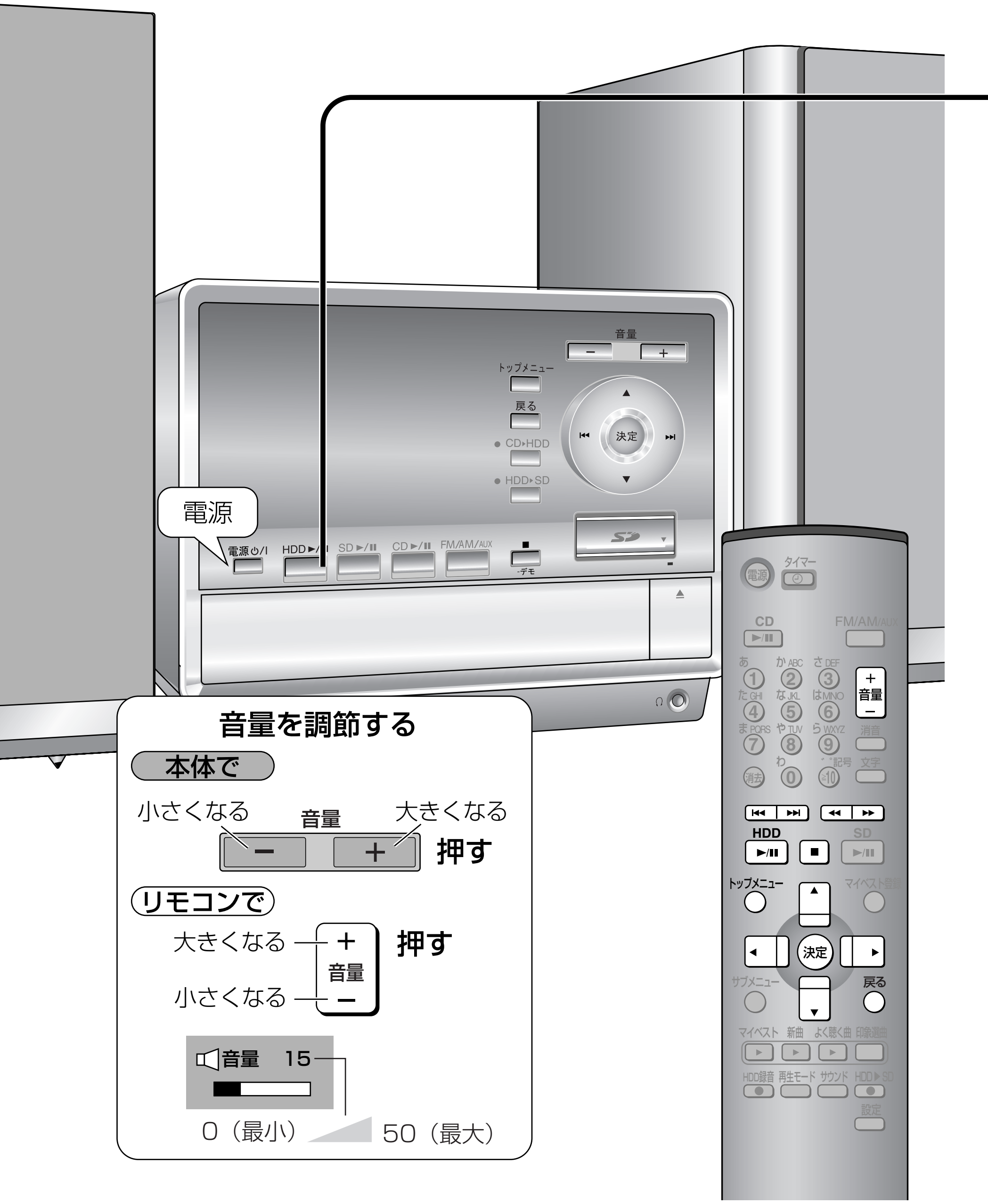
■手動で曲を分ける
録音中に、好みの位置で[**決定**]を押す。
● 曲を分割するときは、約2秒以上の間隔をあけてください。（2秒以下では分割できません）

ヒント1・
外部機器から録音したときのタイトルについて
録音を始めてから停止するまでの一続きが、プレイリスト（録音データ）として扱われます。
各曲にはラジオから録音したときと同様のタイトルが付きます。（☞ 27ページ）　録音後に、分かりやすいタイトルに変更することもできます。（☞ 60ページ）

ヒント2・シンクロ録音について
音源によっては“オート（シンクロ）”で録音すると、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い部分では一時停止してしまうことがあります。また、録音元と録音先の曲数が一致しない場合があります。このような場合は、“マニュアル”で録音してください。

ヒント3・マニュアルで長時間録音したとき
60分以上連続して録音すると、自動的に曲が分割されます。

HDD の曲を聞く



1

再生する

ヒント１・プレイリストとは

一定の条件にしたがって分類された曲の集まりです。

HDD の曲は、タイトルや音源などの情報をもとに、あらかじめ用意されているいくつかのプレイリストに自動的に振り分けられています。

例えば CD から録音した曲は、アルバム名ごとに分類されているので、プレイリストの“アルバム”から簡単に探すことができます。（くわしくは☞ 32 ページ「HDD の曲を探す」）

また、録音後に好きな曲を好きな順に登録して、ご自分でプレイリストを作ることもできます。

ヒント２・“新曲”プレイリストとは

CD-DA や WMA/MP3 から録った曲から、録音の新しい順に最大 50 曲集めたプレイリストです。（同じ CD から録音した曲は CD の曲順どおりに再生します）

ラジオや外部機器から録音した曲は含まれませんので、それらの曲を聞くときはトップメニューの“その他…”→“ラジオ 外部録音”から探してください。（☞ 32 ページ）

HDD ►/❚❚

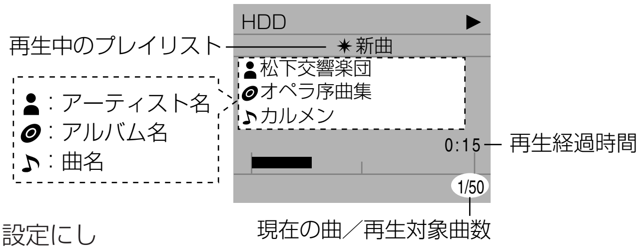
押す

自動的に電源が入り、前に聞いていた曲から再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

- プレイリスト（☞ ヒント1）の最終曲まで再生して、停止します。
- 省電力モード（☞ 76ページ）に設定にしている場合は、電源が入ってから操作できるまで時間がかかります。

お買い上げ後、はじめて再生するときのみ
最近録音した曲を集めたプレイリスト（"新曲"）の再生になります。（☞ ヒント2）

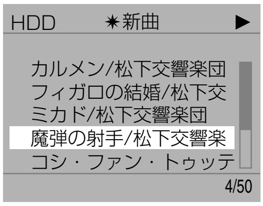
1曲表示画面



■曲リストを見る／好きな曲から聞く

➡ 戻る 押す ➡

再生対象曲の曲リスト画面



- [■（停止）]を押すか、10秒経過すると元の画面に戻ります。
- [▲、▼]で曲を選び、[**決定**]を押すと、その曲から再生します。
- 本体の[⏮、⏭]や、リモコンの[◄、►]でアルバムなどを切り換えられる場合もあります。

■他のプレイリストから曲を探す

➡ トップメニュー 押す （☞ 32ページ）

■停止する

➡ ■ -デモ 押す

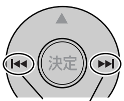
■一時停止する

➡ HDD ►/❚❚ 押す（再開するには、もう一度押す）

■曲を飛ばす（スキップ）

- 手順1の1曲表示画面で操作してください。

➡ 本体で



押す

リモコンで

⏮ | ⏭ 押す

■早送り／早戻しする（サーチ）

➡ リモコンのみ

◄◄ | ►►

再生または一時停止中に、聞きたい位置まで押したままにする。

- サーチ中は音が聞こえません。
- サーチ後、音が出るまでに時間がかかることがあります。

■好きな曲順で再生する

➡ プレイリストを作ってください。（☞ 56ページ）

再生

HDDの曲を聞く

HDD の曲を探す

「トップメニュー」を使うと、プレイリストから聞きたい曲やアルバムなどをすばやく見つけることができます。また、SD に転送する曲を探すときや、曲を編集するときもトップメニューが活躍します。





いろいろな探しかた

マイベスト

お気に入り曲の中から探す

マイベスト（☞ 52 ページ）に登録した曲だけを集めています。

● マイベスト→曲（最大 99）

新曲

最近録音した曲を探す＊

録音の新しいものを、最大 50 曲集めています。

● 新曲→曲（最大 50）

よく聴く曲

よく聴く曲を探す＊

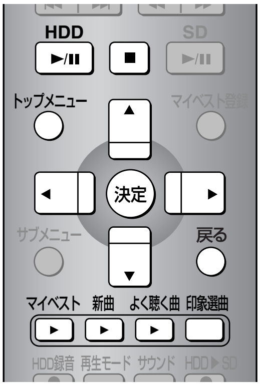
最近聞いた 200 曲の中から、再生回数の多い順に最大 30 曲を集めています。

● よく聴く曲→曲（最大 30）

＊ ラジオや外部機器から録音した曲は含まれません。

準　備

[HDD ▶/❚❚]を押してセレクターを HDD にする。



プレイリストから曲を探して再生する

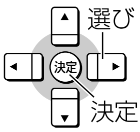
ここではアーティスト名から探す場合の画面を例に説明しています。
選んだ項目によって、画面の細部が異なることがあります。

1 再生/停止中に

トップメニュー

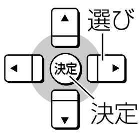
押す

2



以降の操作は、間隔をあけずに行ってください。10 秒以上操作がないと、元の画面に戻ります。

4 **アーティスト、アルバム、印象選曲、ラジオ 外部録音**を選んだ場合



プレイリストやアルバムを選び、決定

● アルバムは 50 音順に並んでいます。（☞ ヒント 3）

■一つ前の画面に戻る

➡ 戻る ◯

■元の画面に戻る ➡ ■

■リモコンで簡単に再生する

➡ マイベスト ▶　新曲 ▶　よく聴く曲 ▶　印象選曲

選んだプレイリストの再生が、すぐに始まります。
（[**印象選曲**]の場合は、プレイリストを選んでください。）

ヒント 1・印象選曲機能について

CD から録音すると、曲のテンポやビートなどの特徴をもとに本機が曲の印象を判断します（曲によってはどの印象にも当てはまらないことがあります）。気分に合わせて印象を選ぶと、その都度、印象にマッチする曲が最大 99 曲ランダムに選ばれます。

以下の 7 種類の印象プレイリストがあります。
ウキウキ系●癒し系●ゆったり系●騒ぎたい感じ●ポップ系●切ない感じ●ノリノリ系

（プレイリストの種類）

印象選曲

気分に合わせておまかせで選ぶ＊
印象選曲機能（☞✎ ヒント1）の選曲結果を表示します。選ぶたびに曲目や曲順が変わります。（最大99曲）
● →プレイリスト（7）→曲（最大99）

全曲

曲名から探す（全曲再生）
HDD内の全曲が、曲名順に並んでいます。選んだ曲から曲名順に再生します。
● →曲

アーティスト

アーティスト名から探す
アーティストごとに分類されています。さらにアルバムを絞り込むこともできます。
● →アーティスト→アルバム→曲

ユーザープレイリスト

ご自分で作ったプレイリストから探す
録音後に、ご自分で作ったプレイリストから探します。（☞ 56ページ）
● →プレイリスト→曲（最大99）

アルバム

アルバム名から探す
アルバム名ごとに分類されています。
● →アルバム→曲

ラジオ外部録音

ラジオや、MDなどの外部機器から録音した曲を探す
ラジオや外部機器から録音したものだけを集めています。
● →プレイリスト→曲

再生

HDDの曲を探す

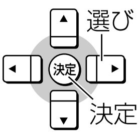
項目を選び、決定



必要に応じて“その他…”を選び、さらに項目を選ぶ。

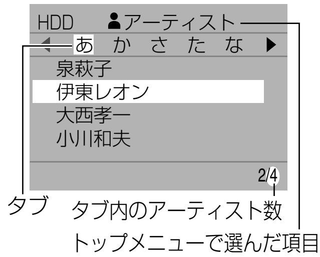
3

アーティストを選んだ場合



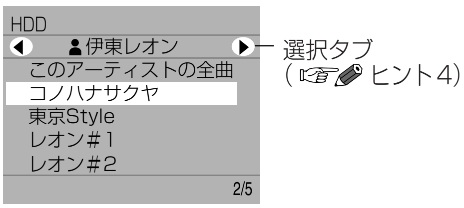
アーティスト名を選び、決定
[◀、▶]でタブを切り換え、[▲、▼]でアーティストを選びます。
（☞✎ ヒント2、3）

アーティスト選択画面

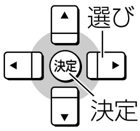


ユーザープレイリスト、

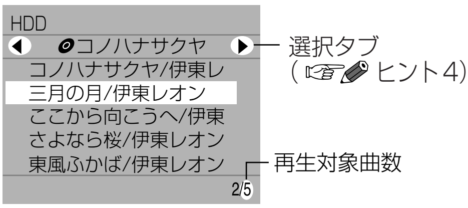
プレイリスト選択画面



5



聞きたい曲を選び、決定
曲リスト画面



選んだ曲からリスト順に再生対象曲を再生します。

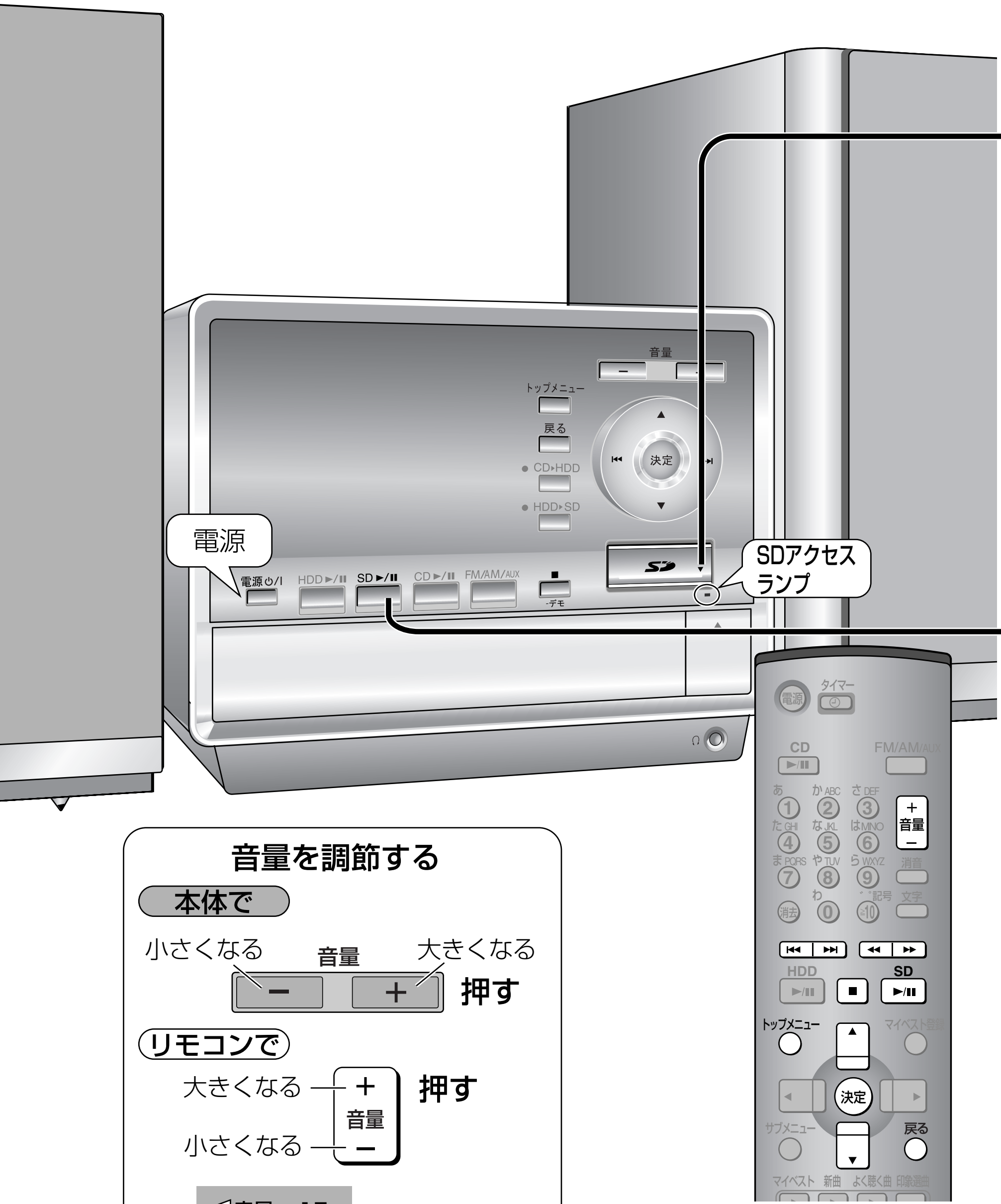
✎ ヒント2・50音タブについて
50音タブは以下の順に表示されます。
● あかさたな…→アルファベット→その他（数字や記号）

“アルバム”を選んだときのプレイリスト選択画面（手順**4**）や、“全曲”を選んだときの曲リスト画面（手順**5**）でも50音タブが表示されます。

✎ ヒント3・50音の並び順について
漢字を含むタイトルが、本来の読み通りにならないことがあります。このときは読みを訂正（☞ 54、60ページ）してください。

✎ ヒント4・選択タブについて
画面の2行目に◀や▶マークが出ているときは、[◀、▶]でアルバムなどを切り換えることができます。

SD の曲を聞く



1 SD を入れる

2 再生する

音量を調節する

本体で

小さくなる　音量 [－] [＋]　大きくなる　**押す**

リモコンで

大きくなる ＋ 音量　**押す**
小さくなる －

音量　15

0（最小）　50（最大）

お知らせ

● 多数のプレイリストが記録された SD では、読み込みに時間がかかることがあります。

再生できるデータ形式について

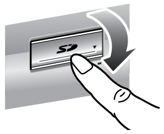
本機では、「SD オーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/MP3/WMA)のみ再生できます。

■**停止する** ➡ ■ -デモ　押す

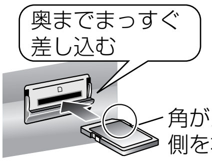
■**一時停止する** ➡ SD ►/II　押す（再開するには、もう一度押す）

■**好きな曲順で再生する** ➡
プレイリストを作ってください。
（☞ 56 ページ）

● 本機では、8 MB～2 GB までの SD メモリーカードが使用できます。（☞ 12 ページ）

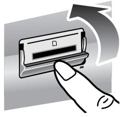


凸部を押して
① ふたを開ける



② SD を入れる

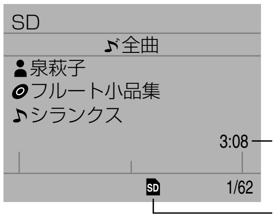
角がカットされた側を右奥に



上端部を押して
③ ふたを閉じる

ふたが開いていると再生できません。

セレクターが SD のとき

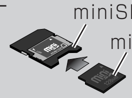


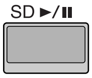
曲の再生時間

SDを入れると表示

miniSD カードをお使いの場合

miniSD アダプターが必要です。





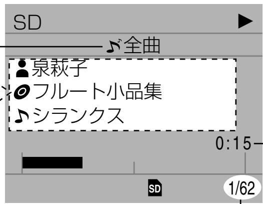
押す

再生が始まり、プレイリストの最終曲まで再生して、停止します。（SD を入れた直後は全曲を再生）

● 電源「切」時に SD が入っているときは、この操作だけで自動的に電源が入り、全曲をはじめから再生します。（ワンタッチプレイ）

● 省電力モード（☞ 76 ページ）に設定にしている場合は、電源が入ってから操作できるまで時間がかかります。

1 曲表示画面



再生中のプレイリスト

👤：アーティスト名
◎：アルバム名
♪：曲名

再生経過時間

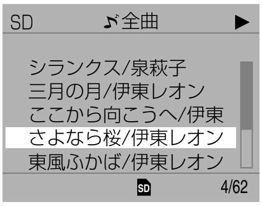
現在の曲／再生対象曲数

■曲リストを見る／好きな曲から聞く



押す

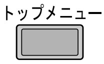
再生対象曲の曲リスト画面



● [■（停止）] を押すか、10 秒経過すると元の画面に戻ります。

● [▲、▼]で曲を選び、[**決定**]を押すと、その曲から再生します。

■他のプレイリストから曲を探す



押す

（☞ 36 ページ）

■曲を飛ばす（スキップ）

● 手順 **2** の 1 曲表示画面で操作してください。

本体で



押す

リモコンで



押す

■早送り／早戻しする（サーチ）

リモコンのみ



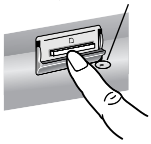
再生または一時停止中に、聞きたい位置まで押したままにする。

● サーチ中は音が聞こえません。

● サーチ後、音が出るまでに時間がかかることがあります。

■SD を取り出す

SDアクセスランプ



① 停止中にふたを開ける。
② カードの中央部を指で押す。（指ではさめるくらいカードが出ます）
③ まっすぐ引き抜く。
④ ふたを閉める。

お願い

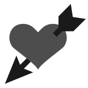
● SD アクセスランプの点滅中は、絶対にふたを開けたり、SD を取り出さないでください。カードが使えなくなることがあります。

SDの曲を探す

「トップメニュー」を使うと、聞きたい曲やアルバム、プレイリストなどをすばやく見つけることができます。また、編集する曲を探すときもトップメニューが活躍します。



いろいろな探しかた



マイベスト

お気に入り曲の中から探す
HDDの"マイベスト"から転送した曲が集められています。

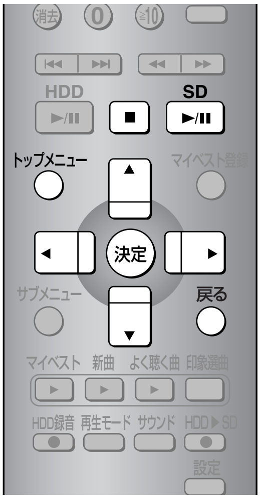


印象選曲

曲の雰囲気で探す
HDDの"印象選曲"から転送したプレイリストが集められています。

準 備

[SD ▶/❚❚]を押してセレクターをSDにする。



■一つ前の画面に戻る

➡ 戻る ◯

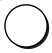
■元の画面に戻る

➡ ■

プレイリストから曲を探して再生する

選んだ項目によって、画面の細部が異なることがあります。

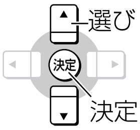
1 再生/停止中に



押す

以降の操作は、間隔をあけずに行ってください。10秒以上操作がないと、元の画面に戻ります。

3 アーティスト、アルバム、印象選曲、



アーティストやアルバム、プレイリストを選び、決定

● 転送（記録）した順に並んでいます。

（プレイリストの種類）

アルバム

アルバム名から探す
HDDの“アルバム”から転送したプレイリストが、アルバムごとに分類されています。

全曲

SD内の全曲から探す
SD内の全曲が、記録した順に並んでいます。
HDDから1曲ずつ転送した曲は、ここで見つけることができます。

アーティスト

アーティスト名から探す
HDDの“アーティスト”から“このアーティストの全曲”を転送したものが、アーティストごとに分類されています。

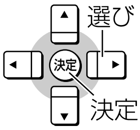
プレイリスト

いろいろなプレイリストから探す
ご自分で作ったプレイリストや、HDDから転送したプレイリストが集められています。

お知らせ

● SDの場合、プレイリストごとの最大曲数は99曲です。

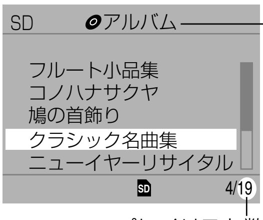
2 項目を選び、決定





プレイリストを選んだ場合

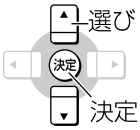
プレイリスト選択画面



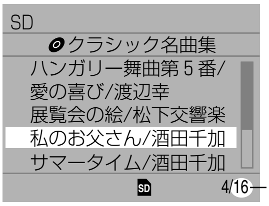
プレイリスト数

トップメニューで選んだ項目

4 聞きたい曲を選び、決定



曲リスト画面



再生対象曲数

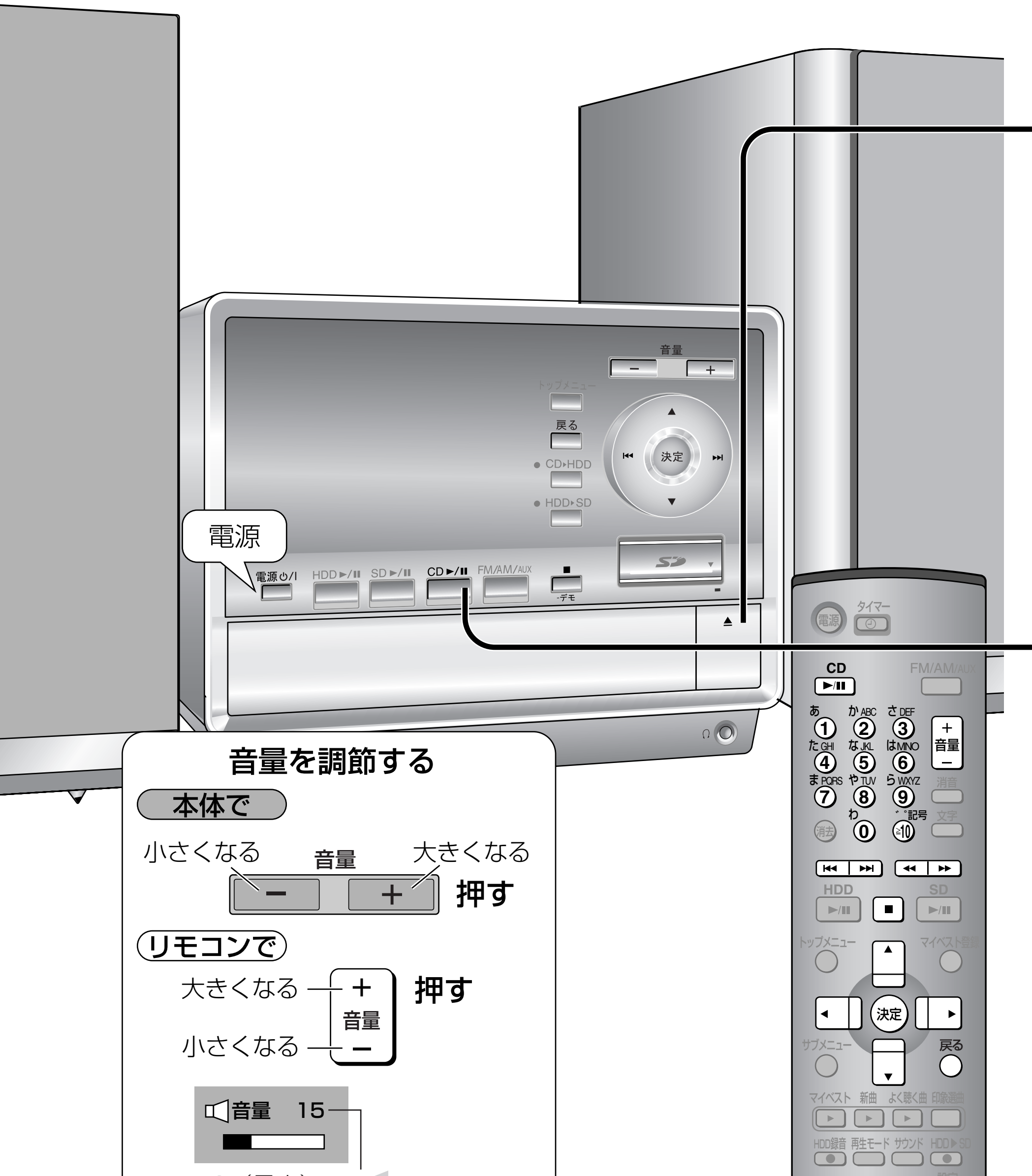
選んだ曲から順に再生対象曲を再生します。

再生

SDの曲を探す

CD の曲を聞く

CD-DA　WMA/MP3



1 CD を入れる

2 再生する

音量を調節する

本体で

小さくなる　音量　大きくなる

［－］［＋］ **押す**

リモコンで

大きくなる ＋ 音量

小さくなる － **押す**

音量　15

0（最小）　50（最大）

■停止する ➡ ■ -デモ 押す

■一時停止する ➡ CD ▶/❚❚ 押す（再開するには、もう一度押す）

お知らせ

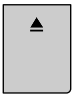
- コピーコントロール付き CD など、CD 規格外ディスクの再生は保証していません。
- WMA/MP3 ディスクでは、再生時間表示と実際の再生時間に誤差がある場合があります。
- WMA/MP3 ディスクでは読み込みに時間がかかることがあります。

ヒント１・検索の結果、複数のタイトルが見つかったら

[▲、▼]でタイトルを選び、[**決定**]を押す。

ヒント２・WMA/MP3 ディスクでタグを使用していないとき

パソコンなどで付けたファイル名が、曲名として表示されます。



① 押してトレイを開き（電源が入る）CDを入れる

● 省電力モード（☞ 76ページ）に設定にしている場合は、電源が入ってから操作できるまで時間がかかります。

② もう一度押して閉じる

（トレイを手で押して閉めない）

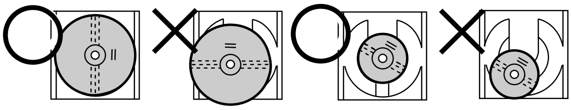
CD-DA

トレイを閉じると、Gracenoteデータベース（☞ 11ページ）で、CDタイトルを検索します。（☞✎ ヒント1）

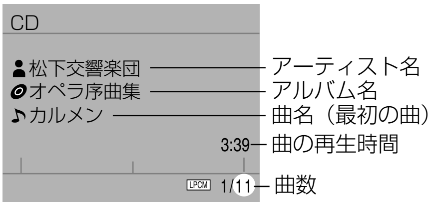
WMA/MP3

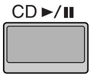
タグを使用している場合は、アーティスト名、アルバム名、曲名が表示されます。（☞✎ ヒント2）

● ラベル面を上に、図のように正しく置く。



セレクターがCDのとき



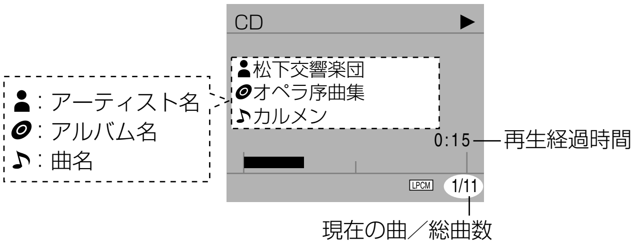


押す

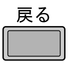
再生が始まります。

● 電源「切」時にCDが入っているときは、この操作だけで自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

1曲表示画面

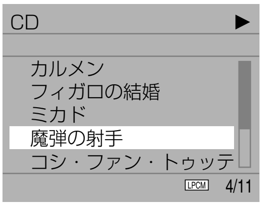


■**曲リストを見る／好きな曲から聞く** ➡



押す

再生対象曲の曲リスト画面



● [■（停止）]を押すか、10秒経過すると元の画面に戻ります。
● [▲、▼]で曲を選び、[**決定**]を押すと、その曲から再生します。
● **WMA/MP3**は、本体の[◀◀、▶▶]や、リモコンの[◀、▶]でアルバムを切り換えることができます。

■**曲を飛ばす（スキップ）** ➡

● 手順2の1曲表示画面で操作してください。

本体で



押す

リモコンで



押す

■**早送り／早戻しする（サーチ）** ➡

リモコンのみ



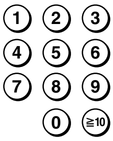
再生または一時停止中に、聞きたい位置まで押したままにする。

● サーチ中は音が聞こえません。
● サーチ後、音が出るまでに時間がかかることがあります。

■**曲を番号で選ぶ** ➡

CD-DA のみ

リモコンのみ



押す

2ケタ以上を選ぶには

例）25



再生

CDの曲を聞く

HDD、SD、CDのいろいろな再生

準　備

[HDD ▶/❚❚]または[SD ▶/❚❚]、[CD ▶/❚❚]を押して、セレクターを切り換え、[■（停止）]を押す。



■一つ前の画面に戻る

➡ 戻る

✎ **ヒント１・曲の情報表示画面で“⬇”が表示されたら**
AACへの変換が未終了です。
（☞ 18ページ）

✎ **ヒント２・曲の情報表示画面で“VBR”が表示されたら**
可変ビットレートで記録されたMP3です。

くり返し聞く

リピート

HDD　SD　CD-DA　WMA/MP3

1 再生モード　**聞きたい音源の停止中に押して**
再生モードを選ぶ
リピートとランダムの組み合わせを選びます。

⬇

HDD ▶/❚❚ ／ SD ▶/❚❚ ／ CD ▶/❚❚
押す
再生が始まります。

順不同に聞く

ランダムプレイ

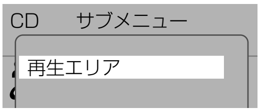
HDD　SD　CD-DA　WMA/MP3

WMA/MP3の曲をアルバム（フォルダ）ごとに聞く

アルバムモード

WMA/MP3

1 サブメニュー　**停止中に押す**



⬇

決定　**押す**

4 10秒以内　**アルバムを選び、決定**
選び
決定



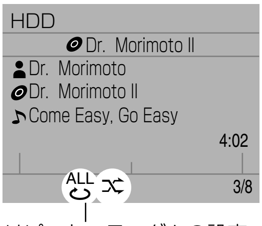
曲の情報を見る

HDD
録音時の録音モードを表示します。

SD　WMA/MP3
ファイルの種類やビットレートを表示します。

1 戻る　**停止中に押す**
曲リスト画面になります。

4 選び　決定
HDD の場合
① **“曲の情報表示・編集”を選び、決定**
② **“曲の情報表示”を選び、決定**



リピート、ランダムの設定（右記参照）

リピートの設定	
ALL	現在のプレイリストやディスク内の全曲をくり返す。
1	現在の 1 曲をくり返す。
消灯	リピートしない。（解除）
ランダムの設定	
	現在のプレイリストやディスク内の曲を順不同に再生する。
消灯	曲順どおりに再生する。（解除）

（お知らせ）

- 再生中に[**再生モード**]を押すと、リピートの方法だけを切り換えることができます。
- HDD/SD/CD のセレクターごとに、設定を保持します。
- ランダム設定中は再生済みの曲へのスキップはできません。

■解除する

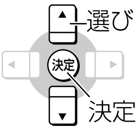
［**再生モード**］を押して、リピート表示、ランダム表示を消す。

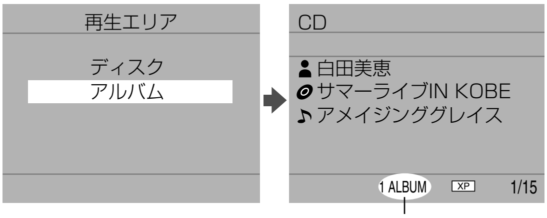
- SD や CD を取り出しても解除されます。

再生

HDD、SD、CDのいろいろな再生

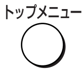
2 “アルバム”を選び、決定





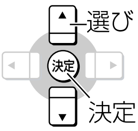
アルバムモード表示

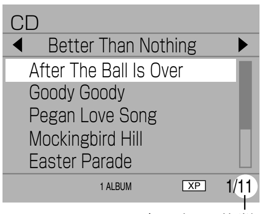
3 押す



アルバムリスト画面になります。

5 10秒以内 曲を選び、決定





アルバム内の曲数

選んだ曲からアルバムの最終曲まで再生し、停止します。

■他のアルバムを聞く

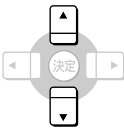
手順 **3**～**5** を行う。

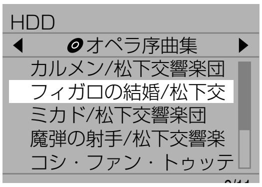
■解除する

手順 **2** で“ディスク”を選ぶ。（ディスクモード）

- CD を入れ替えてもディスクモードに戻ります。

2 10秒以内 確認したい曲を選ぶ

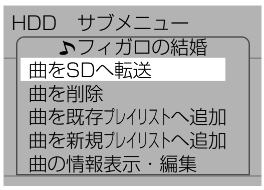




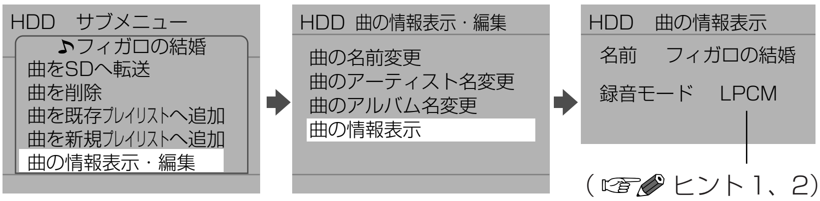
3 10秒以内 押す



例）HDD の場合



例）HDD の場合



（☞ ヒント 1、2）

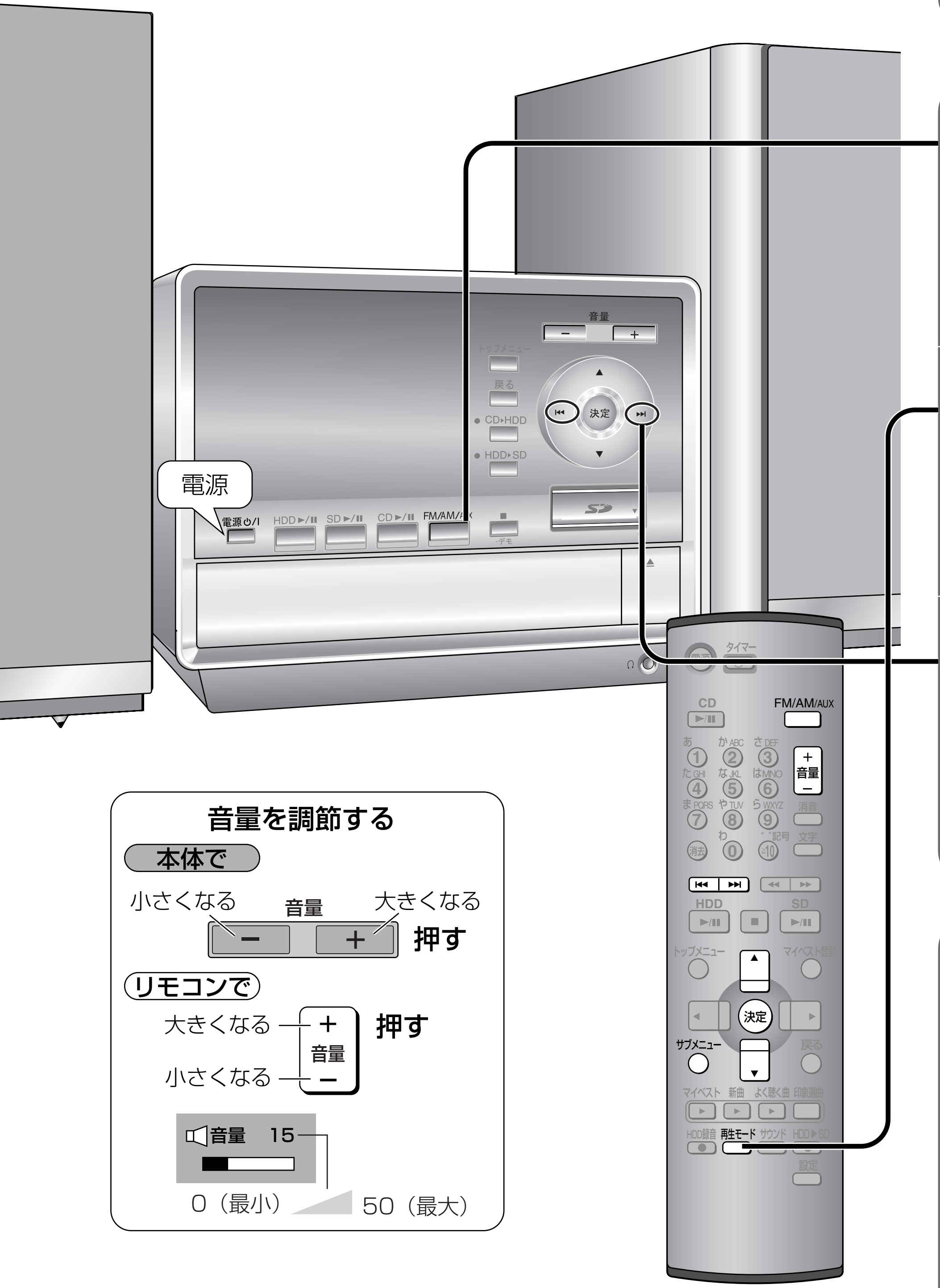
SD **WMA/MP3** **の場合**

“曲の情報表示”を選び、決定

■元の画面に戻るには

[**戻る**]を数回押す。

ラジオを聞く



音量を調節する

本体で

小さくなる　音量　大きくなる

－　＋　**押す**

リモコンで

大きくなる ＋
音量
小さくなる －

押す

音量　15

0（最小）　50（最大）

準　備

1 バンドを選ぶ

2 放送局の探しかたを選ぶ

3 放送局を探す

■自動選局する
（オートチューニング）

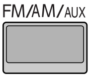
■FM ステレオ放送で雑音が多いときは

リモコンのみ

お知らせ

- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。
- 山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの設置をおすすめします。

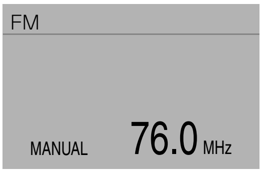
● AM ループアンテナ、FM 簡易型アンテナを接続する。（☞ 8 ページ）
接続しないと、放送局を受信できません。
テレビ音声（1 ～ 3 チャンネルのみ）は、FM で受信します。



押して “FM” または “AM” を選ぶ

押すたびに
FM→AM→AUX

テレビ（1 ch ～ 3 ch）の場合は、
“FM” を選びます。

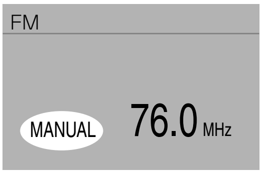


リモコンのみ

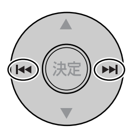


押して “MANUAL”（マニュアルチューニング）を選ぶ

押すたびに
MANUAL→PRESET



本体で

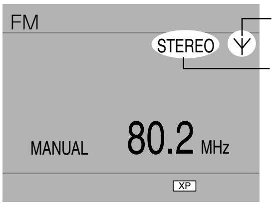


リモコンで



押して 好みの放送局を受信する

テレビの受信位置は
FM 76.0 ←…………→ FM 90.0
TV 3CH ←→ TV 2CH ←→ TV 1CH



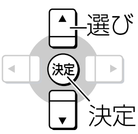


① **周波数が動き始めるまで押したままにする。**
② **動き始めたら指を離す。**

放送を受信すると、周波数が止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返してください。



① **押す。**



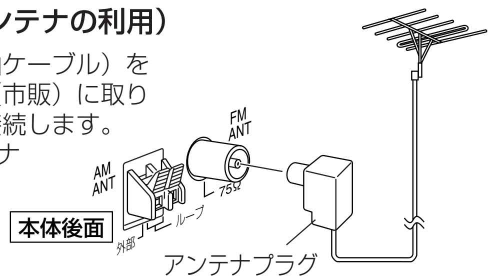
② **“音声モード” を選び、決定する。**
③ **“モノラル” を選び、決定する。**
● “MONO” が表示されます。
●通常は “オート（ステレオ）” にしておきます。

■屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

FM（テレビアンテナの利用）

アンテナ線（同軸ケーブル）をアンテナプラグ（市販）に取り付けて、本機に接続します。
FM 簡易型アンテナ（付属）は取り外します。



放送局を記憶させて聞く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で選局できます。(FM/AM 各 15 局まで)



エリアバンク
(2005 年 9 月現在)

● 札幌	● 青森
● 秋田	● 盛岡
● 山形	● 仙台
● 福島	● 宇都宮
● 水戸	● 前橋
● 東京圏 (東京、横浜、千葉、さいたま)	● 甲府
● 松本	● 静岡
● 名古屋圏 (名古屋、岐阜)	● 津
● 新潟	● 富山
● 金沢	● 福井
● 大津	● 奈良
● 和歌山	● 大阪圏 (大阪、神戸、京都)
● 鳥取	● 松江
● 広島	● 山口
● 高松/岡山	● 徳島
● 松山	● 高知
● 福岡	● 北九州
● 佐賀	● 長崎
● 大分	● 熊本
● 宮崎	● 鹿児島
● 那覇	

記憶させる

お住まいの地域の放送局を記憶させる

エリアバンク

エリアを指定するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

1 設定
押す
設定メニュー画面になります。

2 ▲ ▼ 選び
決定

好みの放送局をチャンネルに登録する

マニュアルメモリー

エリアバンクで記憶させたチャンネルに、上書きすることもできます。

1 ⏮ ⏭
選局する
(☞ 42 ページ)

2 サブメニュー
押す

聞く

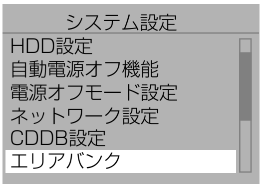
記憶させた放送局を聞く

プリセットチューニング

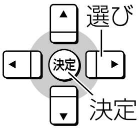
1 FM/AM/AUX **押して**
バンドを選ぶ

押すたびに
FM→AM→AUX
(AUX から FM に戻る)

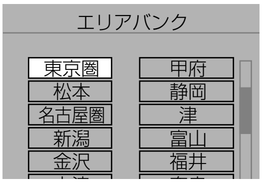
“エリアバンク”を選び、決定



3



エリアを選び、決定



放送局が各チャンネルに記憶されます。

4

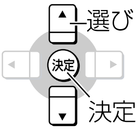


押す
元の画面に戻ります。

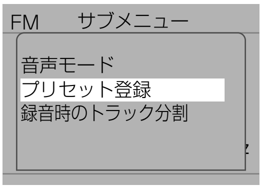
ラジオ受信中は、エリア内の最初のチャンネルを受信します。

■一つ前の画面に戻る
[**戻る**]を押す。

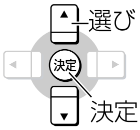
3



“プリセット登録”を選び、決定



4



チャンネルを選び、決定



メッセージを表示して、元の画面に戻ります。

■続けて登録するには
手順 1 ～ 4 をくり返す。

■一つ前の画面に戻る
[**戻る**]を押す。

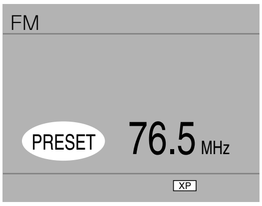
再生

放送局を記憶させて聞く

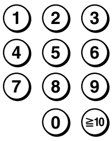
2



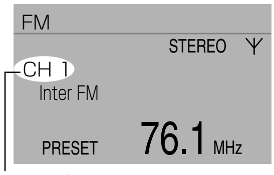
押して“PRESET”（プリセットチューニング）**を選ぶ**



3



押してチャンネルを選ぶ



チャンネル

■2 ケタ以上を選ぶには

例）12 ≧10 → 1 → 2

お知らせ

- [⏮、⏭]でもチャンネルを選ぶことができます。
- エリアバンクで記憶させたチャンネルを選ぶと、放送局名が表示されます。

HDD の曲を SD に転送する

HDD から SD に、プレイリスト単位で、最大 12 倍速※の高速転送をします。

※ AAC への変換が終了している場合の速度です。AAC への変換は電源「切」時（スタンバイ時）に行います。（☞ 18 ページ）。

● SD への記録は常に高速転送です。通常速度での録音と異なり、転送中の音声は聞こえません。

準 備

転送したいプレイリストを探して（☞ 32 ページ）一度再生し、[■（停止）]を押して停止状態にする。





1 SD を入れる

2 転送内容を確認する

3 転送を始める

■途中で止める

➡ ■ -デモ 押す

● 転送途中の（転送が完了していない）曲は、SD に保存されません。

SD カードの記録可能時間の目安

カード容量	HDD 録音時の録音モード		
	AAC（XP）/ LPCM	AAC（SP）	AAC（LP）
32 MB	約 31 分	約 41 分	約 1 時間 2 分
64 MB	約 1 時間 4 分	約 1 時間 25 分	約 2 時間 8 分
128 MB	約 2 時間 10 分	約 2 時間 53 分	約 4 時間 20 分
256 MB	約 4 時間 19 分	約 5 時間 46 分	約 8 時間 39 分
512 MB	約 8 時間 43 分	約 11 時間 38 分	約 17 時間 27 分
1 GB	約 16 時間 47 分	約 22 時間 23 分	約 33 時間 34 分
2 GB	約 34 時間 8 分	約 45 時間 31 分	約 68 時間 17 分

お知らせ

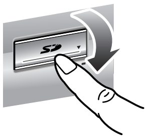
● SD に転送できる曲数は、最大 999 曲です。
● ランダムプレイの設定をしていても、プレイリスト内の曲順通りに転送します。
● 転送中に“AAC 変換中”と表示されることがあります。このときは転送時間が通常よりも長くかかります。（☞ 18 ページ）

ヒント 1 ・ SD 内に同名のプレイリストがあるとき

同名のプレイリストがもう一つできます。
ただし“マイベスト”だけは、SD 内にある“マイベスト”プレイリストの曲目が更新されます。

● 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。（☞ 12ページ）
● SDに転送するときのデータ形式は、HDD録音時の録音モードと同じになります。ただし、LPCMで録音した場合は、AAC（XP）のデータが転送されます。

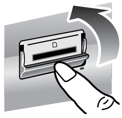
① 凸部を押して
ふたを開ける



② SDを入れる

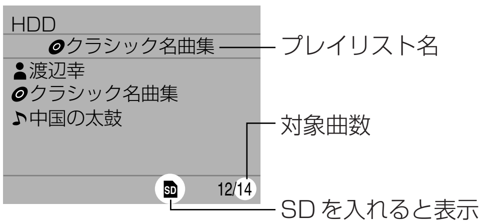


③ 上端部を押して
ふたを閉じる



ふたが開いていると
転送できません。

● miniSDカードの場合、miniSDアダプターが必要です。（☞ 35ページ）



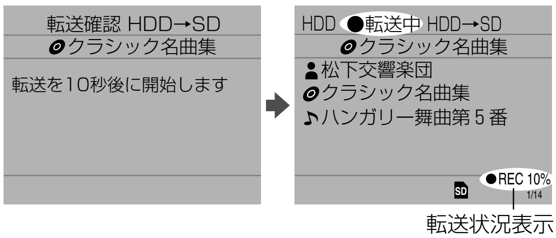
お知らせ

● SDでは、プレイリスト内の曲数が99に制限されているため、曲数が99を超えるプレイリストは転送できません。このときは「曲を選んで転送する」（☞ 48ページ）で、転送する曲数を減らしてください。

● HDD▸SD

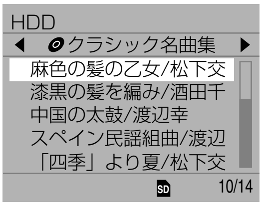
押す

約10秒後に転送が始まり、プレイリスト内の全曲を高速で転送します。（☞✎ ヒント1）
タイトルやプレイリスト情報もSDに記録されます。
転送中は音が聞こえません。
転送中はSDアクセスランプが点滅します。
● "●転送中"と"● REC ○○%"の表示が消えたら転送終了です。



■転送前に曲目を確認する

➡ 戻る 手順2で押す
● 曲リストを表示。



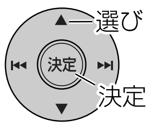
確認後は、[■（停止）]を押すか、約10秒待って元の表示に戻してください。

■SDを取り出す

SDアクセスランプの消灯を確認してからSDを取り出してください。
（取り出しかたは☞ 35ページ）

"SDの容量不足です"と表示されたら

転送を止めるか、SD内の不要な曲をプレイリスト単位で削除します。



■転送を止めるとき
① "転送をやめる"を選び、決定する。

■不要な曲を削除するとき
① "プレイリストを選んで曲を削除する"を選び、決定する。
② 削除したいプレイリストを選び、決定する。
③ 確認画面で"はい"を選び、決定する。
④ "はい"を選び、決定する。（転送が始まります。）
まだ容量が不足しているときは、もう一度同じ画面が出ますので、削除をくり返してください。

"プレイリスト内の曲数が99曲を超えています"と表示されたら

HDDの"全曲"など、曲数の多いプレイリストを転送しようとしたときに表示されることがあります。このときは、転送を止めるか、"転送する曲を選択する"を選んで転送する曲数を減らしてください。（☞ 48ページ「曲を選んで転送する」の手順3～4）

お願い

● SDアクセスランプの点滅中（転送、記録中）は絶対に**SD挿入部のふたを開けたり、SDを取り出さない**でください。カードが使えなくなることがあります。
● 転送中はSD挿入部のふたを開けないでください。転送が停止します。

SD へのいろいろな転送

準 備

① 記録可能な SD を入れる。（☞ 46 ページ）
② [HDD ▶/❚❚]を押してセレクターを HDD にし、[■（停止）]を押す。



曲を選んで転送する

プレイリストの中から好きな曲だけを選んで転送します。

1 HDD ▶ SD [●]
転送するプレイリストの停止中に押す

転送確認 HDD→SD
ニューイヤーリサイタル
転送を10秒後に開始します

1 曲ずつ転送する

1 戻る
停止中に押す

曲リスト画面になります。

いろいろなプレイリストや曲を転送する

トップメニューから、転送したいプレイリストや曲を探します。
（☞ ヒント 1）

1 トップメニュー
停止中に押す
トップメニュー画面になります。

10秒以内
選び / 決定
転送したいプレイリストや曲をを選ぶ
（くわしくは ☞ 32 ページ）

2 10秒以内
HDD ▶ SD [●]
押す

約 10 秒後に、選んだプレイリストや曲の転送が始まります。

■**転送を止める** ➡ [■]

● 転送途中の（転送が完了していない）曲は、SD に保存されません。

■**一つ前の画面に戻る**

➡ 戻る

ヒント 1・サブメニューで操作するには
プレイリストや曲を選んだあと、[**サブメニュー**]を押し、“プレイリストを SD へ転送”を選び、決定する。
選んだ状況によって、“曲を〜”、“アルバムを〜”のように表現が変わります。

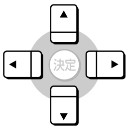
HDD　サブメニュー
ドライブ用
プレイリストをSDへ転送
プレイリストを解除
プレイリスト内の曲全て削除

2 10秒以内



押す

3



転送する曲を（最大99曲）**指定する**

[▲、▼]で曲を選び、[◀、▶]で転送するかしないかを選ぶ

転送選曲 HDD→SD
ニューイヤーリサイタル
☑オ・ソレ・ミオ/宮路
☐乾杯の歌（椿姫）/宮路
☑誰も寝てはならぬ（トゥ
☐バラ色の人生/松下交響
☐風よ穏やかに（コシ・フ

☑：転送する
☐：転送しない

最大999曲まで表示

4

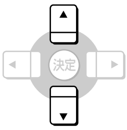


押す

約10秒後に転送が始まります。

---

2 10秒以内 転送したい曲を選ぶ



HDD
◀ クラシック名曲集 ▶
麻色の髪の乙女/松下交
漆黒の髪を編み/酒田千
中国の太鼓/渡辺幸
スペイン民謡組曲/渡辺
「四季」より夏/松下交

転送したい曲

3 10秒以内



押す

約10秒後に転送が始まり、選んだ1曲だけを転送します。

プレイリストを転送するとき
(☞ ヒント2)

HDD 印象選曲
ウキウキ系
癒し系
ゆったり系
騒ぎたい感じ
ポップ系
SD 2/7

転送したいプレイリスト

曲を転送するとき

HDD
◀ クラシック名曲集 ▶
麻色の髪の乙女/松下交
漆黒の髪を編み/酒田千
中国の太鼓/渡辺幸
スペイン民謡組曲/渡辺
「四季」より夏/松下交
SD 11/14

転送したい曲

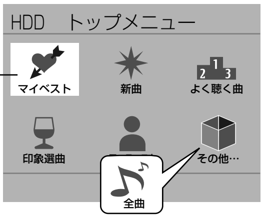
アーティストの全曲を転送するとき

HDD
◀ 伊東レオン ▶
このアーティストの全曲
コノハナサクヤ
東京Style
レオン#1
レオン#2
SD 1/5

"このアーティストの全曲"を選ぶ

ヒント2・マイベスト、新曲、全曲、よく聴く曲のプレイリストを転送するとき

トップメニュー画面で項目を選び、[● HDD ▶ SD]を押す。
（全曲は"その他…"→"全曲"を選ぶ）



マイベストを転送するとき

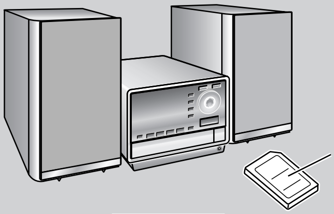
ヒント3・SD内のプレイリスト数について

SD内に作成できるプレイリスト数は最大99個です。この制限を超えると、転送時に"これ以上SDにプレイリストを作成できません"と表示されますので、不要になったSD内のプレイリストを解除してください。（☞ 58ページ）

SD を他の機器で楽しむ

本機の HDD から転送した曲は、SD オーディオに対応した**著作権保護付きの AAC データ**として SD に記録されます。
この SD は、SD オーディオに対応し、AAC（64、96、128 kbps）が再生可能な機器で再生できます。

転送したあとで…



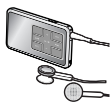
再生できる機器のご紹介

（2005 年 9 月現在）

ポータブル機器で聞くには…

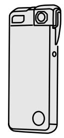


SD オーディオプレーヤー
（D-snap オーディオ）



- SV-SD750V
- SV-SD700
- SV-SD350V
- SV-SD300
- SV-SD100V
- SV-SD90 など

SD マルチカメラ（D-snap）



- SV-AS30
- SV-AS3
- SV-AV35 など

携帯電話

- NTT ドコモ ： P901iS
- au ： W31SA*1
  ： W32SA*1
- ボーダフォン ： V801SA*2

*1 タイトルが正しく表示されないことがあります。
*2 プレイリスト再生やタイトル表示には対応していません。256 MB 以下の SD メモリーカードをご使用ください。

いろいろな機器で楽しむには…

ミニコンポで聞く

- SC-PM710SD
- SC-PM910DVD

パソコンで聞く

当社のソフトウェア「SD-Jukebox Ver.5」を使うと、パソコンで再生することもできます。（SD の曲をパソコンに移動/書き込みすることはできません）

必要なもの（☞ 75 ページ「別売品のご紹介」）

- SD-Jukebox Ver.5（動作環境については、ソフトウェアをご確認ください）
- セキュア（著作権保護機能）対応の SD メモリーカードスロットを装備した、Windows パソコン（パソコンにスロットがない場合や、セキュア対応でない場合はセキュア対応の SD リーダーライター）

■当社製 SD 対応機器との互換性について

以下の機器は、SD オーディオに対応していないため、本機との互換性はありません。

再生できない機器の例

- テレビ（ビエラ）
- デジタルカメラ
- SD カラオケマイク
- IC レコーダー
- DVD レコーダー（ディーガ）
- デジタルビデオカメラ（NV-C7 を除く）
- カーオーディオ/カーナビ（ストラーダ）

■他社製品との互換性について

以下の条件を満たした機器であることを、カタログなどでご確認ください。

- **「SD オーディオ」対応機器であること**
  「SD Audio」、「SD-Audio」のように表記されている場合もあります。
- **AAC（64、96、128 kbps）が再生可能なこと**

お知らせ

本機は、SD オーディオ規格に準拠した SD メモリーカードの記録・再生に対応していますが、すべての SD オーディオ対応機器との動作互換を保証するものではありません。
動作確認済み機器については、ホームページ（http://panasonic.jp/support/audio/mini/）をご覧ください。

SD を初期化する

SD の内容をすべて消去し、新たに記録できる状態にします。

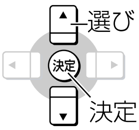
準 備

初期化したいSD を入れる。
（☞ 46 ページ）

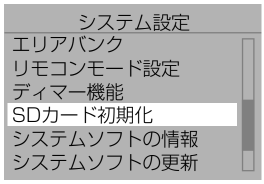


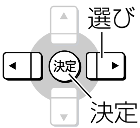
1 

押す
設定メニュー画面になります。

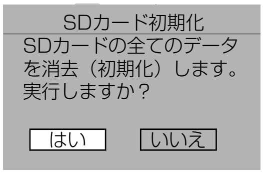
2 

"SD カード初期化" を選び、決定

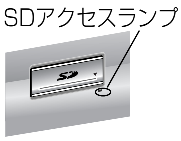


3 

①"はい" を選び、決定
②"はい" を選び、決定



初期化が完了すると、メッセージが表示されます。
● [**戻る**]を数回押すと、元の画面に戻ります。

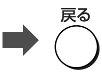


SD アクセスランプの点滅中は、初期化が完了していませんので絶対に SD 挿入部のふたを開けないでください。カードが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 初期化すると、本機から転送したデータだけでなく、SD 内の全データが消去されます。
- 本機で初期化した場合、他の機器で使えないことがあります。
- SD カードの種類によっては、初期化に時間がかかることがあります。

■一つ前の画面に戻る

➡ 

お気に入りの曲をマイベストに登録する

HDD のみ

お気に入りの曲を“マイベスト”に登録しておくと、お気に入り曲だけを簡単に聞くことができます。

● SD のマイベストには曲を登録できません。

準　備

[HDD ▶/❚❚]を押してセレクターを HDD にし、[■（停止）]を押す。



■一つ前の画面に戻る

➡ 戻る

曲を登録する

最大 99 曲まで登録できます。

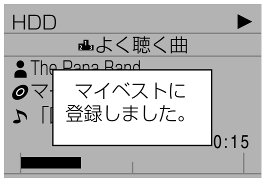
1 マイベスト登録

登録したい曲の再生中、または停止中に

1 曲表示画面で

押す（☞✎ ヒント 1）

1 曲表示画面で登録したとき



マイベストから曲を外す

曲が HDD から消えるわけではありません。

1 トップメニュー

停止中に

押す

トップメニュー画面になります。

10 秒以内

選び　決定

“マイベスト”を選び、決定

マイベストの曲順を変える

登録後、好みの曲順に入れ変えることができます。

1 トップメニュー

停止中に

押す

トップメニュー画面になります。

10 秒以内

選び　決定

“マイベスト”を選び、決定

4 選び　決定

移動先を選び、決定

✎ ヒント 1・曲リストからマイベストに登録する

再生中または停止中に[**戻る**]を押して曲リストにし、登録したい曲を選んで[**マイベスト登録**]を押します。
続けてたくさんの曲を登録するときに便利です。

メッセージを表示して、元の画面に戻ります。
- マイベストの一番最後に曲が追加されます。

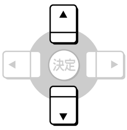
■マイベストプレイリストを聞くには

➡ マイベスト[▶] 押す

すぐに再生が始まります。
- [**トップメニュー**]から“マイベスト”を選び、[**決定**]を押しても再生できます。

---

2 10秒以内 マイベストから外したい曲を選び、



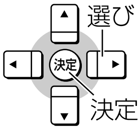
HDD マイベスト

- 乾杯の歌（椿姫）/宮路
- 劇場支配人/松下交響楽
- Mockingbird Hill/白田
- 失恋につける薬/シャム
- ラデツキー行進曲/The

⬇

10秒以内 サブメニュー 押す

3 ① “曲をマイベストから除外”を選び、決定 ② “はい”を選び、決定



誤って“曲を削除”を選ばないでください。（☞✎ ヒント2）

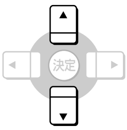
HDD サブメニュー
♪劇場支配人

- 曲をSDへ転送
- 曲をマイベストから除外
- 曲を削除
- 曲を既存プレイリストへ追加

- メッセージを表示して、元の画面に戻ります。

---

2 10秒以内 移動したい曲を選び、



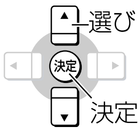
HDD マイベスト

- 乾杯の歌（椿姫）/宮路
- Mockingbird Hill/白田
- 失恋につける薬/シャム
- ラデツキー行進曲/The
- ソナタ第9番二短調/田上

⬇

10秒以内 サブメニュー 押す

3 “曲をマイベスト内で移動”を選び、決定



HDD サブメニュー
♪Mockingbird Hill

- 曲をマイベストから除外
- 曲を削除
- 曲を既存プレイリストへ追加
- 曲を新規プレイリストへ追加
- 曲をマイベスト内で移動

HDD トラック移動

- 乾杯の歌（椿姫）/宮路
- 失恋につける薬/シャム
- ラデツキー行進曲/The
- Mockingbird Hill/白田
- ソナタ第9番二短調/The

移動後の状態を表示

- 元の画面に戻ります。

✎ ヒント2・サブメニューの“除外”と“削除”について

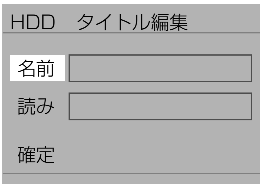
“曲を除外”の場合は、曲データを残したまま、曲をプレイリストから外します。一方“曲を削除”は曲データそのものをHDDから削除します。
削除した曲は元に戻せませんのでご注意ください。

文字入力のしかた

準 備

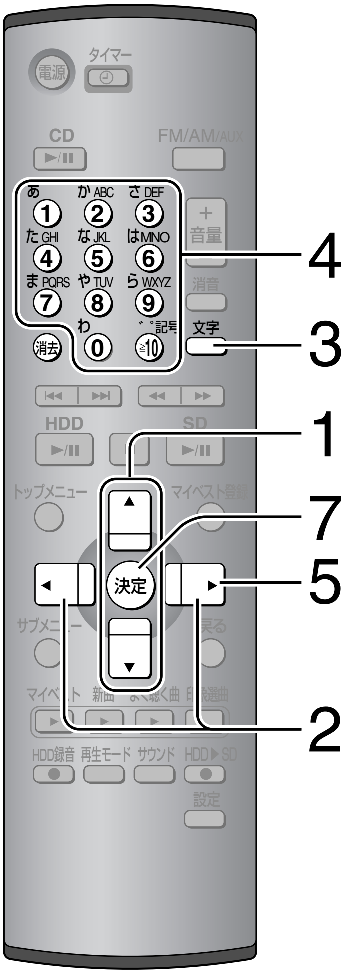
タイトル入力画面（☞ 57、60ページ）にしたあと、文字を入力します。

タイトル入力画面の例

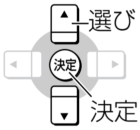


名前： かな、カナ、英、数字と漢字が使えます。（かな、漢字は全角のみ）

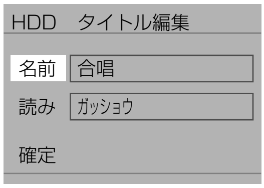
読み： 半角カナ、半角英、半角数字が使えます。
“名前” 欄に連動して、自動的に入力されます。
（☞✎ ヒント 1、2）



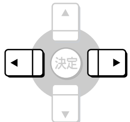
1



“名前” または “読み” を選び、決定

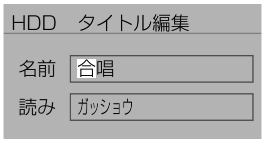


2



入力する位置にカーソルを合わせる

挿入位置の右の文字に合わせます。

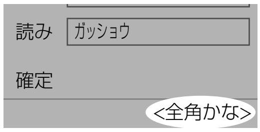


3



押して
文字の種類を選ぶ

● 漢字を入力するときは、まず “全角かな” を選びます。



4

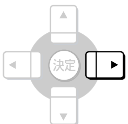


押して
文字を選ぶ

● 選んだ文字が表示されます。



5



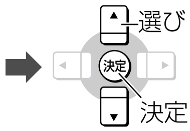
押す

● 次の文字を入力できる状態になります。
● 次に入力する文字が、他のボタンに割り当てられている場合は、この操作は不要です。

6

手順３～５をくり返し
文字を入力する

■ひらがなを漢字変換するとき



①[▲、▼]を押して変換候補を選び、
②[**決定**]を押す。

必要に応じて①、②をくり返す。



■漢字変換しないとき➡  押す。

7



押す

● 入力した文字が確定します。

■入力済みの文字を変更する

押して変更する文字にカーソルを合わせ、次の操作をします。

●文字を削除するときは ➡ 消去

●文字を訂正するときは ➡ 消去 押して文字を削除し、正しい文字を入力する。

■ 濁点などを入力する ➡ ≧10 数回押す。

濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なかな（カナ）の後ろにだけ入力できます。

■記号を入力する ➡

① ≧10 入力可能な記号のリストが表示されます。

② 記号を選び、決定。

● ␣ は空白です。
● 文字の種類によって、入力できる記号が異なります。

■文字や空白を挿入する

押して挿入位置の右の文字にカーソルを合わせ、次の操作をします。

●文字を挿入するときは ➡
新たに文字を入力する。

● 1 文字空けるときは ➡
≧10 空白（␣）を選ぶ。

■漢字変換の区切り位置を変える

●のばす ➡ 変換中に押す。

●ちぢめる ➡ 変換中に押す。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

	かな カナ	英	数字
あ ①	あいうえお ぁぃぅぇぉ	1	1
かABC ②	かきくけこ	ABCabc2	2
さDEF ③	さしすせそ	DEFdef3	3
たGHI ④	たちつてと っ	GHIghi4	4
なJKL ⑤	なにぬねの	JKLjkl5	5
はMNO ⑥	はひふへほ	MNOmno6	6
まPQRS ⑦	まみむめも	PQRSpqrs7	7
やTUV ⑧	やゆよ ゃゅょ	TUVtuv8	8
らWXYZ ⑨	らりるれろ	WXYZwxyz9	9
わ ⓪	わをんゎ	0	0

入力できる文字数

曲名 HDD	59 文字
アーティスト名 HDD	39 文字
アルバム名 HDD	59 文字
プレイリスト名 HDD SD	59 文字

ヒント 1・読み入力について
漢字を含むタイトルが、読み順どおりに並ばないときは、読みを訂正すると、正しい位置に並びます。

また、英字の名前に、カナの読みを入力することで、あいうえお順に並べることもできます。
例）名前： Mozart
　　読み：モーツァルト…「も」の位置に表示。

ヒント 2・漢字非対応の SD オーディオプレーヤーをお使いの場合
読みを入力しておくと、漢字表示に対応していない SD 機器でもタイトルが表示できます。（読みをタイトルとして使用します）

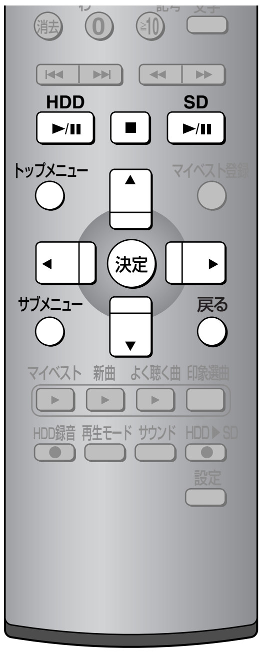
ご自分でプレイリストを作る

HDD SD

好きな曲を好きな順に集めたプレイリストを作成することができます。
● プレイリストは再生順を登録するだけなので、容量はほとんど使いません。

ご自分で作ったプレイリストを再生するときは
HDD：“PL ユーザープレイリスト”から
SD ：“PL プレイリスト”から
探してください。

準 備
[HDD ▶/❚❚]または[SD ▶/❚❚]を押して、セレクターを切り換え、[■（停止）]を押す。



■一つ前の画面に戻る
➡ 戻る

新しいプレイリストを作る

新しく作るときは、まず1曲登録します。

1 戻る
登録したい曲の停止中に押して
● 曲リスト画面を表示。
（☞✎ ヒント1）
⬇
10秒以内
サブメニュー **押す**

4 選び / 決定
“確定”を選び、決定（☞✎ ヒント2）

プレイリストに曲を追加する

最大99曲まで追加できます。

● マイベスト（☞ 52ページ）にも追加できます。

1 戻る
追加したい曲の停止中に押して
● 曲リスト画面を表示。
（☞✎ ヒント1）
⬇
10秒以内
サブメニュー **押す**

プレイリストから曲を外す

プレイリストから曲を外しても、曲がHDDから消えるわけではありません。

1 トップメニュー
停止中に押す
トップメニュー画面になります。
⬇
10秒以内
選び / 決定
HDD
“その他…”→“PL ユーザープレイリスト”から
SD
“PL プレイリスト”から

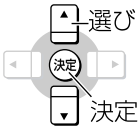
変更したいプレイリストを選び、決定

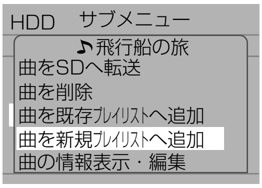
✎ **ヒント1・トップメニューから曲を選ぶには**
トップメニュー画面から曲を探し、曲リスト画面で[**サブメニュー**]を押します。

曲リスト画面

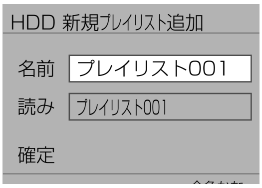
HDD
◀ 飛行船の旅 ▶
ぼくのおばあちゃん/林
クッキーのうた/林空
クリスマスルンバ/林空
かいちゃん遊ぼ/林空
あさりはまぐりむきみ/

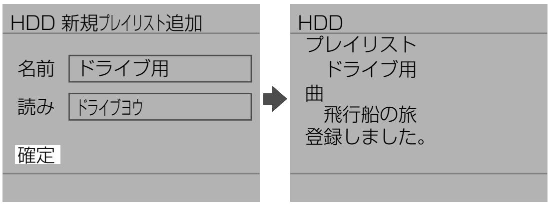
2 “曲を新規プレイリストへ追加”を選び、決定





3 プレイリスト名を入力する（☞ 54ページ）

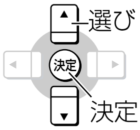


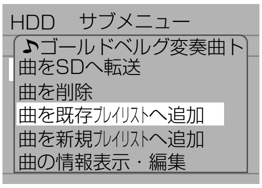


● メッセージを表示して、元の画面に戻ります。

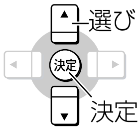
■ **“同じ読みのプレイリストがあります”と表示されたら**
プレイリストを一つにまとめるか、名前を変更するかを選んでください。

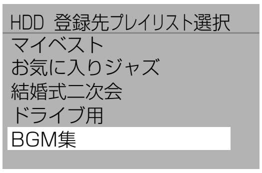
2 “曲を既存プレイリストへ追加”を選び、決定





3 追加先のプレイリストを選び、決定

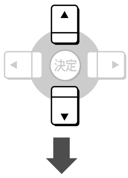


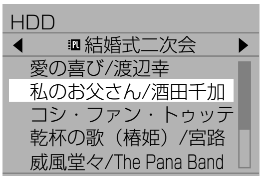


メッセージを表示して、元の画面に戻ります。
● プレイリストの最後に曲が追加されます。

2 プレイリストから外したい曲を選び、

10秒以内



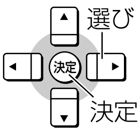


10秒以内

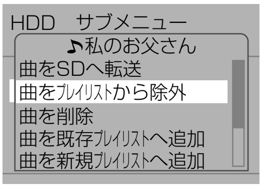


押す

3 ① “曲をプレイリストから除外”を選び、決定 ② “はい”を選び、決定



誤って“曲を削除”を選ばないでください。（☞ ヒント3）



● 元の画面に戻ります。

ヒント2・“この名前は使えません”と表示されたら

プレイリスト名の先頭に、プレイリスト名として使えない語（本機で管理用に使用する語：予約語）が使われています。他の名前に変更してください。
主な予約語； ART、ABM、BST、IM1、IM2、… IM8

ヒント3・サブメニューの“除外”と“削除”について

“曲を除外”の場合は、曲データを残したまま、曲をプレイリストから外します。一方“曲を削除”は曲データそのものをHDD（またはSD）から削除します。
削除した曲は元に戻せませんのでご注意ください。

編集

ご自分でプレイリストを作る

ご自分でプレイリストを作る（つづき） HDD SD

準 備

[HDD ▶/❚❚]または[SD ▶/❚❚]を押して、セレクターを切り換え、[■（停止）]を押す。



■一つ前の画面に戻る

➡ 戻る

プレイリストの曲順を変える

ご自分で作ったプレイリスト内の曲を、好みの順に並べかえることができます。

1 トップメニュー 停止中に押す
トップメニュー画面になります。

⬇

10秒以内

選び / 決定

HDD
“その他…”→“ユーザープレイリスト”から

SD
“プレイリスト”から

変更したいプレイリストを選び、決定

4 選び / 決定 **移動先を選び、決定**

プレイリストを解除する

曲をHDDやSDに残したまま、プレイリストを取り消します。
プレイリストを新しく作り直すときなどに便利です。

1 トップメニュー 停止中に押す
トップメニュー画面になります。

⬇

10秒以内

選び / 決定

HDD
“その他…”→“ユーザープレイリスト”を選び、決定

SD
“プレイリスト”を選び、決定

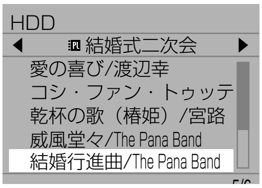
ヒント1・
サブメニューの“解除”と“削除”について

“プレイリストを解除”の場合は、曲データを残したまま、プレイリストを取り消します。一方“プレイリスト内の曲全て削除”は曲データそのものをHDD（またはSD）から削除します。
削除した曲は元に戻せませんのでご注意ください。

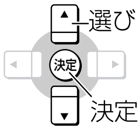
2 10秒以内 移動したい曲を選び、



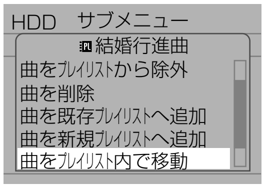
押す

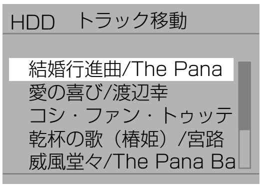


3



“曲をプレイリスト内で移動”を選び、決定





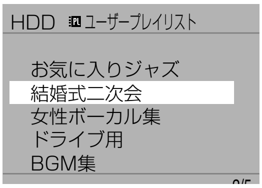
● 元の画面に戻ります。

---

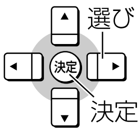
2 10秒以内 解除したいプレイリストを選び、



押す

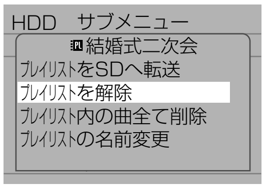


3



① “プレイリストを解除”を選び、決定
② “はい”を選び、決定

誤って“プレイリスト内の曲全て削除”を選ばないでください。
（☞ ヒント 1）



● 元の画面に戻ります。

タイトルを変更する HDD SD

準備

[HDD ▶/❚❚]または[SD ▶/❚❚]を押して、セレクターを切り換え、[■（停止）]を押す。



■一つ前の画面に戻る

➡ 戻る

曲名を変更する

HDD

1 戻る **変更したい曲の停止中に押して**
● 曲リスト画面を表示。
（☞✎ ヒント1）

10秒以内

サブメニュー **押す**

3 **文字を入力する**
（☞ 54ページ）

アーティスト名やアルバム名をまとめて変更する

例えば、「HIROMI ベスト」というアルバムを、「ヒロミ ベスト」に変更できます。

HDD

1 トップメニュー **停止中に押す**
トップメニュー画面になります。

10秒以内

選び 決定

"アーティスト"、または"その他…"→"アルバム"を選び、決定

4 **文字を入力する**
（☞ 54ページ）

プレイリスト名を変更する

ご自分で作ったプレイリストや、ラジオ/外部機器から録音した録音データのプレイリスト名を変更できます。

HDD SD

1 トップメニュー **停止中に押す**
トップメニュー画面になります。

10秒以内

選び 決定

HDD
"その他…"から"ユーザープレイリスト"または"ラジオ 外部録音"を選び、決定

SD
"プレイリスト"を選び、決定

4 **文字を入力する**
（☞ 54ページ）

✎ ヒント1・トップメニューから曲を選ぶには

トップメニュー画面から曲を探し、曲リスト画面で[**サブメニュー**]を押します。

✎ ヒント2・曲ごとのアルバム名やアーティスト名を変える

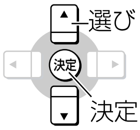
「曲名を変更する」の手順**2-②**からアルバム名を変更した場合、その曲は違うアルバムとして扱われるようになります。

アルバム ── 曲1
　　　　　 ├ 曲2
　　　　　 └ 曲3

↓ **曲2のアルバム名を変更すると**

アルバム ── 曲1
　　　　　 └ 曲3
アルバム2 ── 曲2

2



①“曲の情報表示・編集”を選び、決定
②“曲の名前変更”を選び、決定

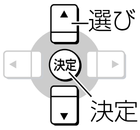
● 曲のアーティスト名やアルバム名を変えることもできます。（☞✎ヒント2）

HDD　サブメニュー
♪飛行船の旅
曲をSDへ転送
曲を削除
曲を既存プレイリストへ追加
曲を新規プレイリストへ追加
曲の情報表示・編集

➡

HDD　曲の情報表示・編集
曲の名前変更
曲のアーティスト名変更
曲のアルバム名変更
曲の情報表示

4

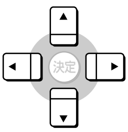


“確定”を選び、決定

● 元の画面に戻ります。

2

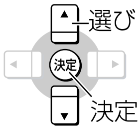
10秒以内 変更したいアーティストやアルバムを選び、



HDD　アルバム
◀ か さ た な は ▶
鳩の首飾り
ピーターと狼
日替わり弁当箱
飛行船の旅
HIROMIベスト

10秒以内
サブメニュー **押す**

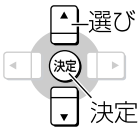
3



“アルバムの名前変更”または“アーティストの名前変更”を選び、決定

HDD　サブメニュー
HIROMIベスト
アルバムをSDへ転送
アルバムの曲全て削除
アルバムの名前変更
LPCMからAACに変換

5

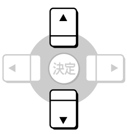


“確定”を選び、決定

● 元の画面に戻ります。

2

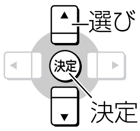
10秒以内 変更したいプレイリストや録音データを選び、



HDD　ユーザープレイリスト
お気に入りジャズ
結婚式二次会
女性ボーカル集
ドライブ用
BGM集

10秒以内
サブメニュー **押す**

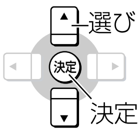
3



“プレイリストの名前変更”または“録音データの名前変更”を選び、決定

HDD　サブメニュー
結婚式二次会
プレイリストをSDへ転送
プレイリストを解除
プレイリスト内の曲全て削除
プレイリストの名前変更

5



“確定”を選び、決定

● 元の画面に戻ります。

■ **“同じ読みの○○があります”と表示されたら**
プレイリストを一つにまとめるか、名前を変更するかを選んでください。

■ **“この名前は使えません”と表示されたら**
☞ 57ページ ✎ヒント2

編集
タイトルを変更する

曲を消す

HDD SD

不要になった曲をHDDやSDから消すことができます。
消した曲は元に戻せませんので、よく確認してから行ってください。

準　備

[HDD ▶/❚❚]または[SD ▶/❚❚]を押して、セレクターを切り換え、[■（停止）]を押す。



■一つ前の画面に戻る

➡ 戻る ◯

お知らせ

● 曲を削除すると、関連するプレイリストの内容も更新されます。

1曲ずつ消す

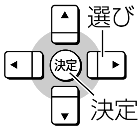
HDD
トップメニューの“印象選曲”や“よく聴く曲”からは曲を削除できません。

SD
トップメニューの“マイベスト”からは曲を削除できません。

1 トップメニュー ◯ **停止中に押す**
トップメニュー画面になります。

2

4



① **“曲を削除”を選び、決定**
（☞✐ ヒント1）
② **“はい”を選び、決定**

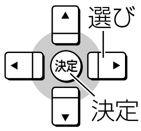
曲をまとめて消す

アーティストやアルバム、プレイリスト内の曲をまとめて削除できます。HDDやSDの全曲を消すことも可能です。

1 トップメニュー ◯ **停止中に押す**
トップメニュー画面になります。

⬇

10秒以内

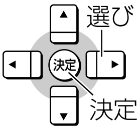


消したい
プレイリストやアーティストを選ぶ

2 10秒以内
サブメニュー ◯ **押す**

✐ **ヒント1・HDDやSDから曲を消すとき**
“○○を解除（除外）”ではなく、“削除”を選んでください。“解除”や“除外”では、曲データを削除できません。

10秒以内



HDD

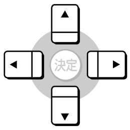
マイベスト、新曲、アーティスト、アルバム、全曲、ユーザープレイリスト、ラジオ 外部録音から選び、決定

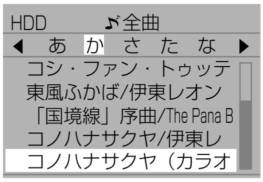
SD

アーティスト、プレイリスト、アルバム、印象選曲、全曲、から選び、決定

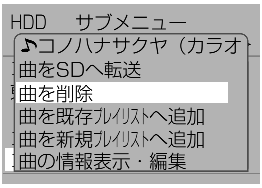
● 必要に応じてさらに項目を選び、曲リストまで進みます。

3 10秒以内 消したい曲を選び、





10秒以内 サブメニュー **押す**



● 元の画面に戻ります。

HDD

アーティスト、全曲、アルバム、ユーザープレイリスト、ラジオ 外部録音から選びます。

SD

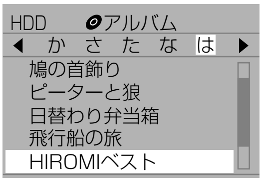
消したい項目を選びます。

全曲を消すとき

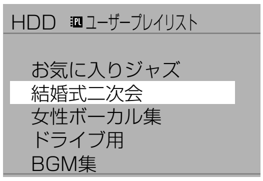


● “その他…”→“全曲”と選ぶ。

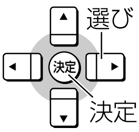
アルバム単位で消すとき



プレイリスト単位で消すとき



3

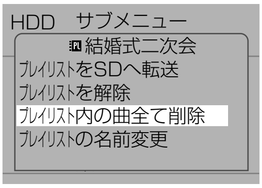


① **“○○削除”を選び、決定**

選んだ項目によって“○○”部分は異なります。（ヒント 1）

② **“はい”を選び、決定**

全曲を消す場合は、もう一度確認画面が表示されるので“はい”を選び、決定。



● 元の画面に戻ります。

いろいろな編集 HDD

準 備

[HDD ▶/❚❚]を押してセレクターをHDDにし、[■（停止）]を押す。



■一つ前の画面に戻る

➡ 戻る ◯

“よく聴く曲”を作り直す

曲の再生回数情報をゼロに戻します。“よく聴く曲”リストを新たに作り直したいときに便利です。

1 トップメニュー **停止中に押す**

トップメニュー画面になります。

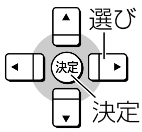
“よく聴く曲”から曲を外す

特定の曲だけ再生回数をゼロに戻して、その曲を“よく聴く曲”のリストから外します。

1 トップメニュー **停止中に押す**

トップメニュー画面になります。

10秒以内



“よく聴く曲”を選び、決定

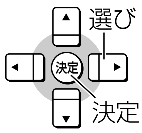
LPCMの曲をAACに変換する

LPCMモードで録音した曲を、AAC(XP)に変換して、HDDの空き容量を増やすことができます。
（☞✎ ヒント1）
AACへの変換はアルバム単位で行います。

1 トップメニュー **停止中に押す**

トップメニュー画面になります。

10秒以内



“アーティスト”または“その他…”→“アルバム”から、

AACに変換したいアルバムを選ぶ

お知らせ

- AACに変換できるのは、録音時にLPCMで録音したアルバムだけです。
  録音時の録音モードは40ページ「曲の情報を見る」で確認できます。
- AACに変換したあとは、LPCMに戻せません。「曲の情報表示」（☞ 66ページ）の録音モードも“AAC（XP）”と表示されます。

✎ **ヒント1・AAC変換後の空き容量について**

10曲のアルバムをAACに変換すると、XPモードで約100曲分、新たに録音できるようになります。

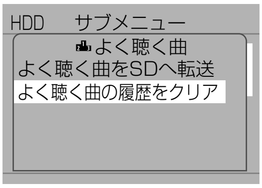
2 10秒以内 “よく聴く曲”を選び、

10秒以内 サブメニュー 押す



3 選び 決定

① “よく聴く曲の履歴をクリア”を選び、決定
② “はい”を選び、決定

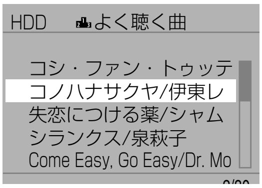


● 元の画面に戻ります。

---

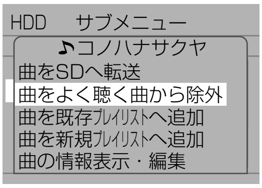
2 10秒以内 外したい曲を選び、

10秒以内 サブメニュー 押す

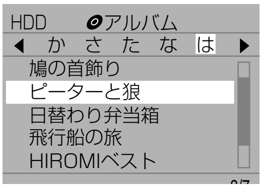


3 選び 決定

① “曲をよく聴く曲から除外”を選び、決定
② “はい”を選び、決定



● 元の画面に戻ります。

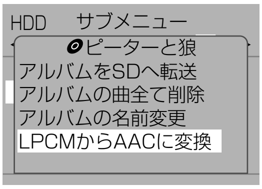


2 10秒以内 サブメニュー 押す

3 選び 決定

① “LPCMからAACに変換”を選び、決定
② “はい”を選び、決定
③ “はい”を選び、決定

AACへの変換が始まります。



編集

いろいろな編集

時計を合わせる

おめざめ/留守録タイマーを使う場合は、時計の設定が必要です。

準　備

電源を入れる。



■一つ前の画面に戻る

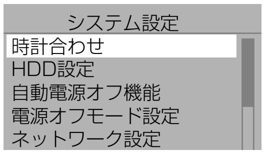
➡ 

時計は 24 時間表示です。
例）土曜日の 16 時 25 分（午後４時 25 分）に合わせる。

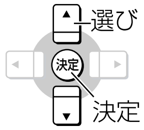
1



押す
設定メニュー画面になります。

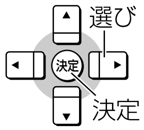


2

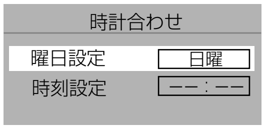


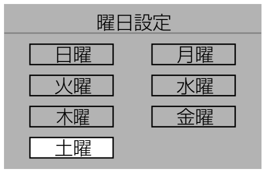
“時計合わせ”を選び、決定

3

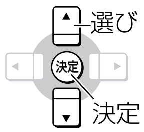


① “曜日設定” 選び、決定
② 曜日を選び、決定



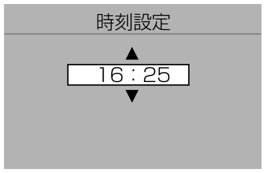


4



① “時刻設定” 選び、決定
② 時刻を選び、決定

- ②で[▲、▼]を押したままにすると、連続して変化します。
- ②で[**決定**]を押すと、時計がスタートします。



5



２回押す
元の画面に戻ります。
- [■（停止）]を押しても元の画面に戻ります。

■途中で設定を止める ➡
[**設定**]を数回押す。または[■（停止）]を押す。

■時計を見る ➡
手順 **1** ～ **2** を行う。（確認後は[**設定**]を２回押す）

お知らせ

- 時計を合わせると、デモ機能（☞ 8ページ）は自動的に「切」になります。
- 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
- コンセントを抜いたり、停電したときは、もう一度設定してください。

おやすみタイマー/オートオフ

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

1 [タイマー] **音源を聞きながら押す**
タイマー設定画面になります。

タイマー設定	
おやすみタイマー	オフ
タイマー再生/録音	オフ

2 選び／決定
① **“おやすみタイマー”を選び、決定**
② **時間を選び、決定**

おやすみタイマー設定
オフ
30分
60分
90分
120分

3 [タイマー] **押す**
元の画面に戻ります。

SLEEP　1/50
おやすみタイマー表示

■解除する ➡
手順 **2**-②で“オフ”を選ぶ。

■残り時間を確かめる ➡
[◴ **タイマー**]を押す。(確認後は、もう一度押す)

お知らせ
● おやすみタイマーは、おめざめ/留守録タイマーと組み合わせて使えます。組み合わせるときは予約時間が重ならないようにしてください。

電源の切り忘れを防ぐ

オートオフ

停止状態が約 10 分以上続くと、自動的に電源が切れます。

1 [設定] **押す**
設定メニュー画面になります。

システム設定
時計合わせ
HDD設定
自動電源オフ機能
電源オフモード設定

2 選び／決定
① **“自動電源オフ機能”を選び、決定**
② **“有効”を選び、決定**

自動電源オフ機能
無効
有効

3 [設定] **押す**
元の画面に戻ります。
● [■(停止)]を押しても元の画面に戻ります。

■解除する ➡
手順 **2**-②で“無効”を選ぶ。

お知らせ
● HDD、SD、CD の停止中のみ働きます。

おめざめタイマー

設定した曜日の時刻になると、電源が入って指定した音源を再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

準　備

電源を入れ、時計が合っていることを確認する。
（☞ 66 ページ）



■一つ前の画面に戻る

➡ 戻る（ボタン）

■途中で止める

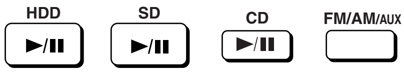
➡ タイマー（ボタン） 数回押す

● [■（停止）]を押しても元の画面に戻ります。

再生音源を設定する

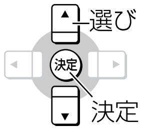
1 再生したい音源を設定する

① 音源を再生
（☞ 30、34、38、42 ページ）



動作曜日/時刻を設定する

4 “タイマー再生予約設定”を選び、決定



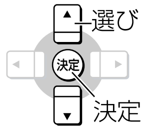
タイマー再生/録音設定
タイマー機能設定　オフ
タイマー再生予約設定
タイマー録音予約設定

タイマー動作を設定する

7 戻る 押す



8



■解除する

電源を入れ、手順 **2** から始め、手順 **4**～**7** をとばして手順 **8** に進み、**8**-②で“オフ”を選ぶ。

■操作をまちがえたり、設定を変えたいときは

電源を入れ、始めからやり直す。

■再生音源だけを変える

電源を入れ、手順 **1** から始め、手順 **4**～**7** をとばして手順 **8** に進む。

■設定内容を確認する

電源を入れ、[◴ **タイマー**]を押す。
確認が終わったら、もう一度押す。

● タイマーを動作させたいときは、電源を切る。

タイマー設定
おやすみタイマー　オフ
タイマー再生/録音　◴ PLAY
音源：FM 80.2 MHz 曜日：毎日曜 時刻：6：30−7：40 音量：15

② 音量を調節

[+ 音量 −]

③ HDD、SD、CD は再生を停止

[■]

2 [タイマー] 押す

3 選び 決定 **“タイマー再生/録音”を選び、決定**

タイマー設定	
おやすみタイマー	オフ
タイマー再生/録音	オフ

---

5 選び 決定 **①“曜日”を選び、決定 ②曜日を選び、決定**

①

タイマー再生予約設定	
曜日	毎日曜
開始時刻	0：00
終了時刻	0：00

②

曜日設定	
毎日曜	毎月曜
毎火曜	毎水曜
毎木曜	毎金曜
毎土曜	毎日
月曜～土曜	月曜～金曜
土曜、日曜	

6 選び 決定 **①“開始時刻”を選び、決定 ②時刻を選び、決定**

[▲、▼]を押したままにすると、連続して変化します。

タイマー開始時刻

▲
6：30
▼

同様に、終了時刻を設定します。

---

①“タイマー機能設定”を選び、決定
②“◴ PLAY”を選び、決定

タイマー機能設定
オフ
◴ PLAY
◴ REC

手順 1 で選んだ音源を再生するように設定されます。

9 [タイマー] **数回押す**
元の画面に戻ります。

◴ PLAY 1/50

おめざめタイマー表示

10 [電源] **押して 電源を切る**

電源を切らないと、タイマーが動作しません。
設定した曜日/時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。
（動作中は“◴ PLAY”が点滅）

■タイマー設定した後に、再生を楽しむ

① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。
音量や音源を変更しても、設定内容には影響しません。

■外部機器を使ったタイマー設定

手順 1 で[FM/AM/AUX]を押して“AUX”を選んだあと、外部機器を本機と同じ曜日/時刻に動作するように設定します。

■くり返し/順不同に再生する（HDD/SD/CD）

電源を切る前に、再生したい音源でリピート/ランダムプレイの設定をしておきます。
（☞ 40ページ）

お知らせ

- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。

留守録タイマー

設定した曜日の時刻になると、電源が入って指定したラジオ放送などをHDDに録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

準 備

電源を入れ、時計が合っていることを確認する。
（☞ 66ページ）



■一つ前の画面に戻る

➡ 戻る

■途中で止める

➡ タイマー 数回押す

● [■（停止）]を押しても元の画面に戻ります。

再生音源を設定する

1 選局する
（☞ 42ページ）

動作曜日/時刻を設定する

4 ▲▼選び 決定

“タイマー録音予約設定”を選び、決定

タイマー再生/録音設定	
タイマー機能設定	オフ
タイマー再生予約設定	
タイマー録音予約設定	

タイマー動作を設定する

7 戻る 押す

8 ▲▼選び 決定

■解除する

電源を入れ、手順**2**から始め、手順**4**～**7**をとばして手順**8**に進み、**8**-②で“オフ”を選ぶ。

■操作をまちがえたり、設定を変えたいときは

電源を入れ、始めからやり直す。

■設定内容を確認する

電源を入れ、[◴ **タイマー**]を押す。
確認が終わったら、もう一度押す。

● タイマーを動作させたいときは、電源を切る。

タイマー設定	
おやすみタイマー	オフ
タイマー再生/録音	◴ REC

音源：FM 80.2 MHz
曜日：毎土曜
時刻：18：30－20：00

2 タイマー ◴ **押す**

3 選び／決定 **“タイマー再生/録音”を選び、決定**

タイマー設定
おやすみタイマー　オフ
タイマー再生/録音　オフ

---

5 選び／決定 **① “曜日”を選び、決定**
② 曜日を選び、決定

①

タイマー録音予約設定	
曜日	毎日曜
開始時刻	0：00
終了時刻	0：00

②

曜日設定	
毎日曜	毎月曜
毎火曜	毎水曜
毎木曜	毎金曜
毎土曜	毎日

6 選び／決定 **① “開始時刻”を選び、決定**
② 時刻を選び、決定
[▲、▼]を押したままにすると、連続して変化します。

タイマー開始時刻
▲
18：30
▼

同様に、終了時刻を設定します。

---

① “タイマー機能設定”を選び、決定
② “◴ REC”を選び、決定

タイマー機能設定
オフ
◴ PLAY
◴ REC

手順 **1** で選んだ放送局を録音するように設定されます。

9 タイマー ◴ **数回押す**
元の画面に戻ります。

80.2 MHz
◴ REC　XP

留守録タイマー表示

10 電源 **押して**
電源を切る

電源を切らないと、タイマーが動作しません。

- 頭切れ防止のため、設定した曜日/時刻の少し前になると録音が始まります。
（動作中は“◴ REC”が点滅）
- 録音中は、自動的に最小音量になります。

■タイマー設定した後に、再生を楽しむ

① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。
音量や音源を変更しても、設定内容には影響しません。

■外部機器を使ったタイマー設定

手順 **1** で[**FM/AM/AUX**]を押して“AUX”を選んだあと、外部機器を本機と同じ曜日/時刻に動作するように設定します。

お知らせ

- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。
- 留守録タイマーで録音できるのは、ラジオと外部機器のみです。CD からの録音はできません。
また、あらかじめ FM、AM または AUX を選んでおかないと、留守録タイマーの設定ができません。
- SD への留守録はできません。

音質/音場を変える



■一つ前の画面に戻る

➡ [戻る]

■元の画面に戻る

➡ [サウンド] 数回押す

● [■（停止）]を押しても元の画面に戻ります。

好みの音質効果を使う

プリセットイコライザー

1 [サウンド] 押す

サウンド設定	
イコライザー	ヘビー
バス [—]	トレブル [—]
サラウンド	オフ
H.BASS	オフ
リ.マスター	オフ

[▲][▼] 選び　[決定] 決定

"イコライザー"を選び、決定

低域/高域を調整する

マニュアルイコライザー

バス（低域）とトレブル（高域）を細かく調整できます。

1 上記手順１～２を行い"マニュアル"を選ぶ

2

音に臨場感を与える

サラウンド

1 [サウンド] 押す

サウンド設定	
イコライザー	ヘビー
バス [—]	トレブル [—]
サラウンド	オフ
H.BASS	オフ
リ.マスター	オフ

[▲][▼] 選び　[決定] 決定

"サラウンド"を選び、決定

豊かな低音を楽しむ

H.BASS

再生帯域の広いスピーカーで聞いているような、厚みのある低音が楽しめます。

1 [サウンド] 押す

サウンド設定	
イコライザー	ヘビー
バス [—]	トレブル [—]
サラウンド	オフ
H.BASS	オフ
リ.マスター	オフ

[▲][▼] 選び　[決定] 決定

"H.BASS"を選び、決定

より自然な音で楽しむ

リ.マスター

AACやWMA/MP3の圧縮時に失われた高域信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

1 [サウンド] 押す

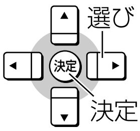
サウンド設定	
イコライザー	ヘビー
バス [—]	トレブル [—]
サラウンド	オフ
H.BASS	オフ
リ.マスター	オフ

[▲][▼] 選び　[決定] 決定

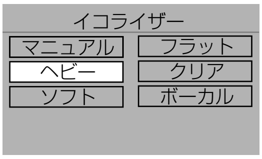
"リ.マスター"を選び、決定

● ディスクや音源によっては、音質／音場効果の働かないものがあります。

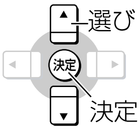
2



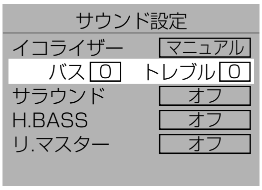
効果を選び、決定



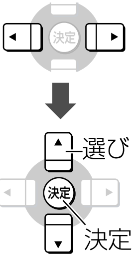
マニュアル ：マニュアルイコライザー（☞ 下記）を使うとき
フラット ：切
ヘビー ：ロックなど。パンチを効かせるとき
（お買い上げ時の設定）
クリア ：ジャズなど。高音部を鮮明にするとき
ソフト ：BGMとして聞くとき
ボーカル ：ボーカルにつやを出したいとき



“バス、トレブル”を選び、決定

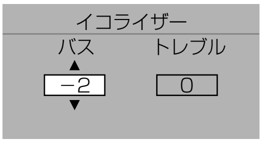


3



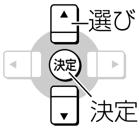
バス（低域）またはトレブル（高域）を選び、

レベルを選び、決定

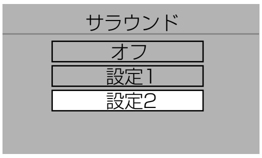


● 上下４ステップずつ調整できます。

2



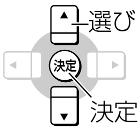
効果を選び、決定



オフ ：切（お買い上げ時の設定）
設定１ ：自然な臨場感を与えるとき
設定２ ：臨場感を与えるとともに、ボーカルを強調するとき

● 音がひずむときは、オフにしてください。

2

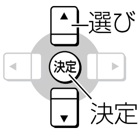


効果を選び、決定

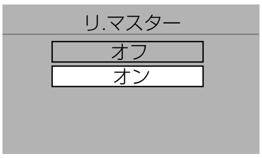


オフ ：切（お買い上げ時の設定）
設定１ ：低音の厚みが増します。
設定２ ：より低音の厚みが増し、迫力が得られます。

2



効果を選び、決定



オフ ：切（お買い上げ時の設定）
オン ：リ.マスターを効かせる。

お知らせ

● CD-DAと、LPCMモードで録音したHDDの曲の再生中は働きません。

便利な機能



一時的に消音する

消音 押す

消音

■解除する
- もう一度押す。
- 音量を最小（0）にしてから上げる。
- 電源を切／入する。

HDDの使用状況を確認する

HDDの使用容量と空き容量を表示します。

設定メニュー（☞ 76ページ）で
“HDD設定” → “HDD使用状況”を選び、決定

HDD使用状況	
システム領域	＊＊GB
使用容量	＊＊GB
空き容量	＊＊GB

■元の画面に戻るには
➡ 設定 数回押す

お知らせ
システム領域とは、本機が管理用に使用している領域です。

表示部の明るさを変える

ディマー

設定メニュー（☞ 76ページ）で
“ディマー機能”→“有効”を選び､決定

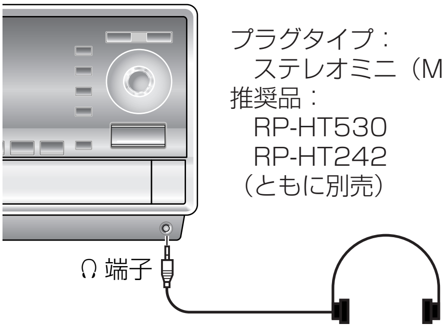
ディマー機能
無効
有効

表示部の輝度が下がり、ボタンのライトが消えます。お部屋の雰囲気や好みに合わせてお使いください。

■元の明るさに戻すには ➡
“無効”を選ぶ。

■元の画面に戻るには ➡ 設定 数回押す

ヘッドホンで聞く



プラグタイプ：
ステレオミニ（M3）
推奨品：
RP-HT530
RP-HT242
（ともに別売）

お願い
- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

音のエチケット

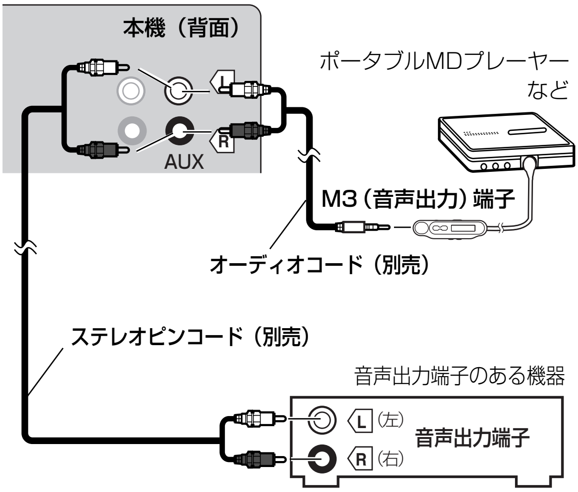
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

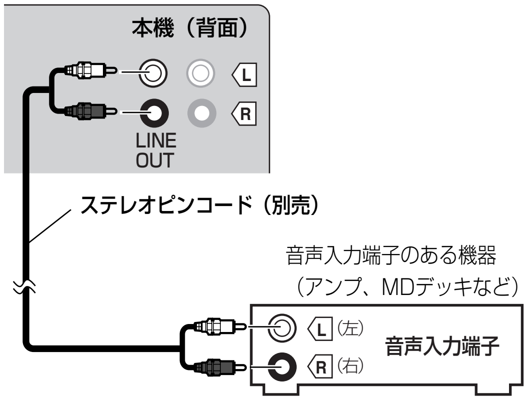
外部機器をつないで楽しむ

本機で再生する/本機のHDDに録音する（☞ 28ページ）



■ 外部機器の音を本機で再生する/本機のHDDに録音するには（☞ 28ページ）
- ポータブルMDの場合、ポータブルMD側で音量を調節してください。

外部機器で再生する/MDデッキなどで録音する



■ 本機の音を外部機器で再生する/MDデッキなどで録音するには

1. 外部機器の入力切り換えを“AUX”、“EXT”などにする。
2. 録音する場合は、外部機器側で録音を始める。
3. 本機で再生を始める。
   - AUXの音は、外部機器に出力されません。
   - 接続した機器の説明書もご覧ください。

別売品のご紹介

別売品の品番は、2005年9月現在のものです。品番は変更されることがあります。

■外部機器とつないで楽しむには

オーディオコード
- RP-CAPM3G15（1.5 m）

ステレオピンコード
- RP-CAP3G10（1 m）

■ SDで楽しむには

SDメモリーカード
- RP-SDK02GJ1A（2 GB）
- RP-SDK01GJ1A（1 GB）
- RP-SDQ01GJ1A（1 GB）
- RP-SDK512J1A（512 MB）
- RP-SDH256N1A（256 MB）
- RP-SD128BL1A（128 MB）
- RP-SD064BL1A（64 MB）

miniSD™カード
- RP-SS512BJ1K（512 MB）
- RP-SS256BJ1K（256 MB）
- RP-SS128BJ1K（128 MB）
- RP-SS064BJ1K（64 MB）
- RP-SS032BJ1K（32 MB）

■パソコンでSDを再生するには

- SDオーディオPCレコーディングキット（SD-Jukebox Ver.5、USBリーダーライター付属）SH-SSK40

SDリーダーライター（著作権保護機能付き）
- USB2.0リーダーライター BN-SDCGP3
- CardBus PCカードアダプター BN-SDDAP3

別売品は、販売店でお買い求めいただけます。松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

PanaSense http://www.sense.panasonic.co.jp/

本機の設定を変える、情報を見る

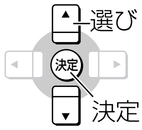


1 

押して
設定メニューを表示させる

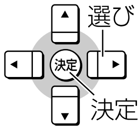
設定メニュー画面

システム設定
時計合わせ
HDD設定
自動電源オフ機能
電源オフモード設定
ネットワーク設定
CDDB設定

2 

変更したい項目を
選び、決定

操作をくり返して、変更したい項目までメニューを進めます。

3 

設定を
選び、決定

数字ボタンで設定できるものもあります。

■一つ前の画面に戻る ➡ 戻る

■設定メニューを消す ➡ 設定 数回押す

電源「切」時の消費電力を節約する

電源「切」時の消費電力が小さくなり、節電になります。

設定メニューで
“電源オフモード設定”→“省電力モード”を選び、決定

電源オフモード設定
通常モード
省電力モード

お買い上げ時の設定は“通常モード”です。

お知らせ
- 省電力モードでは、電源を入れてから操作できるようになるまでに時間がかかります。すぐに操作したいときは“通常モード”にしてください。
- エンコード処理（☞ 18ページ）が終わっていないときは：
  まず約2分間通常モードでスタンバイ状態（電源ランプがオレンジ色に点灯）になり、そのあとエンコード処理を開始します（電源ランプがオレンジ色に点滅）。エンコード処理を終えたあと省電力モードになります。

ネットワークの接続状況を確認する

設定メニューで
“ネットワーク設定”を選び、決定

ネットワーク設定	
TCP/IP設定（1）	自動設定
TCP/IP設定（2）	自動設定
IPアドレス等の表示	
ネットワークに接続されています	

接続状況を表示 — ネットワークに接続されています

内蔵CDDBだけを使う

ネットワークに接続しないで使用するとき、接続に関するメッセージを出さないように設定します。

設定メニューで
“CDDB設定”→“しない”を選び、決定

CDDB設定	
インターネット上のCDDB情報を使用	
する	しない

お買い上げ時の設定は“する”です。

お願い
- “しない”に設定したあと、ネットワークに接続するときは、必ず、“する”に戻してください。

IP アドレスを手動で設定する

通常は、お買い上げ時の設定のままで使えます。

本機に固定 IP アドレスを割り当ててネットワークに接続する場合に設定します。

① 設定メニューで
“ネットワーク設定”→“TCP/IP 設定（1）”→“IP 手動設定”を選び、決定
② 項目を選び、決定
③ 数字ボタンで数値を入力し、決定

- ブロードバンドルーターの仕様を確認して、それぞれ入力します。
- 0 ～ 255 以外の数値は、入力できません。

②、③をくり返し、他の項目を入力してください。

（例）

IP手動設定	
IPアドレス	192.168.1.37
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1

入力を間違えたら
[◀、▶]でカーソルを移動し、数字ボタンで修正する。

■ **設定を取り消し、お買い上げ時の状態で使うには ➡**
“ネットワーク設定”→“TCP/IP 設定（1）”→“IP 自動設定（DHCP）”を選び、決定する。

DNS サーバーを手動で設定する

通常は、お買い上げ時の設定のままで使えます。

プロバイダーから DNS サーバーの指定があるときに設定します。

① 設定メニューで
“ネットワーク設定”→“TCP/IP 設定（2）”→“DNS 手動設定”を選び、決定
② 項目を選び、決定
③ 数字ボタンで数値を入力し、決定

- ご契約のプロバイダーや接続業者の指示に従って入力してください。
- 0 ～ 255 以外の数値は、入力できません。

②、③をくり返し、他の項目を入力してください。

（例）

DNS手動設定	
プライマリDNS	192.168.1.1
セカンダリDNS	0.0.0.0

入力を間違えたら
[◀、▶]でカーソルを移動し、数字ボタンで修正する。

■ **設定を取り消し、お買い上げ時の状態で使うには ➡**
“ネットワーク設定”→“TCP/IP 設定（2）”→“DNS 自動設定”を選び、決定する。

IP アドレスなどを確認する

設定メニューで
“ネットワーク設定”→“IP アドレス等の表示”を選び、決定

（例）

IPアドレス等の表示		
MACアドレス	：	12-34-56-78-90-AB
IPアドレス	：	192.168.1.37
サブネットマスク	：	255.255.255.0
ゲートウェイ	：	192.168.1.1
プライマリDNS	：	192.168.1.1
セカンダリDNS	：	0.0.0.0

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンで本機が誤動作するときに行います。
本体側を切り換えたときは、必ずリモコン側も切り換えてください。

■本体側の切り換え

設定メニューで、“リモコンモード設定”→“リモコン2”を選び、決定

リモコンモード設定
リモコン1
リモコン2

お買い上げ時の設定は“リモコン1”です。

■リモコン側の切り換え

リモコンの[決定]を押しながら、数字ボタンの[1]または[2]（本体側で設定した数字）を2秒以上押したままにする。

設定が終わったら、動作を確認してください。
リモコンボタンを押して操作できれば、正しく設定されています。
リモコンが働かないときは、メッセージに従ってリモコン側を切り換えてください。

システムソフトの情報を確認する

設定メニューで
“システムソフトの情報”を選び、決定
本機のソフトウェアバージョンなどを表示します。

システムソフトの情報
バージョン：V1.00 —（表示例）

● 最新バージョンについては、以下のホームページでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/mini/

ユーザー名とパスワードを確認する

ネットワークを介して、第三者が不正に侵入することを防ぐために、接続ユーザー名とパスワードが設定されています。
セキュリティ確保のため、お使いになる前に変更されることをおすすめします。

設定メニューで
“データのバックアップ/復元”→“パスワード設定”を選び、決定
● ユーザー名とパスワードが表示されます。

パスワード設定
ユーザー名：
guest
パスワード：
password

■ ユーザー名やパスワードを変更するには ➡

① **変更したい項目を選び、決定する。**
② **数字ボタンでユーザー名やパスワードを変更する。（半角英数字のみ使えます）**
　●間違えたら、[◀、▶]でカーソルを移動し、数字ボタンで修正する。
③ **[決定]を押す。**

本機のシステムソフトを更新する

今後、性能改善のため、システムソフトの書き換え（更新）が必要になったときのための機能です。

システムソフトの更新に関する情報を受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いします。インターネットでの登録が可能です。
くわしくは、
http://panasonic.jp/support/audio/mini/
をご覧ください。

HDD のデータをパソコンにバックアップする

HDD 内の録音データは、定期的にパソコンにバックアップすることをおすすめします。
万が一、HDD が故障して録音内容が損なわれた場合でも、バックアップ時点の録音内容を復元することができます。

バックアップに必要な、推奨する機器と環境

- **Windows XP SP2 の OS を搭載した Windows パソコン**
- システムドライブに作業領域として 2 GB 以上の空き容量
- ブラウザソフト（Internet Explorer 6.0 以上）
- 十分な空き容量のあるハードディスク
  ハードディスク以外のメディア（DVD-R など）にはバックアップできません。
- ネットワーク接続環境（☞ 10 ページ）または本機とパソコンを直接接続（☞ 下記）

バックアップを行う場合は、転送速度の速い 100BASE-T 有線 LAN によるネットワーク接続をおすすめします。

- バックアップについてのくわしい情報は、以下のホームページにて順次ご案内します。
  http://panasonic.jp/support/audio/mini/

バックアップに必要な機器がない場合

- 録音元の CD などは、念のために保管しておく。
- 特に大切な音楽は、SD カードに転送しておく。

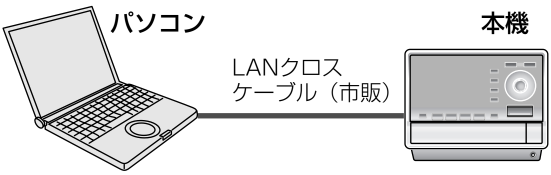
などもひとつの方法です。

お知らせ

- **バックアップにはかなりの時間がかかります。**
  本機の HDD 使用容量にもよりますが、数時間から 1 日以上かかる場合もあります。（所要時間の目安は、バックアップ前にパソコン上で確認できます）
- 本機の HDD 使用容量が約 2 GB を超えているときは、バックアップの途中で（約 2 GB ごとに）、確認の操作を行う必要があります。
- **バックアップデータは暗号化して記録されます。**
  このため、バックアップデータをパソコンで再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。また、バックアップ元の機器でないとバックアップデータの復元はできません。

本機とパソコンを直接接続する

HDD のデータをパソコンにバックアップするときは、本機とパソコンを LAN クロスケーブルで直接つなぐこともできます。この場合は、本機とパソコンの設定を変更してからバックアップ/復元を行ってください。



本機の設定（本機とパソコンを直結したとき）

① 設定メニュー（☞ 76 ページ）で“ネットワーク設定”→“TCP/IP 設定（1）”→“IP 手動設定”を選び、決定。
② 各項目をそれぞれ以下のように設定します。

■**IP アドレス**（設定例： 192.168.0.16）
接続するパソコンとは異なる IP アドレスにします。例えばパソコンの IP アドレスが 192.168.0.15 なら、本機の IP アドレスは、末尾の 15 以外は同じで、15 のところを 2 ～ 254 の間で、15 以外の任意の数字にします。

■**サブネットマスク**（設定例： 255.255.255.0）
255.255.255.0 を入力するのが一般的です。

■**ゲートウェイ**（設定例： 192.168.0.15）
パソコンの IP アドレスと同じ数字に設定してください。

パソコンの設定（本機とパソコンを直結したとき）

くわしくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。ここでは Windows XP を例に説明しています。

① “コントロールパネル”→“ネットワーク接続”→“ローカルエリア接続”の“プロパティ”をクリックし、“インターネットプロトコル（TCP/IP）”の“プロパティ”をクリックする。
② “次の IP アドレスを使う”を選び、IP アドレスとサブネットマスクを以下のように設定します。

■**IP アドレス**（設定例： 192.168.0.15）
本機とは異なる IP アドレスに設定します。

■**サブネットマスク**（設定例： 255.255.255.0）
255.255.255.0 を入力するのが一般的です。

お知らせ

- 本機とパソコンで上記の設定をすると、インターネットに接続できなくなることがあります。インターネットを使用するときは、それぞれの設定を元に戻してください。また本機の場合は「ネットワークに接続する」（☞ 10 ページ）の方法で接続しなおしてください。

お願い

- 本機やパソコンですでに他の値を設定しているときは、あとで元に戻せるように、その内容を控えておくことをおすすめします。

HDD のデータをパソコンにバックアップする（つづき）

HDD の録音データをバックアップする

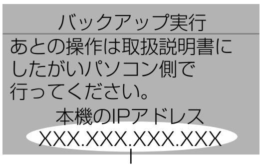
準　備

本機をネットワークに接続（☞ 10ページ）、または本機をパソコンに直接接続（☞ 79ページ）する。

1 ユーザー名とパスワードを確認する
（☞ 78ページ）

- パソコン側の操作で必要となりますので、メモなどに控えておきます。
- お買い上げ時は、ユーザー名：guest、パスワード：password に設定されています。

2 設定メニュー（☞ 76ページ）で“データのバックアップ/復元”→“バックアップ実行”を選び、決定する

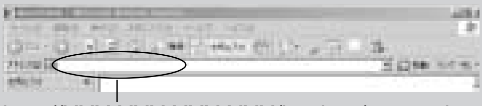


IPアドレスを控えておきます。

3 パソコンで
Internet Explorer などの
ブラウザソフトを起動する

あらかじめ、Internet Explorer のセキュリティ設定を行う必要があります。
（☞ 81ページ）

4 以下の URL を入力してエンターキーを押す



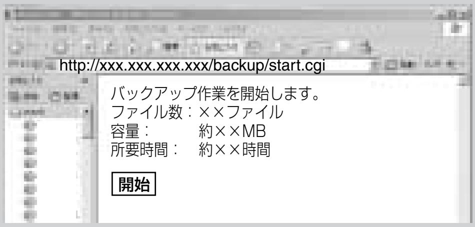
http://XXX.XXX.XXX.XXX/backup/start.cgi

- 下線部に手順 2 で確認した IP アドレスを入力します。

5 手順 1 で確認したユーザー名とパスワードを入力する



6 パソコンで
バックアップに必要な容量を確認し、“開始”をクリックする



- 表示される所要時間は 100BASE-TX 有線直結時の目安です。接続環境により所要時間は増減します。

7 “保存”をクリックし、保存場所を指定してエンターキーを押す

- 保存先としては、システムドライブ（C ドライブ）以外を推奨します。

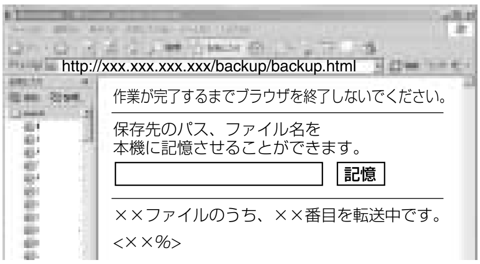


バックアップが始まります。

バックアップ中は

本体表示部とパソコンのブラウザ上に、進行状況が表示されます。

（パソコンのブラウザ画面）

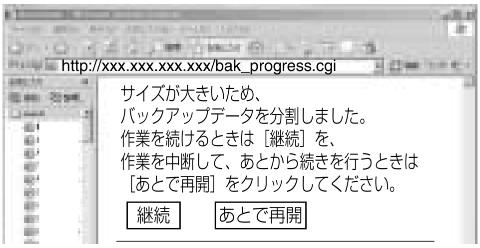


お知らせ

- バックアップ中は、ブラウザの「戻る」「進む」「中止」「更新」「ホーム」のショートカットボタンは使わないでください。また、ブラウザの二重起動をしないでください。
- バックアップ中は、本体とパソコンの電源を入れたままにしておいてください。またブラウザソフトを終了させないでください。
- バックアップに関係のないソフトはすべて終了してください。

終了すると
本体表示部とパソコンのブラウザ上に、“完了しました”などのメッセージが表示され、本体側は電源が切れます。

■バックアップデータの容量が 2 GB を超えるとき
バックアップデータは約 2 GB ごとに分割して保存されます。下のような画面がパソコンに表示されたときは、バックアップ作業を続ける（継続）か、中断してあとで続きを行う（あとで再開）かを選んでください。
（中断した場合は：☞ 下記「バックアップを中断する」）



8 パソコンで

バックアップが終わったら
ブラウザソフトを終了する

Internet Explorer のセキュリティ設定
① “ツール”→“インターネットオプション”を選び、“セキュリティ”タブ→“信頼済みサイト”をクリックする。
- “既定のレベル”をクリックし、レベルが**中低**または**低**になっていることを確認する。（デフォルト：低）

② “サイト”をクリックし、本機の IP アドレスを入力して、“追加”をクリックする。
③ “OK”をクリックする。

■バックアップを中断する
パソコンで他の作業をしたいときなど、バックアップを中断して、あとで続きを再開することができます。

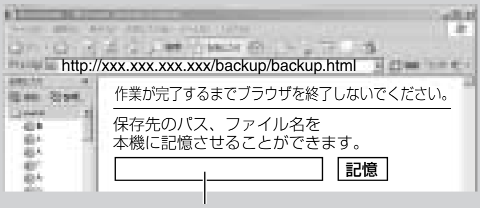
中断したあと、HDD の再生や録音、編集を行うと、前回までのバックアップデータはすべて無効になります。
- バックアップ中断後に本機の電源を入れると、バックアップ中断中であることを知らせるメッセージが表示されます。
- バックアップの中断中は、本機のおめざめタイマー/留守録タイマーは働きません。

後日、バックアップを再開するには
前ページの手順 **1** から始めます。（自動的に前回の続きから再開します）

■バックアップデータの保存場所を記憶させる
バックアップデータの保存先（パス）の情報を、本機に記憶させることができます。この情報は復元の際、バックアップデータを指定するときに利用できます。

パソコンで

バックアップ作業中に、バックアップデータの保存先（パス）を入力し、“記憶”をクリックする。

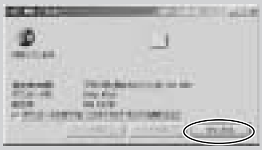


保存先（パス）を入力

■バックアップ作業を中止する
中止した場合、途中までのバックアップデータは無効になります。もう一度始めからやり直してください。

パソコンで

①“キャンセル”をクリックする。



②バックアップデータをすべて削除する。

お知らせ
- ブラウザソフトの異常終了などにより、バックアップが中止してしまうことがあります。
この場合は、パソコン上のバックアップデータを削除して、最初からやり直してください。

バックアップデータの取り扱いついて
以下のことをお守りください。
- バックアップデータをアプリケーションソフトで開いたり、内容を変更したりしない。
- バックアップデータを圧縮しない。
- バックアップデータのファイル名を変更したり、保存場所を移動させると、保存場所として本機に記憶させた情報と一致しなくなります。

HDD のデータをパソコンにバックアップする（つづき）

データを復元する

パソコンに保存したバックアップデータの内容を、本機の HDD に書き戻します。
HDD が故障して録音内容が損なわれた場合に、HDD の修理が完了してから行ってください。

復元を行う際は、HDD を一旦お買い上げ時の状態（1 曲も録音されていない）に戻します。
よって、復元に失敗したときは、HDD はお買い上げ時点の状態になります。
復元を行う際は細心の注意を払ってください。

準　備

本機をネットワークに接続（☞ 10 ページ）、または本機をパソコンに直接接続（☞ 79 ページ）する。

1 ユーザー名とパスワードを確認する
（☞ 78 ページ）

- パソコン側の操作で必要となりますので、メモなどに控えておきます。
- お買い上げ時は、ユーザー名：guest、パスワード：password に設定されています。

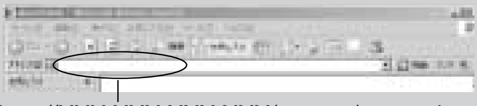
2 設定メニュー（☞ 76 ページ）で “データのバックアップ/復元” → “復元実行” を選び、決定する

復元実行
あとの操作は取扱説明書に
したがいパソコン側で
行ってください。
本機のIPアドレス
XXX.XXX.XXX.XXX

IPアドレスを控えておきます。

3 パソコンで
Internet Explorer などの
ブラウザソフトを起動する

4 以下の URL を入力してエンターキーを押す



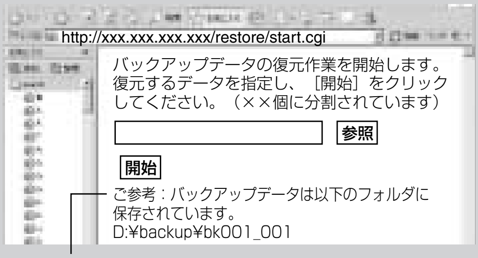
http://XXX.XXX.XXX.XXX/restore/start.cgi

- 下線部に手順 2 で確認した IP アドレスを入力します。

5 手順 1 で確認したユーザー名とパスワードを入力する



6 パソコンで
バックアップデータを指定する



バックアップデータの保存場所を記憶させているときに表示されます。

7 “開始” をクリックする

- 復元が始まります。

■ バックアップデータが複数に分割されているとき
次のバックアップデータを指定する画面になります。同じ操作をくり返し、すべてのバックアップデータを指定してください。

復元中は
本体表示部とパソコンのブラウザ上に、進行状況が表示されます。
復元がすべて終了すると
本体表示部とパソコンのブラウザ上に、“完了しました” などのメッセージが表示され、本体側は電源が切れます。

お知らせ

- 復元には、バックアップと同じくらいの時間がかかります。
- 復元中は、本体とパソコンの電源を入れたままにしておいてください。またブラウザソフトを終了しないでください。
- 復元は中断できません。

8 パソコンで
復元が終わったら
ブラウザソフトを終了する

お知らせ

- 復元後、本機で再生してみて、正しく復元されていれば、パソコン側のバックアップデータは不要です。
- ブラウザソフトの異常終了などにより、復元が中止してしまうことがあります。この場合は、最初からやり直してください。ただし、バックアップデータの異常が原因のときは、復元できません。

安全上のご注意　**必ずお守りください**

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

（注意喚起）	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
（禁止）	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
（強制）	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

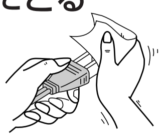
電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。）

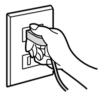
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



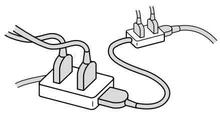
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

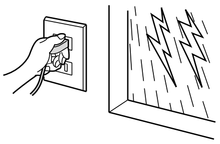
ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止



感電の恐れがあります。

ご使用について

SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造したりしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

リモコン用乾電池について

電池は誤った使い方をしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **乳幼児の手の届くところに置かない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **外装チューブのはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のために外装チューブをかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

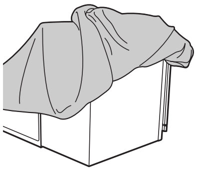
使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、液もれや、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。

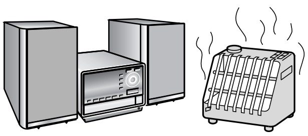
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **壁や天井に取り付けない**

機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスクトレイの挿入口の奥に手を入れない

指に注意

閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

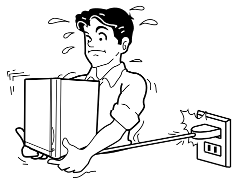
機器に乗らない

倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

SDについて

本機で使用できるカードについて

- SDメモリーカード、miniSD™カード（専用アダプターが必要です）が使えます。
- 使用可能なSDメモリーカード
  8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GBまで
  最新情報はhttp://panasonic.jp/support/audio/で確認してください。
- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- 記録前に、本機で初期化することをおすすめします。（☞ 51ページ）
- Windows Media Audio 9 (WMA9)対応
  ただし、Professional, Lossless, Voice及びマルチプルビットレート（一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）には対応していません。

再生について

「SDオーディオフォーマット※」で記録された音楽データ（AAC/MP3/WMA)のみ再生できます。
※ SDアソシエーションにて制定されたSDメモリーカードのオーディオ規格です。

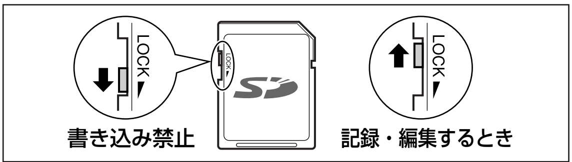
転送・編集について

本機のSDへの転送は、高度な著作権保護技術に対応した「SDオーディオフォーマット」を採用しています。

■転送時のデータ形式について
本機から転送した音楽データは、著作権保護付きのAACになります。

■SD1枚への記録は、収録時間内で最大999曲までです
実際に記録できる時間が少なくなる場合もあります。

■大切なデータを保護するために
書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに転送・編集するときは解除してください。



■転送・編集時のお願い
転送や編集を行っているときは、機器を振動させたり、SDを取り出したり、SD挿入部のふたを開けたり、電源コードを抜いたりしないでください。動作が停止します。SDアクセスランプの点滅中に電源が切れたり、SDが取り出されると、SDが使えなくなることがあります。
- 転送中にSD挿入部のふたを開けると、転送が中止されます。このときは、転送内容を確認し、もう一度転送してください。
- 編集中にSD挿入部のふたを開けると、編集が中止されます。このときは、編集内容を確認し、もう一度編集してください。

音楽の著作権保護のために

著作権保護と、音楽文化の健全な発展と、正当な購入者の権利保護のために、暗号技術を利用したSDMI（セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ）に対応しています。このため、SDをご利用いただくにあたり、下記の制限があります。
- 本機は音楽データを暗号化してSDに転送します。暗号化された音楽データを別の機器に複写して使用することはできません。
- 暗号化して記録された音楽データのバックアップ／リストア（復元）には対応していません。
- コピー制限情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

取り扱い上のお願い

- 保管時は、必ずケースに収納する。
- 分解や改造をしない。
- 貼られているラベルをはがさない。
- 新たにラベルやシールを貼らない。
- 裏面の金属端子部を手や金属で触れない。

■SDメモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「初期化」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、SDメモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄/譲渡の際は、SDメモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

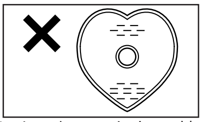
お問い合わせ先：(社) 私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したSDを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

CD について

のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状のCD はご使用にならないでください。（機器の故障の原因になります）



上記ロゴマークのある、規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクは正しく再生できない場合があります。

CD-R と CD-RW について

■**本機での制限**

- **使用できるフォーマットは**
  ISO9660 level 1 および level 2、Joliet
- 本機はマルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと再生が始まるまでに時間がかかることがありますので、セッション数は少なくすることをおすすめします。
- 同一ディスクで WMA または MP3 と CD-DA の両形式が記録されている場合、最初のセッションに記録されている形式のみ再生します。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- JPEG など大きなデータが入っていると、無音になったり、再生できない場合があります。

WMA

- **著作権保護された曲は、“保護されている曲です”と表示され再生できません。**くわしくは、曲を作成したソフトウェアの説明書をご覧ください。
- 情報部に JPEG など大きなデータが入っていると、無音になったり再生できない場合があります。
- Windows Media Audio 9 (WMA9)対応
  ただし、Professional, Lossless, Voice 及びマルチプルビットレート（一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）には対応していません。

MP3

- ID3 タグのバージョン 1 と 2 に対応しています。（曲名、アーティスト名、アルバム名のみ）
- 静止画の入った MP3 ディスクを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかったり、再生時間が正しく表示されないことがあります。

日本音楽著作権協会

本　　部	☎ (03) 3481-2121	静 岡 支 部	☎ (054) 254-2621
北海道支部	☎ (011) 221-5088	中 部 支 部	☎ (052) 583-7590
盛 岡 支 部	☎ (019) 652-3201	北 陸 支 部	☎ (076) 221-3602
仙 台 支 部	☎ (022) 264-2266	京 都 支 部	☎ (075) 251-0134
長 野 支 部	☎ (026) 225-7111	大 阪 支 部	☎ (06) 6244-0351
大 宮 支 部	☎ (048) 643-5461	神 戸 支 部	☎ (078) 322-0561
上 野 支 部	☎ (03) 3832-1033	中 国 支 部	☎ (082) 249-6362
東 京 支 部	☎ (03) 3562-4455	四 国 支 部	☎ (087) 821-9191
西東京支部	☎ (03) 5321-9530	九 州 支 部	☎ (092) 441-2285
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5321-9881	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
立 川 支 部	☎ (042) 529-1500	那 覇 支 部	☎ (098) 863-1228
横 浜 支 部	☎ (045) 662-6551		

デジタル録音および再生の制限について

■**SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）**

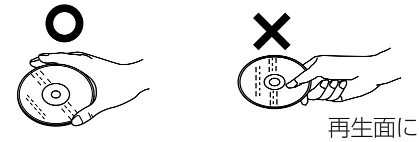
CD から HDD へのデジタル録音には、SCMS という制限があります。
本機で CD（CD-DA）から HDD へ録音すると信号劣化の少ないクリアなデジタル録音が行えます。著作権保護のため、この制限がある CD から HDD へのデジタル録音はできません。
なお、アナログ録音（WMA/MP3 から HDD への録音）にはこのような制限はありません。

■**著作権保護による再生の制限**

ディスクによっては著作権保護により、再生できないものがあります。この場合は録音もできません。

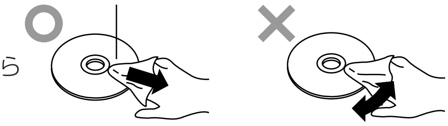
取扱上のお願い

■**持ちかた**



■**汚れたときは**

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



■**露がついたら**

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない



商標など

SD ロゴは商標です。

miniSD™ は SD アソシエーションの商標です。

Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.

MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および THOMSON multimedia からライセンスを受けています。

Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
WMA（Windows Media™ Audio）とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

この商品は Apache Software Foundation (http://www.apache.org/)によって開発されたソフトウェアを含んでいます。
The Apache Software License, Version 1.1

Copyright (c) 2000-2003 The Apache Software Foundation. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the Apache Software Foundation (http://www.apache.org/)."
   Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.
4. The names "Apache" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>.
Portions of this software are based upon public domain software originally written at the National Center for Supercomputing Applications, University of Illinois, Urbana-Champaign.

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧下さい。
グレースノート社からの CD 情報及び音楽関連データ
© 2000-2005 Gracenote, Inc. Gracenote® クライアントソフトウエア
© 2000-2005 Gracenote, Inc.
この製品及びサービスは以下の米国特許技術の１つもしくは複数で実現されています。#5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593 及びその他の特許や申請中特許。米オープングローブ社からの米国特許＃ 6,304,523 のライセンスにより、供与されるサービスまた製造されるデバイス製品。
Gracenote は、グレースノート社の登録商標です。Gracenote ロゴ及び“Powered by Gracenote”ロゴはグレースノート社の商標です。

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。
この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市の Gracenote（“Gracenote”）からの技術とデータが含まれています。この製品は Gracenote の技術（“Gracenote Embedded Software”）により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（“Gracenote Data”）を得ることも可能です。この技術は Gracenote Database（“Gracenote Database”）に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能およびこの製品の機能によってのみ、Gracenote Data にアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded Software または Gracenote Data の譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外での Gracenote Data、Gracenote Database や Gracenote Embedded Software の使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたの Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Database のすべての使用をやめることに同意すること。
- Gracenote は Gracenote Data、Gracenote Database や Gracenote Embedded Software の所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenote はこの同意のもとで、Gracenote の名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded Software や Gracenote Data の各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenote は、すべての Gracenote Data の正確さに関する、明示あるいは黙示、真実の表明あるいは保証は、一切致しません。Gracenote は Gracenote が明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。
Gracenote Embedded Software が、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Software の機能が断絶しないものであるという保証は致しません。
Gracenote は新しく拡張されたあるいは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。あるいはまた、将来 Gracenote が提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenote は、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性および権利侵害の不存在を含むすべての明示または黙示の保証をしません。Gracenote は、Gracenote Component またはいかなる Gracenote Server の利用により生じた結果について保証しません。
Gracenote はいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

- この商品は以下のソフトウェアを含んでいます。
  Network Kanji Filter Version 2.0.5 (2005-04-10)
  Copyright (C) 1987, FUJITSU LTD. (I.Ichikawa),2000 S. Kono, COW, 2002-2005 Kono, Furukawa, Naruse
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[設定]を押し、“システムソフトの情報”をご参照ください。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、Ⓡ マークは一部記載していません。

Q&A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	有線放送をつなぎたい	背面の「AUX」端子に接続します。	28
	MD やテープの音を録音したい	背面の「AUX」端子に接続します。	28
	他のスピーカーをつなぎたい	本機は、付属スピーカーからの電源供給によって働きますので、他のスピーカーと組み合わせて使うことはできません。	—
	インターネットがないが、使える？	使用できます。本機は Gracenote データベースの一部を内蔵していますので、タイトル検索も可能です。	—
HDD	できるだけいい音で録音したい	録音モードを LPCM に設定してください。	19
	できるだけたくさん録音したい	録音モードを AAC（LP）に設定してください。	19
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	音量や音質を変更しても、録音される音には影響しません。	—
	HDD の空き容量を調べたい	設定メニューから、使用容量と空き容量を確認できます。	74
	録音したあとで、曲の録音モードを変えたい	LPCM で録音した場合は、AAC（XP）に変換できます。それ以外の場合は、曲を消してからもう一度録音してください。	64
	好きな曲順で聞きたい	プレイリストを作成し、好きな順序で曲を登録してください。	56
	MD から録音した曲を探したい	トップメニューから“その他…”→“ラジオ 外部録音”と選び“AUX 録音データ”を探します。	—
	同じ CD を何度も録音したらどうなる？	“002”などの番号が付いた、別のアルバムとして扱われます。	—
	タイトル入力に使える文字の種類は？	かな、英数字と漢字（JIS 第二水準まで）が使えます。アクセント記号付きの文字（é など）や外国語の文字（ハングルなど）は使えません。	—
	曲名が、読み順どおりに並ばないのだがどうすれば？	タイトル編集で読みを訂正してください。	54
	SD の曲を HDD に録音できますか？	SD から HDD に録音することはできません。	—
SD	記録済みの SD に上書きで転送したい	テープと異なり、上書き録音はできません。不要な曲を消してから転送してください。	—
	miniSD を使用できますか？	専用アダプターに取り付けてお使いいただけます。	35
	MMC（マルチメディアカード）を使えますか？	本機では使えません。	—
	携帯電話で再生できますか？	再生できる機種をご確認ください。	50
	アーティスト名などが、あいうえお順に並ばないのだが？	SD の場合、本機から転送した順に表示されます。	—
	SD 内の曲データをパソコンに書き込み/移動できますか？	本機から SD に転送した曲は、パソコンへの書き込み/移動はできません。	—
その他	長期間使用しないがどうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、再使用時には時計の設定が必要です。	—
	待機電力が気になる	省電力モードに設定すると、電源「切」時の消費電力が節約できます。	76
	再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのもひとつの方法です。	72

こんな表示が出たら

表示	意味と対処	参照ページ
カードがありません。	SD カードが入っていない状態で再生または転送しようとしました。 ➡SD を入れてください。	34
カードに曲がありません。	再生できるデータが SD にありません。 ➡転送にはそのまま使えます。	—
曲数オーバーです。登録できません。	プレイリストに登録できる最大曲数（99）を超えようとしています。 ➡これ以上の登録はできません。	—
この名前は使えません。 名前を変更してください。	プレイリスト名の先頭に、本機が管理用に使用する語（予約語）が入っています。 ➡他の名前を付けてください。	57
これ以上 SD にプレイリストを作成できません。	SD 内のプレイリスト数が 99 を超えようとしています。 ➡不要になったプレイリストを解除するか、カードを取り替えてください。	58
これ以上 SD に曲を転送できません。	SD 内の曲数が 999 を超えようとしています。 ➡不要な曲を消すか、カードを取り替えてください。	62
再生専用 SD です。	➡記録、編集はできません。	—
再生できない曲です。	➡その曲をスキップして再生します。	—
再生できないディスクです。	本機では再生できないディスクです。 ➡CD を取り替えてください。	—
再生できないカードです。 転送できないカードです。	本機では使用できないカードです。または、本機で使用できるような初期化がされていません。 ➡カードの内容をご確認のうえ、本機で初期化するか、カードを取り替えてください。	51
再生できる曲がありません。	CD 内に、本機で再生できる曲が入っていません。 ➡CD を取り替えてください。	—
再生モードがランダム（リピート）になっています。録音できません。	CD のランダム、リピート設定中に、リモコンの[● HDD 録音]で録音をしようとしました。 ➡ランダム、リピート設定中は録音できません。	40
タイトルが見つかりませんでした。	Gracenote データベースを検索しても、タイトルが見つかりませんでした。 ➡ネットワークに接続しているときは、後日、もう一度同じ CD を入れるとタイトルが検索できることがあります。	—
著作権保護されている曲です。 録音できません。	SCMS が記録された CD-R や CD-RW から録音しようとしました。 ➡全曲とも録音できません。	87
著作権保護されている曲があります。 スキップして録音します。	SCMS が記録された CD-R や CD-RW から録音しようとしました。 ➡該当する曲をスキップして録音します。	87
著作権保護されている曲です。 転送できません。	著作権保護された曲を SD カードに転送しようとしました。 ➡この曲をスキップして転送します。	—
ディスクがありません。	CD が入っていません。 ➡CD を入れてください。	—
同じ読みのプレイリストがあります。 名前を変更しますか？	すでに同じ名前のプレイリストが HDD または SD 内にあり、ひとつにまとめるとプレイリスト内の曲数が 99 を超えてしまいます。 ➡他の名前を付けるか、編集を取り消してください。	57 61
同じ読みのプレイリストがあります。 1 つにまとめますか？	すでに同じ名前のプレイリストが HDD または SD 内にあります。 ➡ひとつにまとめるか、他の名前を付けてください。	57 61
ネットワークに接続できません。	➡LAN ケーブルの接続を確認してください。またルーターやモデムの電源が入っているかを確認してください。	10
バックアップ作業の中断中です。 バックアップを再開しますか？	➡メッセージに従って、バックアップ作業を再開するか、このまま本機の操作を行う（前回までのバックアップデータは無効になります）かを選んでください。	80 81
複数の候補が見つかりました。選択してください。	➡タイトル候補の中から、お好きな方のタイトルを選択してください。	20
プレイリスト内の曲数が 99 曲を超えています。	99 曲以上登録されているプレイリストを SD に転送しようとしました。 ➡プレイリスト内の全曲を転送することはできません。転送する曲を選んで、99 曲以下にしてください。	47

表示	意味と対処	参照ページ
保護されている曲です。再生できません。	著作権保護されたWMAの曲です。 ➡その曲をスキップして再生します。	—
HDD再生中です。選択できません。	HDDを再生中に、CDからHDDへの録音操作で「高速録音＋SD転送」または「聴きながら録音」を選択しようとしました。 ➡HDDの再生中にCDからHDDへの録音するときは「高速録音」を選択してください。	21
リモコン側のモードを「モード1（または2）」に設定してください	リモコンモードの設定が本体側と合っていません。 ➡「リモコンモードを変更する」でリモコン側を切り換えてください。	78
HDDに曲がありません。	➡録音にはそのまま使えます。	—
HDDの容量不足です。	HDDに、録音できるだけの空き容量がないため、録音できません。 ➡不要な曲を削除してください。	62
HDDの容量不足です。 録音を停止しました。	ラジオや外部機器からの録音時に、HDDの空き容量がなくなりました。 ➡これ以上録音できません。	—
IPアドレスが設定されていません	IPアドレスが取得できないため、ネットワークに接続できません。 ➡ルーターと本機の接続、設定を確認してください。	—
SDの容量不足です。	SDに転送できるだけの空き容量がありません。 ➡不要な曲を削除するか、カードを取り替えてください。	47
SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっています。	➡解除してから記録、編集してください。	86
U59	本体の内部温度が上昇しているので、安全のため動作を停止しました。 ➡表示が消えるまで約30分お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、通風口をふさがないでください。	—
○○中です。 しばらくお待ちください。	処理や準備に時間がかかっています。 ➡そのまま、しばらくお待ちください。	—

保管とお手入れ

■ 次のような場所に置かない
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

■本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■CDを良い音でお楽しみいただくために

別売の専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品： CDレンズクリーナー（品番RP-CL510）

故障かな!?

長時間使用すると、本体および左スピーカーが熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
システム全体に共通	電源が入らない。	システムケーブルを接続していますか。	システムケーブルを接続しないと本体に電源が供給されません。	9
	電源「切」時に表示部が変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」（解除）にする。	8
	電源コードを接続すると、電源ランプが点滅する。	前回電源「切」後すぐ、または電源ランプ点滅中に電源コードを抜きましたか。	電源「切」時のエンコード処理が中止されたため、再度処理を行っています。電源ランプ点滅中に電源を入れても問題ありません。	18
	省電力モードにしても電源ランプが消灯しない。	—	AAC に変換されていない録音データがある場合、電源「切」時は「通常モード」でスタンバイ状態になります。エンコード処理が終わったあと、省電力モードに切り換わります。	76
	省電力モードに設定していたが、電源コードを接続すると電源ランプがオレンジ色に点灯する。	前回電源「切」後すぐに電源コードを抜きましたか。		
	通常モードに設定したのに、電源が入るまでに時間がかかる。	—	本機の動作を安定させるためのシステム処理を数十秒間行う場合があります。（電源ランプがオレンジ色に点滅します。）この間に電源を入れると、起動するまで時間がかかります。（「起動中です。しばらくお待ちください」と表示されます。）	—
	電源が入っているのに音が出ない。再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードがはずれていませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8 9
	音の位置が定まらない。左右の音が逆になる。	スピーカーコードの HIGH/LOW、外部機器のコードの左右を逆に接続していませんか。	スピーカーコード、外部機器のコードを正しく接続する。	8 9
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。電源コードを逆に差しかえてみる。	—
	表示が暗い。	ディマー機能を使っていませんか。	“無効”に切り換える。	74
	ネットワークに接続できない。	LAN ケーブルがはずれていませんか。	LAN ケーブルを正しく接続する。	10
		本機の LAN 端子に、電話用のモジュラーケーブルを接続していませんか。	ストレートタイプの LAN ケーブルで接続してください。	10
		モデムやブロードバンドルーターの電源が入っていますか。	各機器の電源を入れる。	—
		内蔵 CDDB だけを使う設定にしていませんか。	設定メニューの“CDDB 設定”で“インターネット上の CDDB 情報を使用する”に設定してください。	76
		ネットワークの設定が間違っていませんか。	契約しているプロバイダーや回線接続業者の指示に従って、設定してください。	—
		ブロードバンドルーターの設定が間違っていませんか。	ブロードバンドルーターの取扱説明書もご覧ください。	—
		ブロードバンドルーターやモデムなどが正しく接続されていますか。	各機器の取扱説明書をご確認のうえ、正しく接続してください。	—
	パソコンを使用中、ネットワークに接続できない。	複数の端末を同時に接続できない契約になっていませんか。	プロバイダーや回線接続業者との契約内容をご確認ください。	—
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	6
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	6
	他の機器のリモコンで、本機が誤動作する。	当社製の AV アンプなどを同時に使っていませんか。	リモコン信号が干渉しあっている可能性があります。リモコンモードを変更してください。	78
	リモコン使用時に“リモコン側のモードを「モード□」に設定してください”と表示される。	リモコンの設定が本体の設定と合っていません。	「リモコンモードを変更する」でリモコン側を切り換えてください。	78
ラジオ	放送がうまく受信できない。	アンテナは接続していますか。	アンテナを接続してください。	8
	放送がうまく受信できない。 雑音、ひずみが多い。 “STEREO”が点滅する。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみる。	43
		送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみる。 屋外アンテナを使うのもひとつの方法です。	8 43
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	—
		携帯電話の充電を近くでしていませんか。		
		アンテナ線が電源コードやシステムケーブルに接近していませんか。	アンテナ線との距離を離す。	—

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
CD	CDを入れても、表示部が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外のCDではありませんか。	規格に適合したCDと取り替える。	12,87
		寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。	—
	特定の箇所が正常に再生しない。	ディスクが汚れていませんか。	柔らかい布などでふく。	87
	録音できない。	CDのランダム、リピート設定中ではありませんか。	ランダム、リピート設定を解除してください。	40
	高速録音時に音飛びやノイズが記録される。 CD-R/RWから録音できない。	ディスクの表面に傷や指紋が付いていませんか。	傷が付いているときは交換、指紋は柔らかい布でふいてください。CD-R/RWでは、記録状態によっては録音できないことがあります。	—
	高速録音できない。	WMA/MP3ディスクではありませんか。	WMA/MP3ディスクは高速録音できません。	—
	WMA/MP3ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行ったWMA/MP3ディスクを使用してください。	—
		1セッションあたりのデータ量が小さくありませんか。	1セッションのデータ量を約5 MB（3分程の曲で約2曲分）以上にしてください。	—
	Gracenoteデータベースで取得したタイトルやWMA/MP3のタイトル表示がおかしい。 タイトルが全部表示されない。	本機で対応していない文字を使ったタイトルの可能性があります。	表示できるのは、かな、英数字と漢字（JIS第二水準まで）です。アクセント記号付きの文字（éなど）や外国語の文字（ハングルなど）は空白になったり、正しく表示されないことがあります。	—
		長いタイトルではありませんか。	本機のタイトル表示は各タイトルごとに最大59文字（アーティスト名のみ39文字）です。	55
	新しく発売されたCDのタイトルが取得できない。	ネットワークに接続していますか。	2005年秋以降に発売されたCDタイトルは、内蔵のGracenoteデータベースにタイトルが登録されていません。新しいCDのタイトルを検索する場合は、ネットワークに接続してください。	11
HDD	高速録音できない。	WMA/MP3ディスクを録音しようとしていませんか。	WMA/MP3ディスクは高速録音できません。	—
	録音できない	セレクターがSDになっていませんか。	SDからHDDへの録音はできません。	—
	録音した曲が表示されない。見つからない。	HDD内の曲はプレイリストごとに表示/再生されます。	トップメニューから“その他…”→“全曲”を選ぶと、HDD内のすべての曲が曲名順に表示されます。	32
	HDDに録音しようとした曲が録音できていない。	———	録音しようとした曲の中に、SCMSで記録された曲がある場合、その曲をスキップします。	87
	印象選曲に曲が登録されない。	録音後すぐに印象選曲を再生していますか。	印象選曲への登録は、エンコード処理と同時に行われます。	—
		特定の曲だけの現象ですか。	曲によっては、どの印象にも登録されない場合があります。	32
	前に聞いたのと音の感じが違う。	録音モードをAACに設定して、HDDに録音しましたか。	本機は一度LPCMで録音したあとAACに変換します。そのため録音直後と、AACへの変換後とでは再生したときの音質が異なります。	18
SD	SDに転送するのに時間がかかる。	「高速録音＋SD転送」を選びましたか。 AACに変換が終了していない曲を転送しようとしましたか。	AACへの変換が終了した後に転送を開始しますので、時間がかかります。	18、24
	操作ができない。	カードは正しく入っていますか。	カードを正しく入れてください。	34
		SD挿入部のふたが開いていませんか。	ふたを閉めていないと操作できません。	34
		本機で使用できないカードではありませんか。	本機はSDメモリーカードとminiSD™カード以外のカードには対応していません。	12、86
	SDに転送しようとした曲が転送できていない。	———	転送しようとした曲の中に、著作権保護されている曲がある場合、その曲をスキップします。	—
	再生できない。	SDに、本機で再生できる音楽データが記録されていますか。	本機では「SDオーディオフォーマット」で記録された音楽データ（AAC/MP3/WMA）のみ再生できます。	—
	記録・編集ができない。 タイトルが入力できない。	SDの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか。	解除してください。	86
	SDを他のプレーヤーや携帯電話で再生できない。	再生機器は「SDオーディオフォーマット」に対応していますか。	再生できる機器をご確認ください。	50
	パソコンにSDを入れたのに動かない。	パソコンのSDカードスロットは「著作権保護機能」対応ですか。	対応していない場合は、別売のセキュア対応SDリーダーライターなどを準備する。	75
他	同じ名前を入力してもプレイリストが1つにまとまらない。	「読み」は入力しましたか。	プレイリストを1つにまとめる場合は、読みも同じにしてください。	56
	音質/音場を変えても効果が出ない。	いろいろな音質/音場効果を同時に使っていませんか。	音質/音場の組み合わせによっては、十分な効果が得られないことがあります。	—

主な仕様

アンプ部（SB-FA800/SB-FA400 に内蔵）

【SC-SX800】
実用最大出力（両 CH 動作）：25 W + 25 W
（全高調波ひずみ率 10 %、LOW/HIGH 総合出力）
LOW：13 W + 13 W(6 Ω)
HIGH：12 W + 12 W(6 Ω)
【SC-SX400】
実用最大出力（両 CH 動作）：15 W + 15 W
（全高調波ひずみ率 10 %、6 Ω)

FM チューナー部

受信周波数帯域：76.0 ～ 90.0 MHz (100 kHz ステップ)
TV 1 ch、2 ch、3 ch (モノラル)
アンテナ端子：75 Ω (不平衡型)

AM チューナー部

受信周波数帯域：522 ～ 1629 kHz (9 kHz ステップ)

CD 部

光源：半導体レーザー
波長：780 nm
チャンネル数：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター：測定限界以下
再生可能ディスク：CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット：CD-DA、WMA、MP3
対応ビットレート
WMA ：32 kbps ~ 320 kbps
MP3 ：32 kbps ~ 320 kbps

HDD 部

搭載 HDD 容量
【SC-SX800】：80 GB
【SC-SX400】：40 GB
録音フォーマット：AAC ／ LINEAR PCM 方式
ビットレート（AAC）：128 kbps (XP)／ 96 kbps (SP)／ 64 kbps (LP)
チャンネル数：2 チャンネル（ステレオ）
録音時間
【SC-SX800】
AAC：約 2,640 時間（LP モード）
LINEAR PCM：約 109 時間
【SC-SX400】
AAC：約 1,280 時間（LP モード）
LINEAR PCM：約 53 時間

SD 部

サンプリング周波数：44.1 kHz (SP、XP)／ 32 kHz (LP)
チャンネル数：2 チャンネル（ステレオ）
圧縮／伸張方式
SD オーディオ再生：AAC ／ MP3 ／ WMA 方式
SD オーディオ録音：AAC 方式

―このマークがある場合は―

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

スピーカー部【SC-SX800】

■ 共通部
形式：2 ウェイ 2 スピーカーシステム
ウーハー：10 cm コーンタイプ
ツイーター：6 cm リングシェイプドドームタイプ
インピーダンス
LOW：6 Ω
HIGH：6 Ω
許容入力（IEC）
LOW：40 W (MAX)
HIGH：40 W (MAX)
出力音圧レベル：84 dB/W (1.0 m)
防磁設計：防磁

■ SB-FA800 部（左側スピーカー部）
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：144 mm × 256 mm × 239 mm
質量：約 4.8 kg

■ SB-SX800 部（右側スピーカー部）
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：144 mm × 256 mm × 239 mm
質量：約 2.6 kg

スピーカー部【SC-SX400】

■ 共通部
形式：2 ウェイ 2 スピーカーシステム
ウーハー：10 cm コーンタイプ
ツイーター：6 cm リングシェイプドドームタイプ
インピーダンス：6 Ω
許容入力（IEC）：40 W (MAX)
出力音圧レベル：84 dB/W (1.0 m)
防磁設計：防磁

■ SB-FA400 部（左側スピーカー部）
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：130 mm × 254 mm × 241 mm
質量：約 4.8 kg

■ SB-SX400 部（右側スピーカー部）
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：130 mm × 254 mm × 241 mm
質量：約 2.6 kg

総合【SC-SX800】

電源：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：60 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：185 mm × 150 mm × 268 mm
質量：約 3.8 kg

電源切（スタンバイ）時の消費電力
省電力モード時：約 0.1 W
通常モード時：約 13 W
エンコード処理時：約 19 W

総合【SC-SX400】

電源：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：46 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：185 mm × 150 mm × 268 mm
質量：約 3.8 kg

電源切（スタンバイ）時の消費電力
省電力モード時：約 0.1 W
通常モード時：約 13 W
エンコード処理時：約 19 W

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

HDD や SD の容量表示には 2 種類の計算方法があります。
製品パッケージやこの「主な仕様」で表示される容量は、1 MB = 1,000,000 バイト、1 GB = 1,000 メガバイト（10 進法）で計算しています。
一方パソコンなどでは、容量を 1MB = 1,048,576 バイト（2 進法）で計算する場合があります。
この計算方法の違いにより、容量表示に差が生じることがあります。

「故障かな!?」に従ってご確認のあと、修理が必要になったときは、裏面の「修理診断カルテ」にご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。



修理診断カルテ

ご記入日：　　年　　月　　日

修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化(出荷状態に戻すため、記録内容は全て失われます。)や交換が必要な場合があります。このような場合、記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

＜商品に関して＞

機種名		製造番号 (保証書または本体後面に記載)	
お買い上げ日	年　　月　　日	保証書添付	□有り　□無し

＜確認事項＞

修理代金の見積り (有償修理時のみ)	□不要　□＿＿＿＿万円以上必要　□必要
修理ご依頼時の添付品	(本体以外の添付品をご記入ください。) □電源コード　□システムケーブル　□スピーカー　□リモコン □CD　□SD　□その他＿＿＿＿＿＿

設定項目の初期化	修理の際に、初期設定、タイマーの設定などを出荷状態に戻さなければならない場合があります。 あらかじめご了承ください。		
HDDの初期化 (記録内容の消去)	修理の際に、HDDを出荷状態に戻さなければならない場合があります。（記録内容は全て失われます。） HDDの初期化に同意されますか。 □同意する □同意しない（初期化しないと修理ができない場合があります。）	ご署名	印

＜不具合症状について＞

不具合症状	(発生状況をなるべく詳しく、具体的にご記入ください。)　例：CDからHDDへの録音時、途中で止まった。	
発生状況	＜発生条件＞ 1. □HDD　□SD　□CD（下欄※に詳細をご記入ください） 2. □録音時　□再生時　□転送時（HDD→SD） 　□CDからの録音 　□ラジオからの録音 　□外部機器からの録音（MD、テープ、SDオーディオプレーヤーなどからの録音）	＜エラー表示＞ □有り 表示内容 □無し
発生頻度	□無し　□時々　□＿＿＿＿回に＿＿＿＿回くらい	

＜※CDについて＞

正確な診断を行うために、できるだけ症状の発生したCDの添付をお願いします。

発生したCD	□CD-RW	メーカー名：	品番：
	□CD-R	メーカー名：	品番：
	□音楽CD	メーカー名：	ディスクNo.：
	□その他		
発生箇所	□最初から再生できない	□＿＿分＿＿秒くらいの部分から症状が発生	□曲名：

きりとり線

さくいん

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この SD ステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

92 ～ 93 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
右記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	SD ステレオシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番		故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365** (パナは 365日)

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(050)5519-6348
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-3644

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

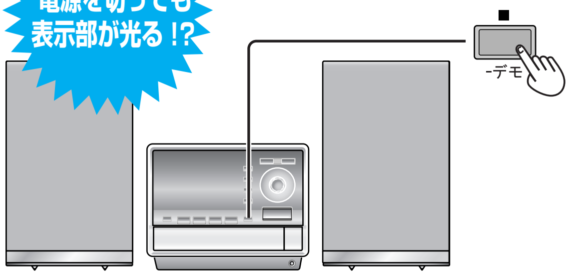
地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0505

Panasonic SD ステレオシステム SC-SX800/SC-SX400 取扱説明書

電源を切っても表示部が光る !?



**デモ機能動作中に
“デモ解除” と表示するまで
押したままにする**

デモ解除

上記操作をするたびに
デモ解除
↓↑
デモ開始

お買い上げ時の音質は？

**お買い上げ時には、プリセットイコライザーが「ヘビー」（重低音と高音を強調する音質）に設定されています。
お好みの音質に設定してお楽しみください。
（☞ 72ページ）**



本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録音・編集ができなかった場合の内容の補償、録音・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

愛情点検 長年ご使用の SD ステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある

▶ **このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ （おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　―	品番	
お客様ご相談窓口	☎（　　）　―	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT8306-2S
H0905CK2105